

紀の川市「公共施設」に関する市民アンケート結果

報 告 書

平成27年10月

紀 の 川 市

目 次

1 . 調査概要	1
(1) 調査目的	
(2) 調査内容	
(3) 回答者の属性	
2 . 調査結果の要旨	7
(1) 公共施設の利用状況	
(2) 今後の公共施設のあり方	
(3) 支所の複合化	
(4) 学校の複合化	
(5) 情報共有のあり方	
3 . 調査結果の詳細	8
(1) 過去1年間の公共施設の利用頻度	
(2) 公共施設を利用していない理由	
(3) 行政サービス機能の優先度	
(4) 公共施設の更新問題の認知度	
(5) 公共施設の整備の方向性	
(6) 公共施設の必要性の見直し方針	
(7) 公共施設の更新費用の負担を減らす方策	
(8) 優先的に見直すべき公共施設	
(9) 支所の複合化の賛否	
(10) 支所との複合化が望ましい機能	
(11) 学校の複合化の賛否	
(12) 学校との複合化が望ましい機能	
(13) 情報共有のあり方	
(14) 公共施設の活用のアイデア	
(15) 公共施設の現状や将来のあり方についての自由意見	
参考1. 公共施設の現状や将来のあり方についての意見詳細	61
参考2. 紀の川市「公共施設」に関する市民アンケート調査票	68

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、市民の公共施設^{*}の利用状況及び更新（老朽化）問題に対する意向等を把握し、今後の公共施設のあり方の見直し検討及び公共施設再編計画策定の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

※本調査は、本市が保有又は管理している公共施設のうち、建物系の施設（いわゆるハコモノ）を対象としています。

(2) 調査内容

ア 調査対象

18歳以上の市民2,000人（地域によって配布数が過小にならないよう、地域ごとに一定数以上の配布数を設定した後で、住民基本台帳から無作為抽出）

イ 調査方法

郵送配布、郵送回収（配布にあたっては、公共施設の現状を概説した参考資料（A4サイズ、2ページ）を同封）

ウ 調査期間

平成27年7月14日（火）から平成27年7月31日（金）まで

エ 調査項目

- ・回答者の属性（問1、問2）
- ・過去1年間の公共施設の利用頻度、公共施設を利用していない理由（問3）
（本調査が対象とした公共施設の種類と該当する施設は図表1.1を参照）
- ・公共施設の更新問題の関心度（問4）
- ・公共施設の整備（総量見直し）の方向性（問5）
- ・優先的に維持・確保すべき機能（問7）
（本調査が対象とした生活サービス機能の種類は図表1.2を参照）
- ・公共施設の更新費用の負担を減らす方策（問8）
- ・優先的に見直すべき公共施設（問6、9）
- ・支所の複合化（問10-1）
- ・支所との複合化機能（問10-2）
- ・学校の複合化（問10-3）
- ・学校との複合化（問10-4）
- ・情報共有のあり方（問11）
- ・有効活用のためのアイデア（問12）
- ・自由意見（問13）

図表 1.1 公共施設の種類と該当する施設

施設分類		打田地域	粉河地域	那賀地域	桃山地域	貴志川地域
官公署	庁舎(支所)等	本庁舎 本庁舎(南館)	粉河支所 鞆淵出張所	旧那賀分庁舎 那賀支所	旧桃山分庁舎 桃山支所(IT親子ホール) 細野生活改善センター	旧貴志川分庁舎 貴志川支所
市民文化・ 社会教育 施設	文化施設	—	粉河ふるさとセンター	—	—	貴志川生涯学習セン ター
	図書館	打田図書館(打田生 涯学習センター内)	粉河図書館(粉河ふ るさとセンター内) ※平成27年6月閉館	那賀図書館(那賀支 所内) ※平成27年7月閉館	桃山図書館(IT親子 ホール内) ※平成27年8月閉館予定	貴志川図書館(貴志川 生涯学習センター内)
	集会施設	—	上鞆淵集会所 下鞆淵集会所 下鞆淵へき地集会所	—	ふれあいコミュニティ センター	長山団地自治会館
	社会 教育 施設	集会所 公民館 等	古和田教育集会所 東国分教育集会所 東大井教育集会所 西井阪教育集会所 (井阪文化会館内) 打田生涯学習センター	粉河地区公民館(粉 河ふるさとセンター内) 粉河地区公民館川原分館	那賀地区公民館麻生津分館 那賀地区公民館名手分館 西元町教育集会所 那賀地区公民館上名手分館 那賀地区公民館王子分館 子ども会館 那賀総合センター	桃山会館 貴志川地区公民館(貴志 川生涯学習センター内) 西貴志コミュニティセン ター 丸栖コミュニティセン ター 中貴志コミュニティセン ター 東貴志コミュニティセン ター
	資料館 博物館 等	歴史民俗資料館 史跡紀伊国分寺跡歴 史公園	旧南丘家住宅	青洲の里春林軒 旧名手本陣妹背家住 宅・旧名手宿本陣	—	貴志川ほたるの館 青少年センター
学校教育 施設	小学校	池田小学校 田中小学校 田中小学校高野分校	長田小学校 粉河小学校 竜門小学校 川原小学校 鞆淵小学校	名手小学校 上名手小学校 麻生津小学校	安楽川小学校 調月小学校 細野小学校 桃山小学校	丸栖小学校 西貴志小学校 中貴志小学校 東貴志小学校
	中学校	打田中学校	粉河中学校 鞆淵中学校	那賀中学校	荒川中学校 桃山中学校	貴志川中学校
	その他教育 施設	—	粉河学校給食センター	那賀学校給食センター	河南学校給食センター	—
子育て支 援施設	保育所	こぼと保育所 なるき保育所 八王子保育所	川原保育所 鞆淵へき地保育所 長田保育所 竜門保育所	—	旧調月保育所	丸栖保育所 西貴志保育所 中貴志保育所 東貴志保育所
	学童保育施 設	学童保育「てのひら」 学童保育「太陽の子」	学童保育「粉河アット ホームクラブ」	学童保育「チャレンジ 児童クラブ」	—	学童保育「丸栖っ子クラブ」 学童保育「こどもくらぶ」 学童保育「ほたるっこ」
	児童館	西井阪児童館	粉河児童館 竜門児童館	名手児童館	—	—
保健福祉・ 医療施設	保健施設	打田保健福祉セン ター(本庁舎南館内)	粉河保健センター	那賀保健福祉セン ター(那賀支所内)	桃山保健福祉セン ター	貴志川保健福祉セン ター(貴志川支所内)
	福祉施設	井阪文化会館 古和田会館	旧レスパイト粉河	—	介護予防拠点施設 (蛭の里)	貴志川町老人憩の家 (貴志川生涯学習セ ンター内)
	診療所	—	国民健康保険直営鞆 淵診療所	—	—	—
スポーツレ クリエー ション施設	スポーツ施 設	打田スポーツ公園	粉河体育館 粉河武道館	B&G財団那賀海洋セ ンター 那賀体育館 愛宕池公園	桃山勤労者体育セン ター 桃源郷運動公園陸上 競技場	貴志川体育館 貴志川トレーニングプラ ザ 貴志川スポーツ公園 長山ふれあい公園
	レクリエー ション施設	—	粉河ハイランドパーク	葛城高原休憩施設	細野溪流キャンプ場	—
産業施設	産業施設	養液栽培施設 野菜共同栽培施設 古和田共同作業所 西井阪第1共同作業所 西井阪第2共同作業所 東国分共同作業所 寺山テイクオフ管理棟	農村婦人の家 井田地域農業総合管理施設 遠方構造改善センター 風市構造改善センター 農村改善センター 東川原構造改善センター 藤井地域資源総合管理施設	しいたけ不時栽培施設 青洲の里	桃源郷運動公園学習体験館 安楽川南部地域「ブランド」定着施設 善田地区総合営農指導セン ター 段地区総合営農指導セン ター 調月北部地区農林業共同利用施設 就業改善センター 転作促進研修指導施設 桃山産業振興館 石材加工共同作業場	ふるさと産品展示場(貴 志川観光物産センター)
公営住宅	公営住宅	3施設	3施設	22施設	1施設	—

図表 1.2 生活サービス機能の種類

種類	説明
行政窓口機能	行政相談や各種手続の窓口機能
防災機能	災害時における避難所や防災活動に活用する機能
集会機能	会議の場やコミュニティ活動等の交流の場に利用できる機能
教育文化機能	図書の貸出や講演会、芸術鑑賞等を通じて教育・文化を学べる機能
子育て支援機能	乳児・幼児・児童の保育や子育て家庭に対する育児相談などの機能
高齢者支援機能	介護・生活支援、住まいの相談など高齢者の暮らしを支える機能
医療機能	病院・診療所、薬局など病気等の回復・改善を図る機能
スポーツ機能	チームや個人でスポーツができる機能
レクリエーション機能	余暇を利用して行う遊びや楽しみを提供する機能
産業機能	農業などの地域産業の振興を支援する機能

オ 回収状況

配布数 2,000 に対し有効回収数は 627 であり、有効回収率は 31.4%です。

カ 集計結果

集計結果のグラフや表については、回答者数に対する割合（%）を示していますが、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合があります。

集計結果のグラフや表の見出し及び本文中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

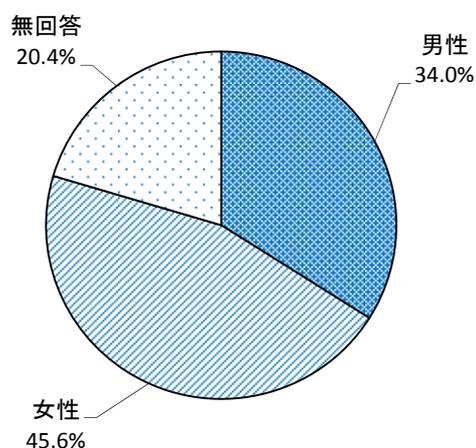
質問ごとに指定する選択数以上の回答があった場合など、無効となる回答については、無回答に含めて集計しています。

(3) 回答者の属性

ア 性別

回答者の性別は、「男性」が34.0%、「女性」が45.6%、無回答が20.4%となっています。

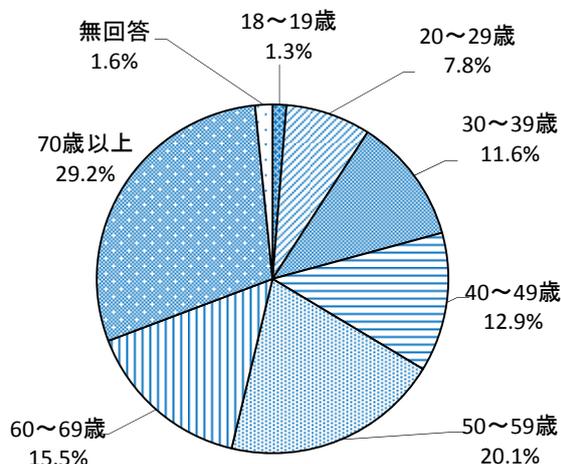
図表 1.1 回答者の性別



イ 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が29.2%と最も多く、次いで「50歳代」が20.1%等となっています。

図表 1.2 回答者の年齢

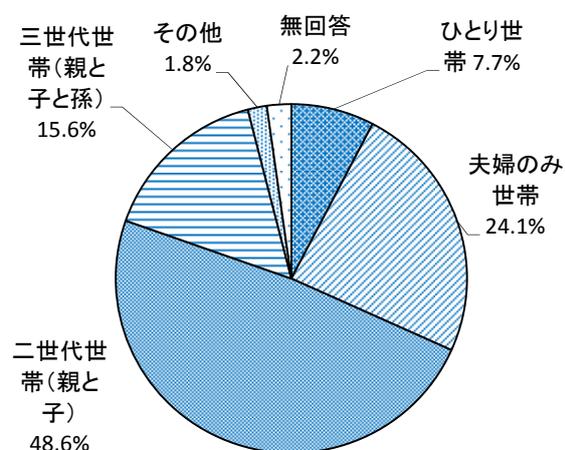


ウ 家族構成

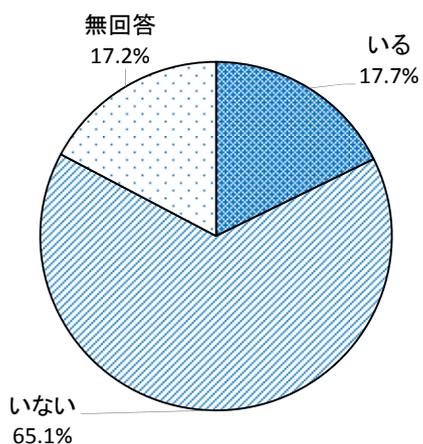
回答者の家族構成は、「二世帯世帯（親と子）」が48.6%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が24.1%、「三世帯世帯（親と子と孫）」が15.6%、「ひとり世帯」が7.7%となっています。

また、家族の中に「中学生以下の方がいる」は17.7%、「65歳以上の方がいる」は41.3%となっています。

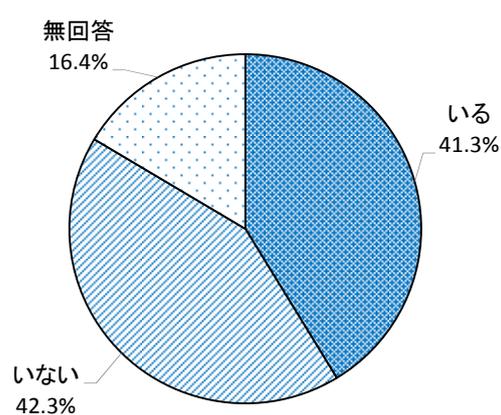
図表 1.3 回答者の家族構成



図表 1.4 15歳以下の家族の有無



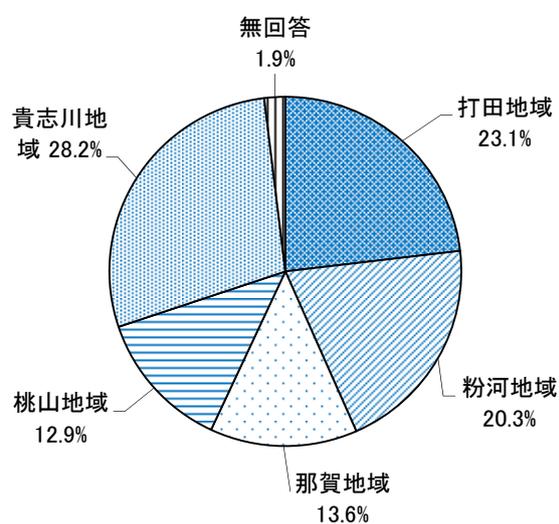
図表 1.5 65歳以上の家族の有無



エ 居住地

回答者の居住地を地域別にみると、「貴志川地域」が28.2%と最も多く、次いで「打田地域」が23.1%、「粉河地域」が20.3%、「那賀地域」が13.6%、「桃山地域」が12.9%となっています。

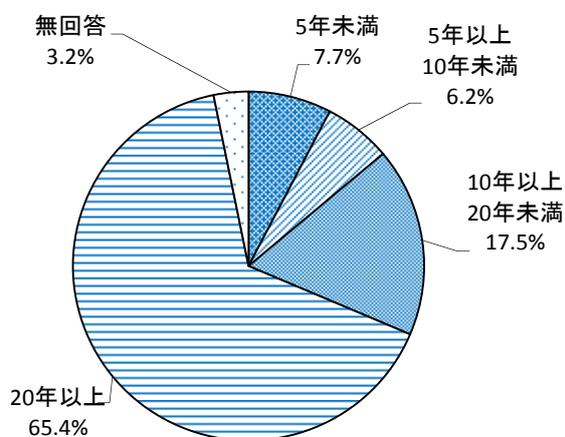
図表 1.6 居住地



オ 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」が65.4%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が17.5%、「5年未満」が7.7%、「5年以上10年未満」が6.2%となっています。

図表 1.7 居住年数

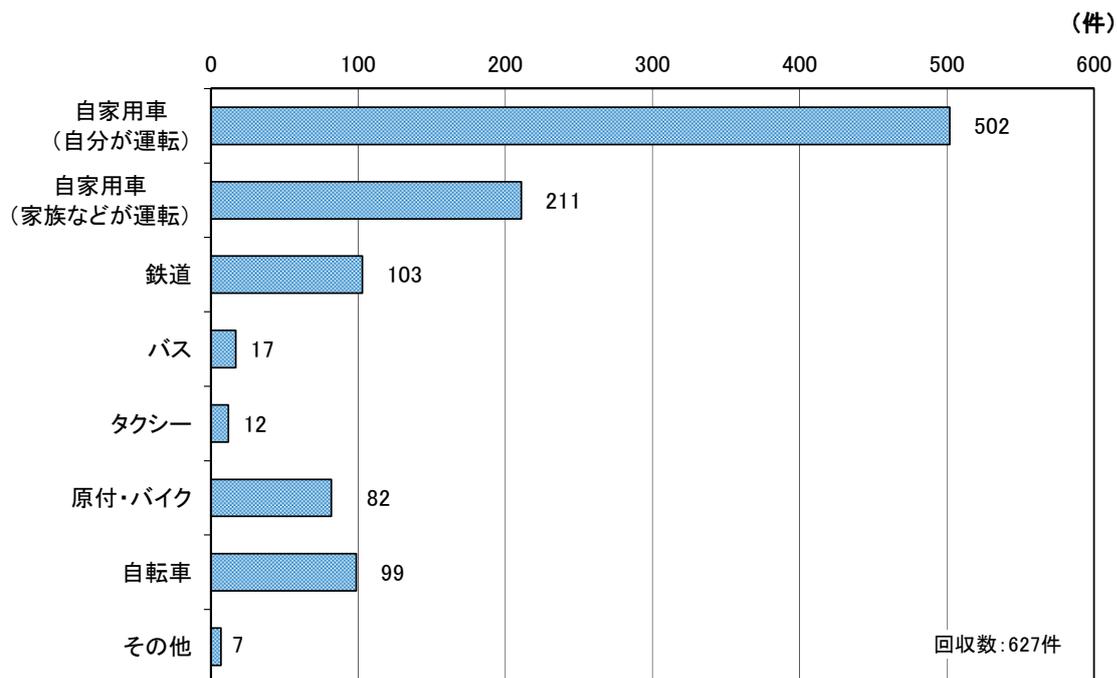


カ 日常生活の移動手段

回答者の日常生活を支える移動手段（2つまでの複数回答）をみると、「自家用車（自分が運転）」が502件と最も多く、次いで「自家用車（家族などが運転）」が211件、「鉄道」が103件等となっています。

「自家用車（自分が運転）」と「自家用車（家族などが運転）」の両方を回答した人は128件であり、この重複分を除外した自家用車を主な移動手段としている人は585件となっています。公共交通については、「鉄道」が103件、「バス」が17件等となっています。

図表 1.8 日常生活の移動手段



2. 調査結果の要旨

(1) 公共施設の利用状況

- ・過去1年間の公共施設の利用頻度をみると、ほぼ全ての公共施設で「年に数回程度」または「利用していない」との回答が8割以上であり、頻繁に利用している人は限られています。特に、「資料館、博物館等」、「福祉施設」、「診療所」、「レクリエーション施設」、「産業施設」については、「利用していない」が8割以上を占めています。
- ・利用頻度の低い理由としては、「利用する機会がない」が8割以上（庁舎(支所)等、図書館、診療所、産業施設では7割以上）となっています。
- ・利用頻度の高い人（「週に1回以上」、「月に1回以上」）の割合をみると、「庁舎(支所)等」と「図書館」が高くなっています。

(2) 今後の公共施設のあり方

- ・今後の公共施設の整備の方向性について、総量の見直しを進めるべきとする回答が7割以上を占めています。特に50歳代及び60歳代では、8割以上が総量の見直しに賛成しています。
- ・公共施設の更新費用の負担を減らす方策については、市の保有財産の有効活用や、統廃合や複合化による総量縮減を積極的に実施すべきという回答が多い一方で、増税等の負担増には反対しています。
- ・公共施設を見直す際には、利用実態（「あまり利用されていない施設」、「主に一部の個人・団体が使っている施設」）を最も重視しており、次いで、施設の安全性（「老朽化が著しい施設」）を重視しています。

(3) 支所の複合化

- ・支所の複合化について、半数以上が賛成しています。年齢別では40、50歳代では6割以上が賛成となり、他の年齢層と比べて比較的多くの回答者が賛成しています。
- ・支所との複合化が望ましい機能としては、「行政窓口機能（国、県）」が最も多く6割近くあり、「子育て支援機能」と「高齢者支援機能」も4割以上と多くなっています。

(4) 学校の複合化

- ・学校の複合化については、8割近くが賛成しています。中学生以下の方がいる世帯では75.1%が賛成、18.8%が反対しています。
- ・学校と複合化してもよいと考える機能については、学校の複合化に賛成する人は「子育て支援機能」か「教育文化機能」が望ましいと考えており、特に、40歳未満の年齢層では6割以上を占めています。

(5) 情報共有のあり方

- ・公共施設のあり方についての情報は、「市広報紙への記事掲載や折込チラシの配布」により入手したいとの回答が75.1%と最も多く、次いで、「市のホームページへの掲載」が41.6%となっていますが、年齢別でみると、ホームページへの掲載は年齢層が上がるに連れ低くなり、70歳以上では28.4%で「出前講座や住民説明会などの開催」の33.3%と逆転しています。

3. 調査結果の詳細

(1) 過去1年間の公共施設の利用頻度

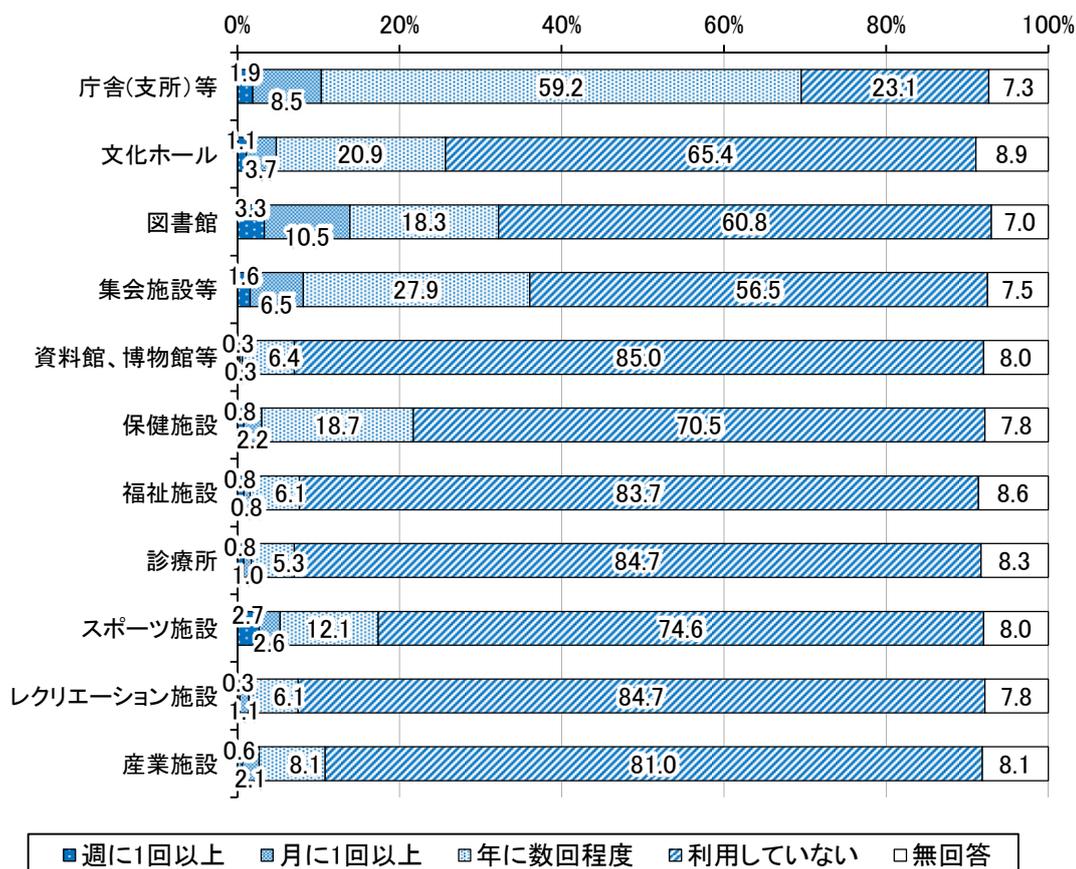
問：過去1年間に市内の公共施設をどのくらい利用しましたか。公共施設の種類ごとに「利用頻度」から該当するものを1つ選び、番号に○印を付けてください。

ア 市全体

公共施設の種類によって利用状況は異なるものの、すべての公共施設で「年に数回程度」と「利用していない」をあわせた割合が7～8割以上となっており、公共施設を頻繁に利用している人は限られています。特に、「レクリエーション施設」、「福祉施設」、「診療所」、「産業施設」、「資料館、博物館等」については、「利用していない」が8割以上を占めています。

一方で、利用頻度の高い人（「週に1回以上」、「月に1回以上」）の割合は、「図書館」が13.9%と最も高く、次いで、「庁舎（支所）等」が10.4%、「集会施設等」が8.1%、「スポーツ施設」が5.3%等となっています。

図表 3.1 施設の利用頻度



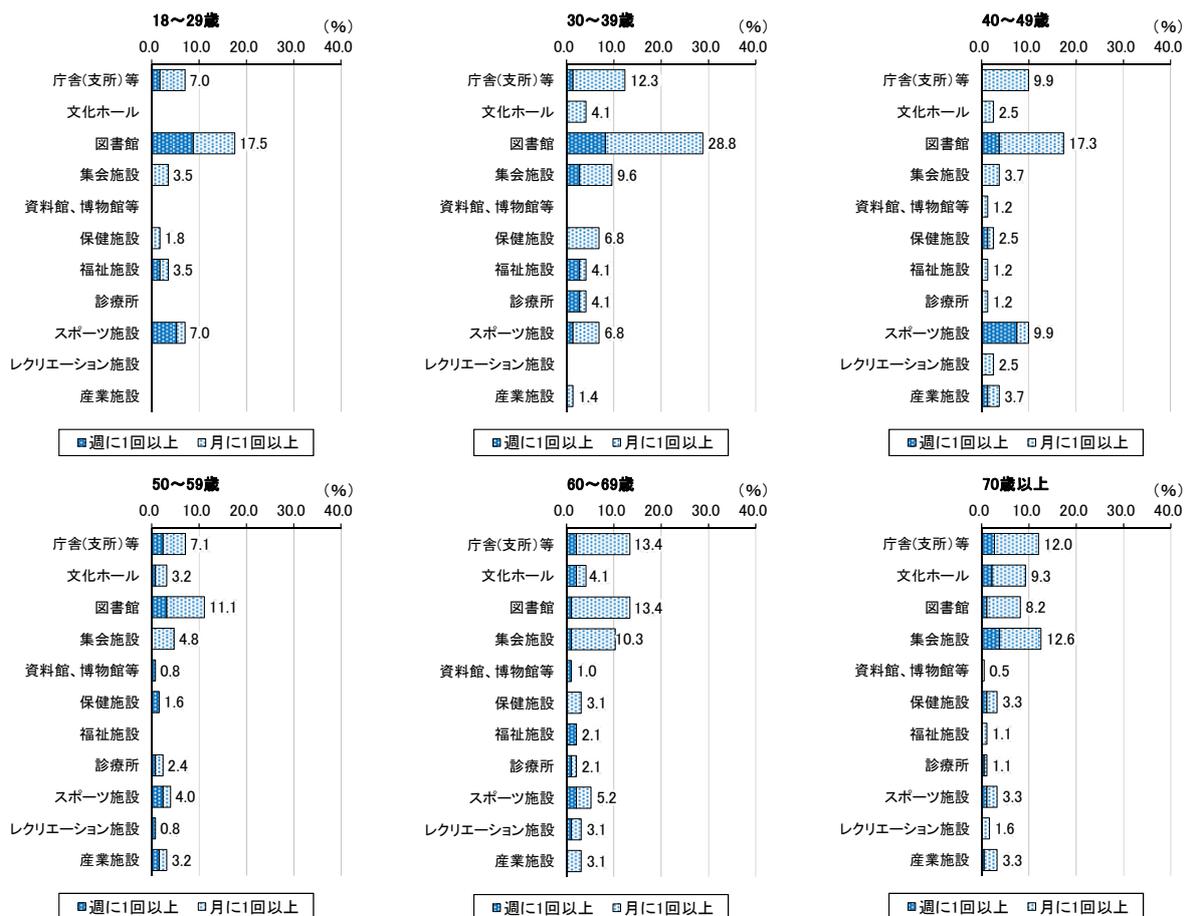
イ 年齢別

年齢別でみると、「週に1回以上」、「月に1回以上」利用した利用頻度の高い人について、年齢別に見ると、18～29歳では他の年齢層に比べ利用した施設の種類が限定されているのが特徴的です。

また、各年齢層を通じて図書館の利用が高く、特に18～39歳では1割近くが週1回以上利用し、30～39歳では3割近くの人が月1回以上利用しています。

また、60歳以上の世代では、「庁舎（支所）等」、「集会施設」が高くなっています。

図表 3.2 年齢別にみた過去1年間の公共施設の利用頻度

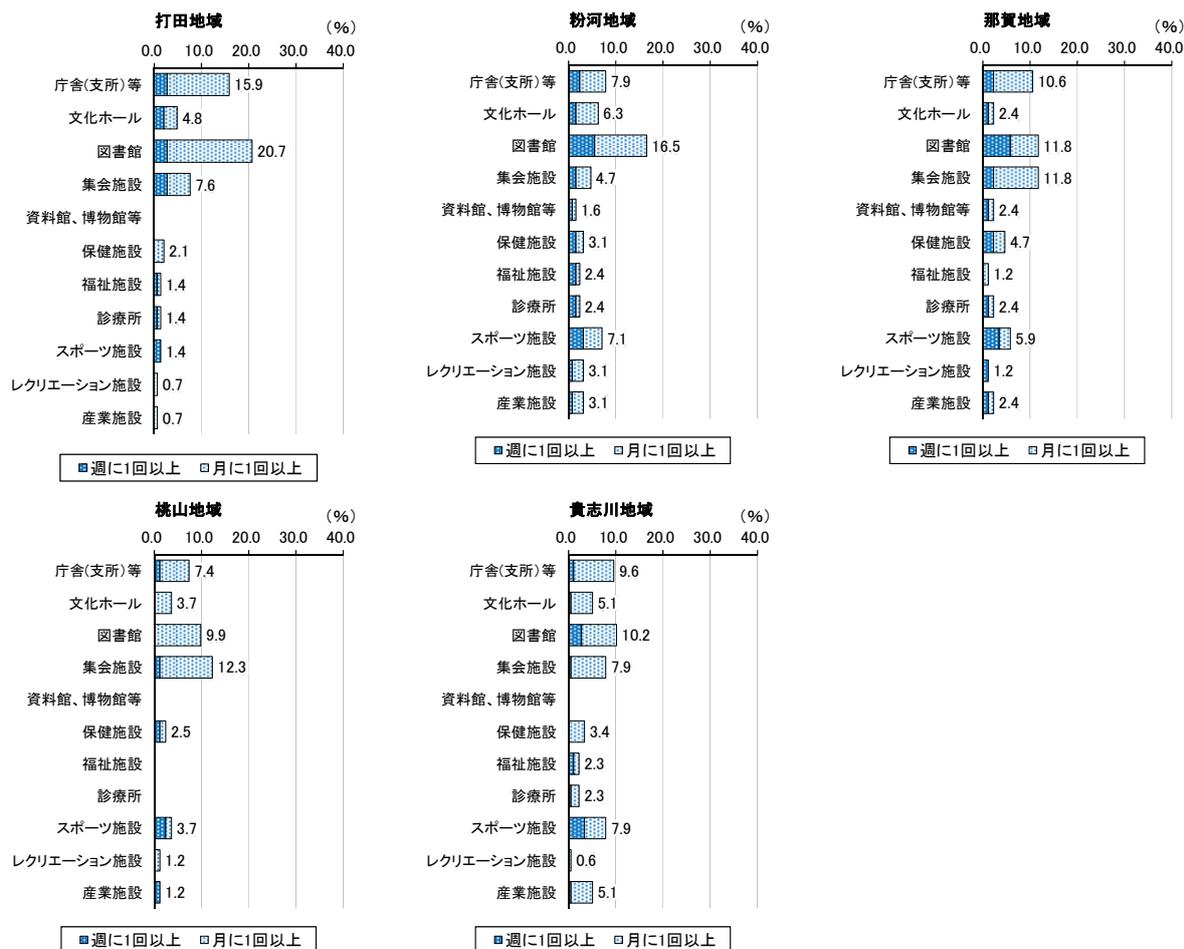


ウ 地域別

同様に地域別でみると、地域によって利用頻度や利用頻度の高い施設に差がみられます。

打田地域では「図書館」が最も高く、2割以上が月に1回以上は利用し、「資料館、博物館等」は利用した方はいません。また、粉河地域では「図書館」に利用者が集中し、那賀地域では、「庁舎(支所)等」や「図書館」、「集会施設」がほぼ同じ程度、桃山地域では「図書館」と「集会施設」が多く、貴志川地域では「スポーツ施設」の利用が高いものの、全体的に1割以下と低くなっています。

図表 3.3 地域別にみた過去1年間の公共施設の利用頻度

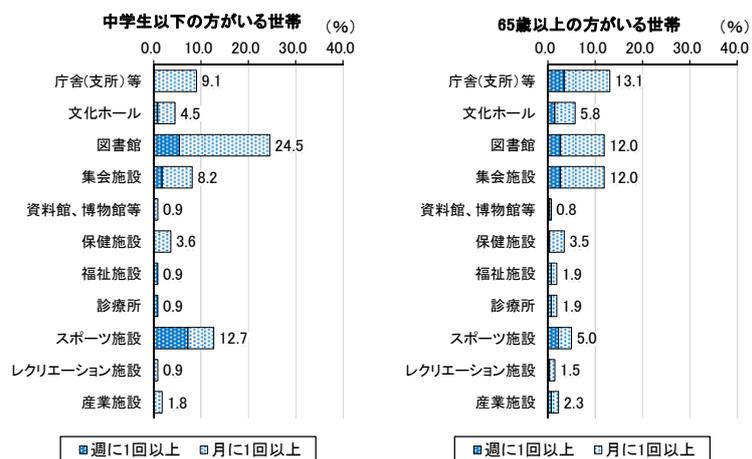


エ 家族構成別

家族構成別でみると、利用頻度の高い人の割合に着目すると、中学生以下の方がいる世帯では、「図書館」が最も高く2割を超え、次いで、「スポーツ施設」が1割強となっています。

65歳以上の方がいる世帯では、「庁舎（支所等）」が最も高く、次いで「図書館」と「集会施設」ですが、それぞれ1割程度となっています。

図表 3.4 家族構成別にみた過去1年間の公共施設の利用頻度

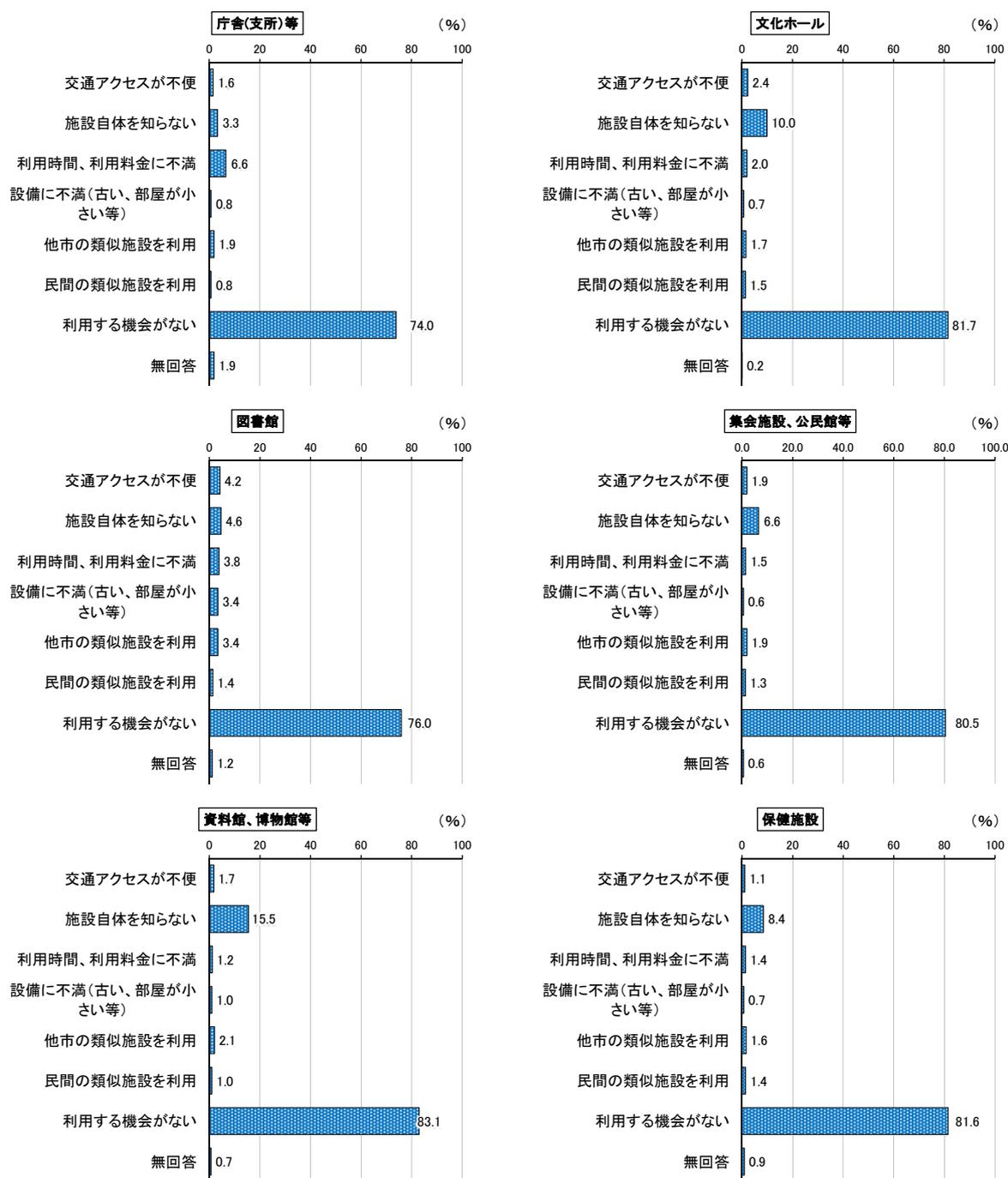


(2) 公共施設を利用していない理由

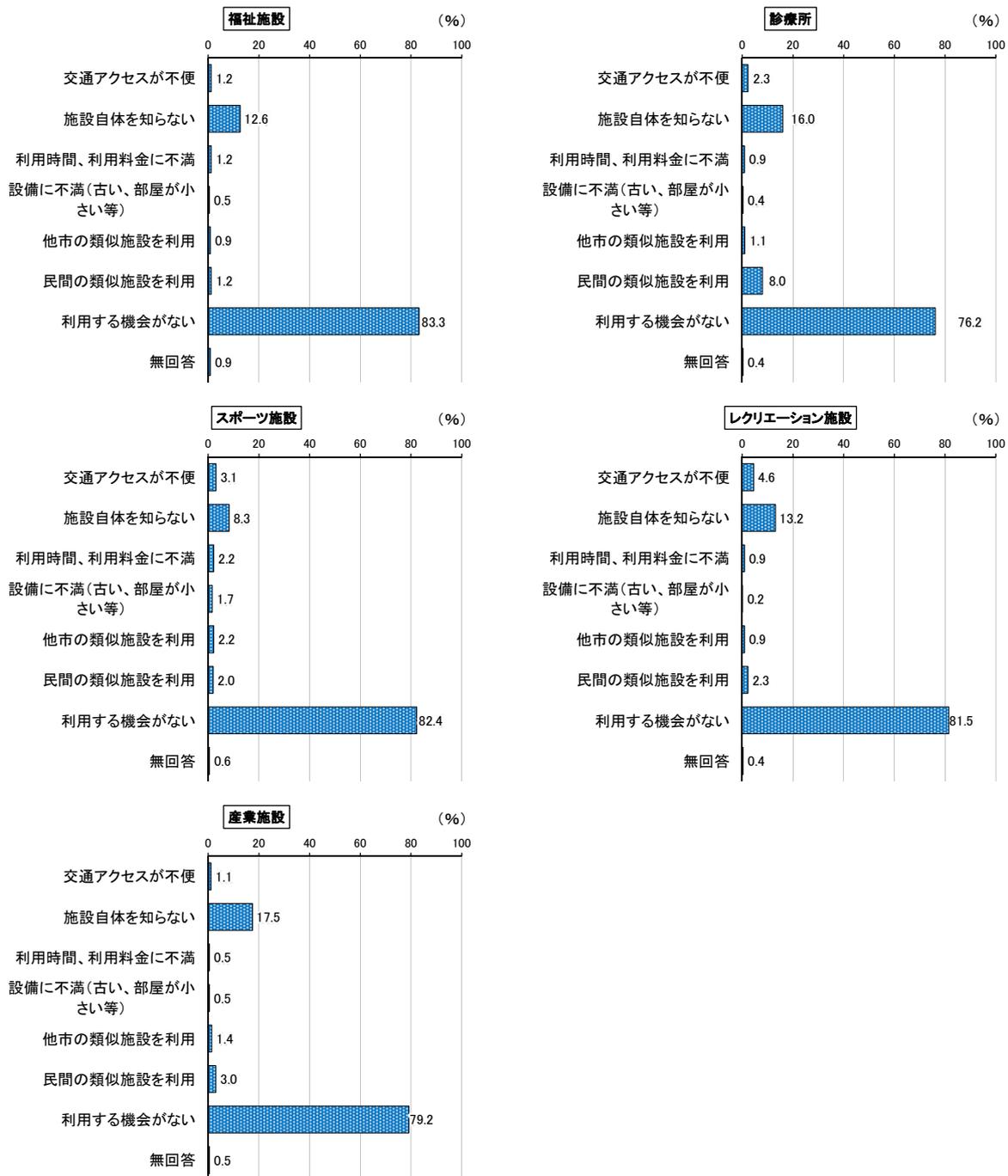
問：「①利用頻度」で「3年に数回程度」または「4 利用していない」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から該当するものを全て選び、番号に○印をつけてください。

全ての施設で「利用する機会がない」が突出して高くなっており、多くの施設で80%以上を占めています。また、「産業施設」では「施設自体を知らない」が17.5%、同様に「資料館、博物館等」が15.5%、「診療所」が16.0%と認知度の低さが原因となっている施設があります。

図表 3.5 (1) 施設種類別の公共施設を利用していない理由



図表 3.5 (2) 施設種類別の公共施設を利用していない理由



(3) 行政サービス機能の優先度

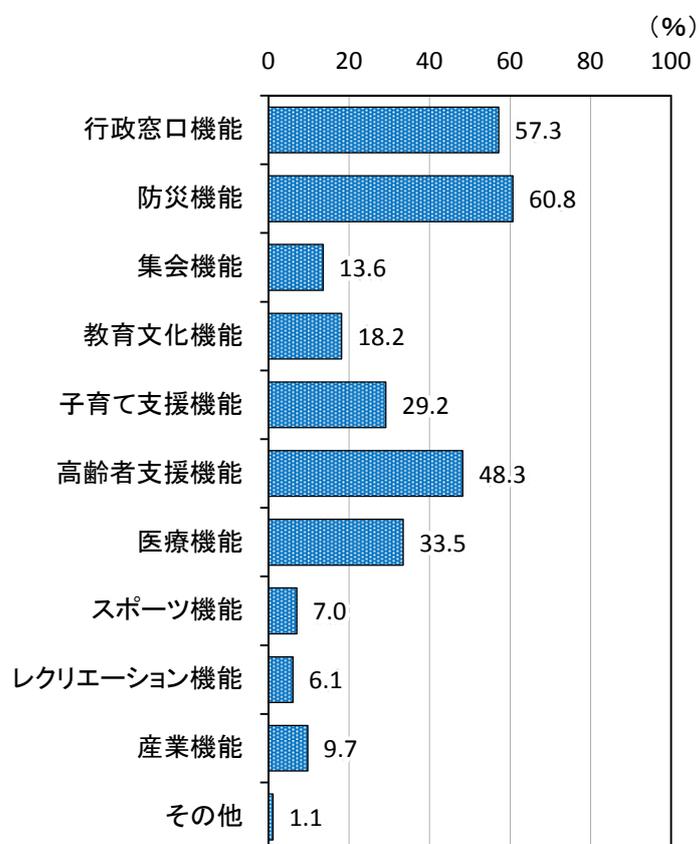
問：公共施設は暮らしを支える様々な行政サービスを提供しています。

仮に、今ある公共施設のすべてを維持することが困難になった場合においても、現在あなたがお住いの地域において、将来にわたって優先的に維持するべきと考える機能は、どのような機能ですか。あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

優先的に維持するべき機能として、「防災機能」と答えた人が60.8%と最も高く、次いで、「行政窓口機能」が57.3%、「高齢者支援機能」が48.3%となっています。

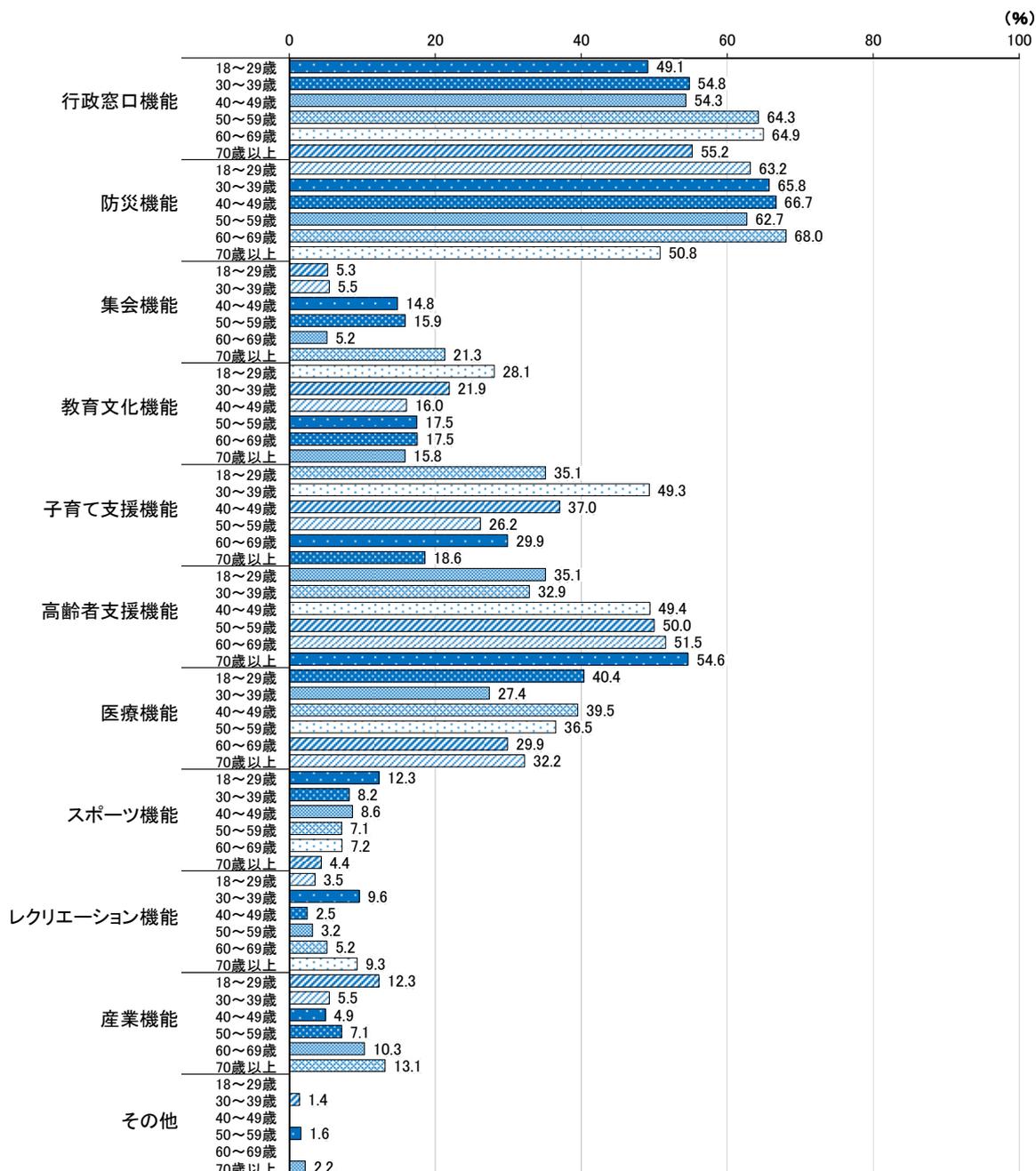
図表 3.6 行政サービス機能の優先度



イ 年齢別

年齢別でみると、全ての年齢層で「行政窓口機能」と「防災機能」、「高齢者支援機能」が高くなっています。ただし、「行政窓口機能」は18～29歳が49.1%、「防災機能」は70歳以上で50.8%、「高齢者支援機能」は18～39歳で32.9～35.1%と他の年齢層に比べ低くなっています。また、「子育て支援機能」が30～39歳で49.3%と高くなっています。

図表 3.7 年齢別行政サービス機能の優先度

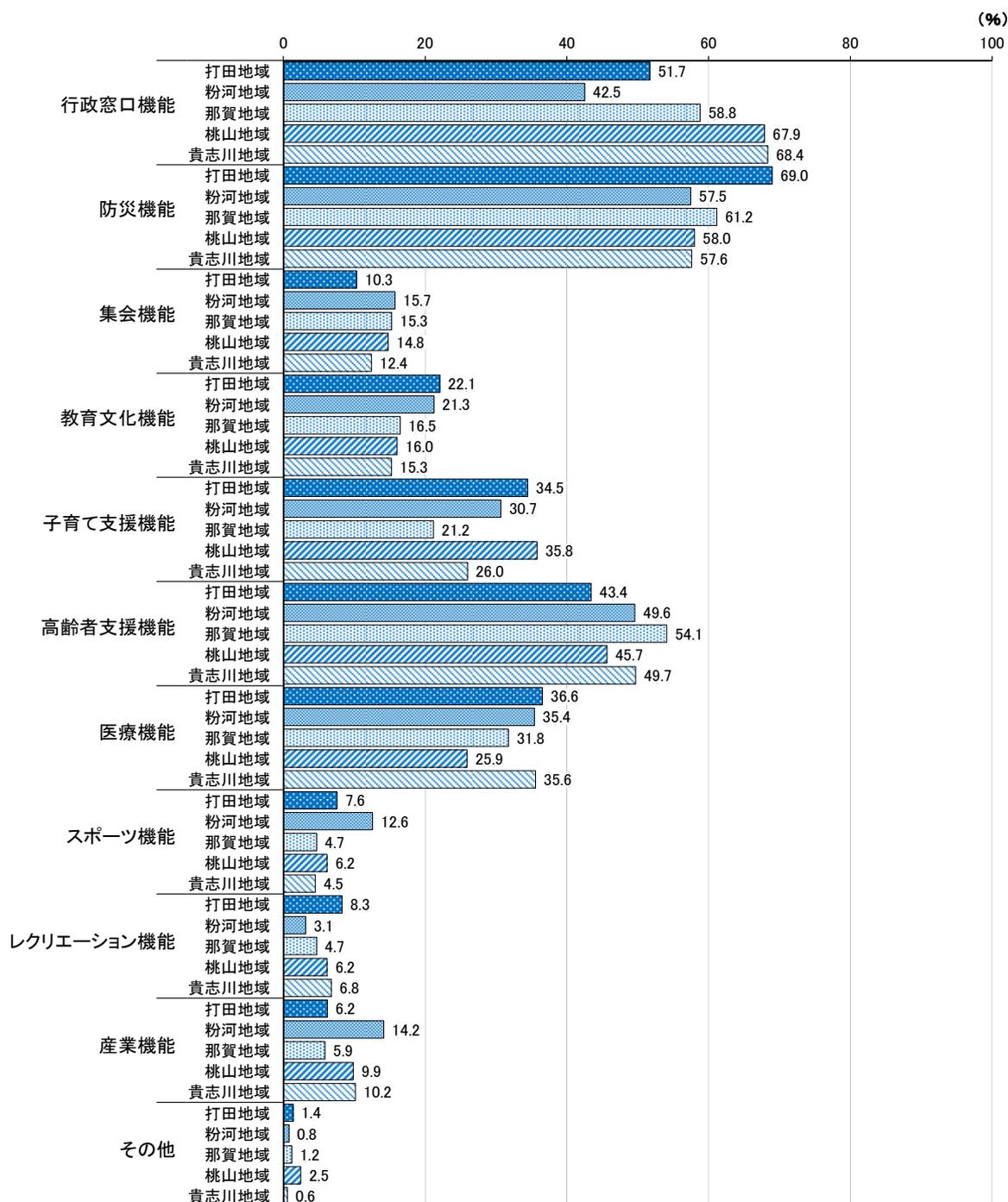


ウ 地域別

地域別でみると、打田地域と粉河地域、那賀地域は、「防災機能」が、それぞれ69.0%、57.5%、61.2%で最も高く、桃山地域と貴志川地域では「行政窓口機能」を選択した方の割合が67.9%と68.4%と最も高くなっていますが、粉河地域では「行政窓口機能」を選択した方の割合が42.5%と他地域に比べ低くなっています。

また、「高齢者支援機能」が各地域で43.4~54.1%と比較的高くなっています。

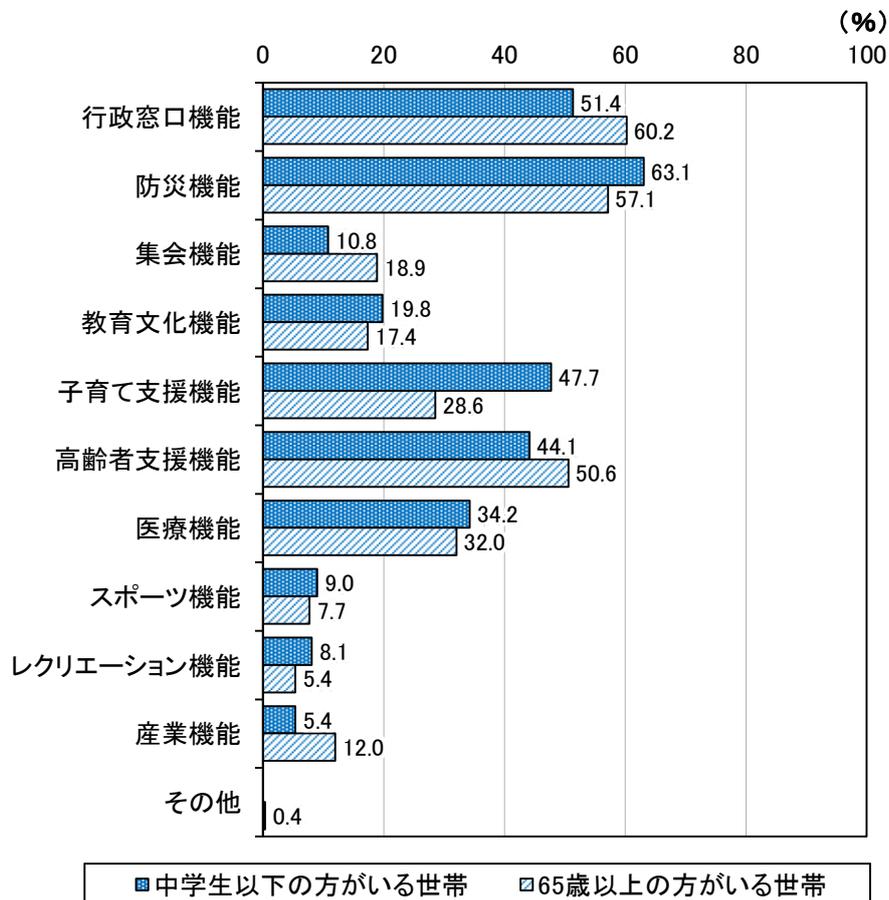
図表 3.8 地域別行政サービス機能の優先度



エ 家族構成別

家族構成別で見ると、「子育て支援機能」について、中学生以下の方がいる世帯が 47.7%、65 歳以上の方がいる世帯が 28.6%と差が大きくなっています。

図表 3.9 家族構成別行政サービス機能の優先度



(4) 公共施設の更新問題の認知度

問：全国的に公共施設の多くが昭和の時代に建設されており、その老朽化対策が問題となっています。

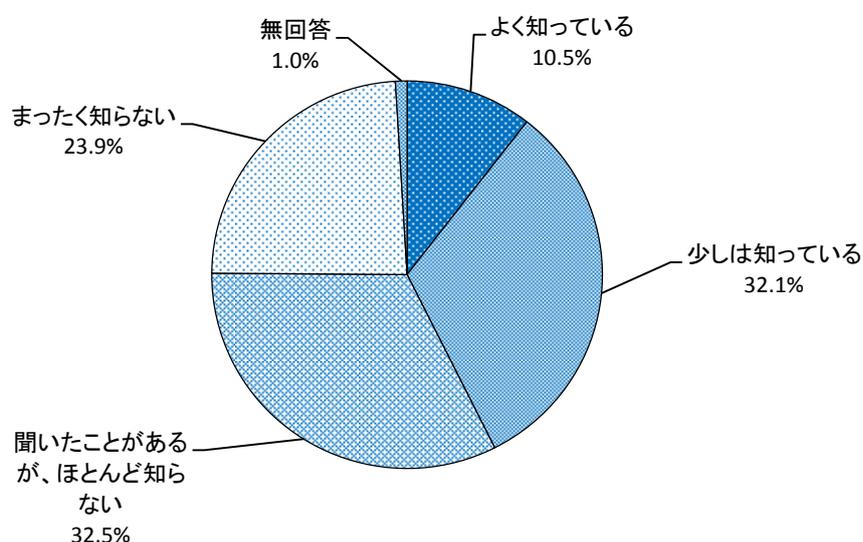
本市の公共施設も同様に老朽化が進んでおり、今後、これら施設の更新（建替え）に多くの財政負担を伴うことが予測されています。このような公共施設の更新問題を知っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

公共施設の更新問題を「よく知っている」は10.5%となっています。

一方、「全く知らない」は23.9%となっています。

図表 3.10 公共施設の更新問題の認知度

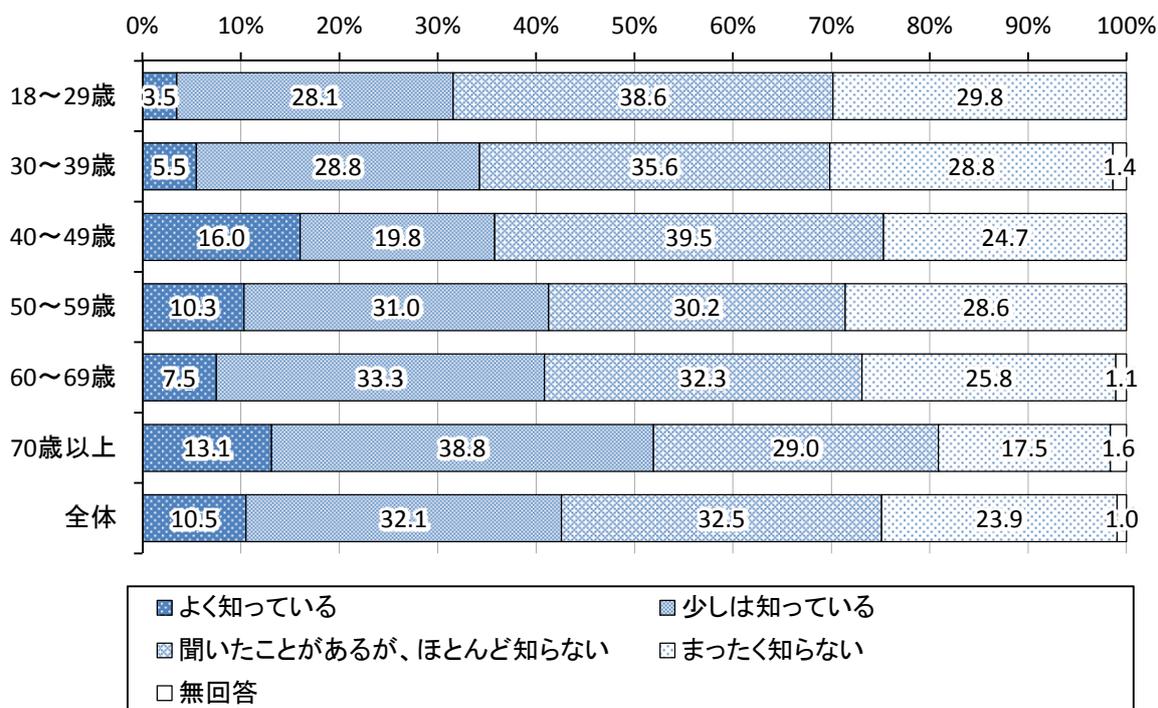


イ 年齢別

年齢別でみると、70歳以上では、「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせると51.9%と各年齢層の中で最も高く、年齢が下がるにつれて認知度も下がる傾向となっています。

また、「全く知らない」は70歳以上が17.5%とやや低いものの、他の年齢層では概ね25～30%前後で大きな差は見られません。

図表 3.11 年齢別にみた公共施設の更新問題の認知度



(5) 公共施設の整備の方向性

問：合併前の旧町時代を含め、本市では様々な公共施設を整備してきましたが、少子高齢化の進展等により人口の減少や財源の不足が見込まれる中、すべての公共施設を適切に維持していくことが難しくなると考えられます。

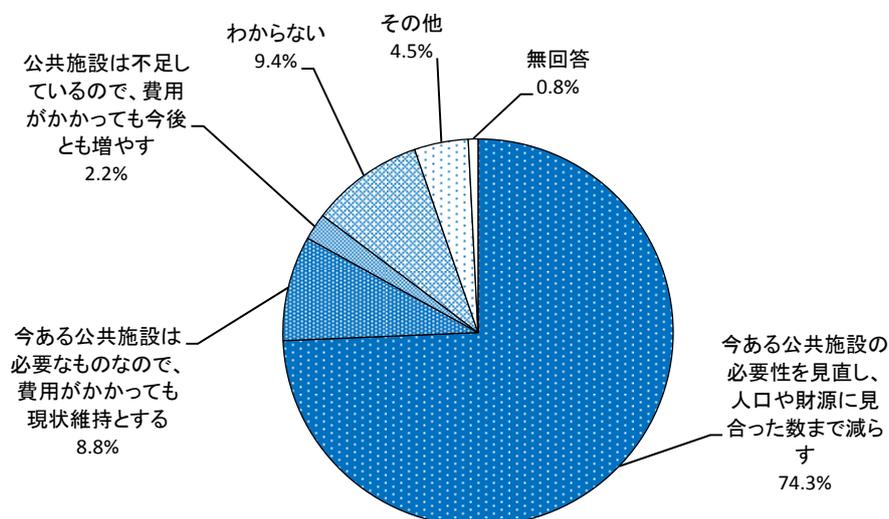
今後の公共施設の整備の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「今ある公共施設の必要性を見直し、人口や財源に見合った数まで減らす」が74.3%と最も多く、必要性を見直して施設の整理を進めるべきとする回答が全体の4分の3を占めています。

一方、「今ある公共施設は必要なものなので、費用がかかっても現状維持とする」は8.8%となっています。

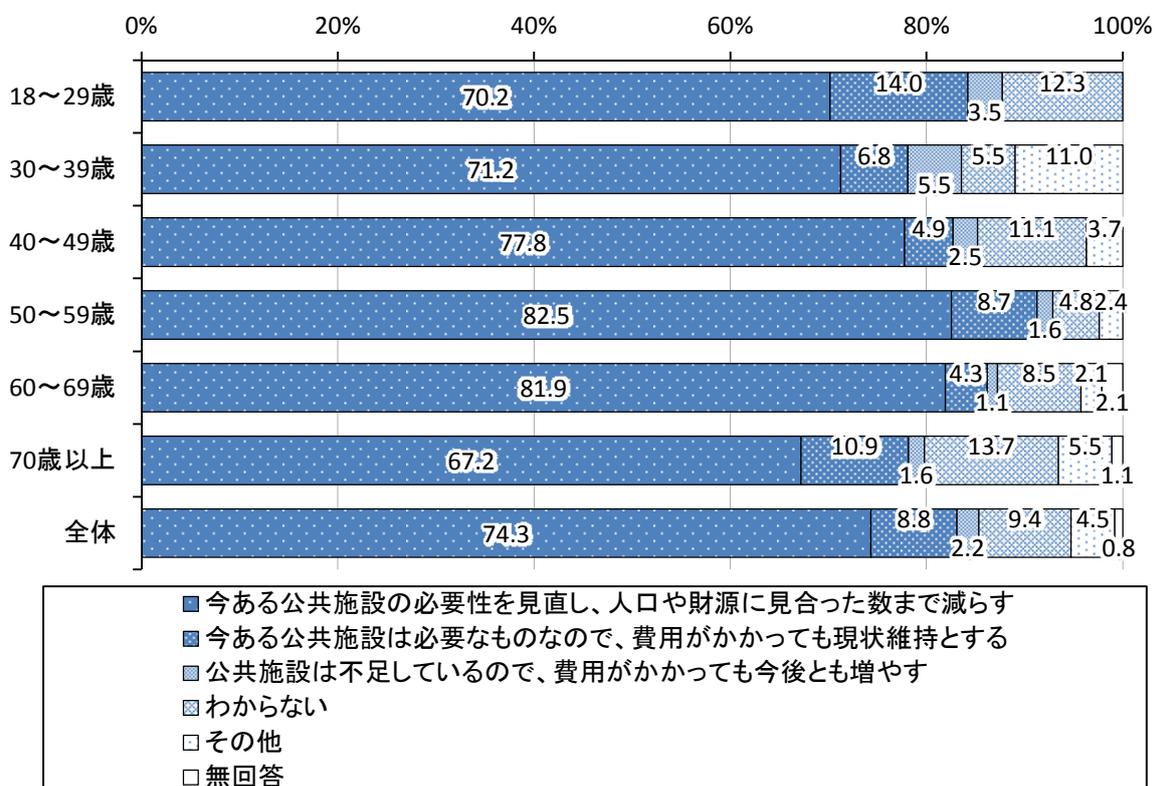
図表 3.12 公共施設の整備の方向性



イ 年齢別

年齢別でみると、「今ある公共施設の必要性を見直し、人口や財源に見合った数まで減らす」が18～69歳までは年齢が上がるに高くなり、70.2～81.9%となっていますが、70歳以上になると67.2%と低下しています。

図表 3.13 年齢別にみた公共施設の整備の方向性

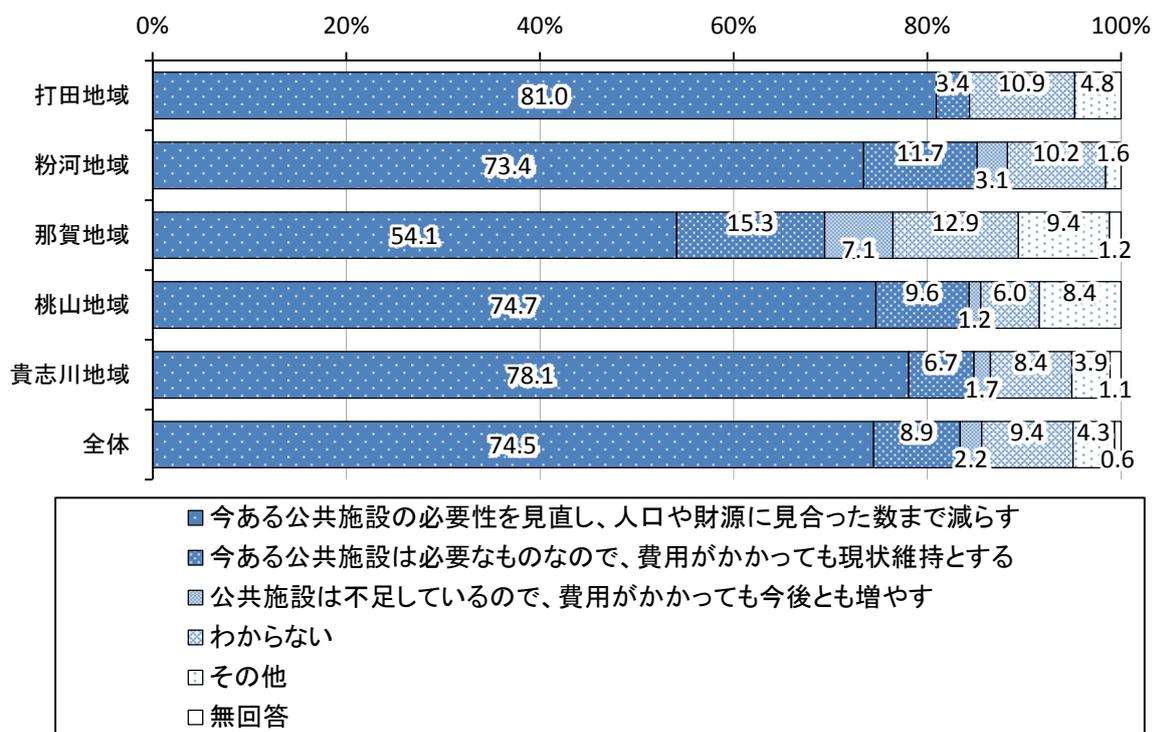


ウ 地域別

地域別でみると、那賀地域を除くと、「今ある公共施設の必要性を見直し、人口や財源に見合った数まで減らす」が70%以上を占めていますが、那賀地域は54.1%と低くなっています。

また那賀地域では、「公共施設は不足しているので、費用がかかっても今後とも増やす」が7.1%と他の地域が3%以下なのに対して高くなっています。

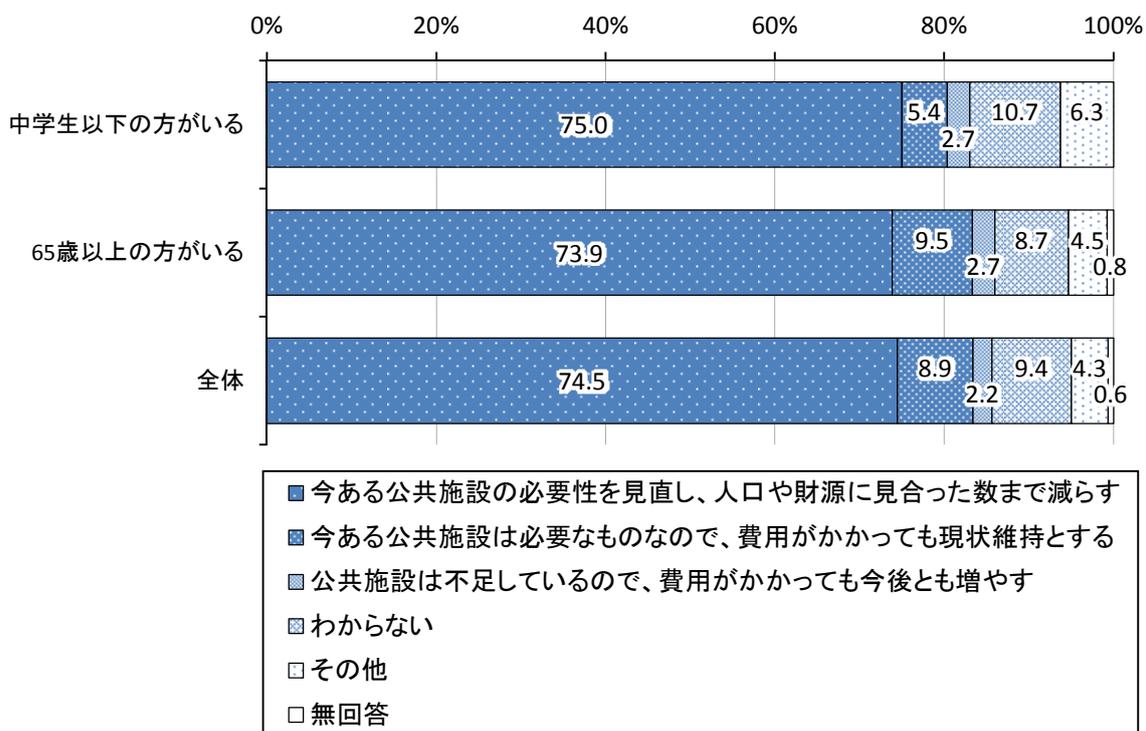
図表 3.14 地域別にみた公共施設の整備の方向性



エ 家族構成別

家族構成別でみると、中学生以下の方がいる世帯、65歳以上の方がいる世帯とも「今ある公共施設の必要性を見直し、人口や財源に見合った数まで減らす」は75%程度で殆ど同じですが、「今ある公共施設は必要なものなので、費用がかかっても現状維持とする」は中学生以下の方がいる世帯が5.4%に対し、65歳以上の方がいる世帯は9.5%と差が大きくなっています。

図表 3.15 家族構成別にみた公共施設の整備の方向性



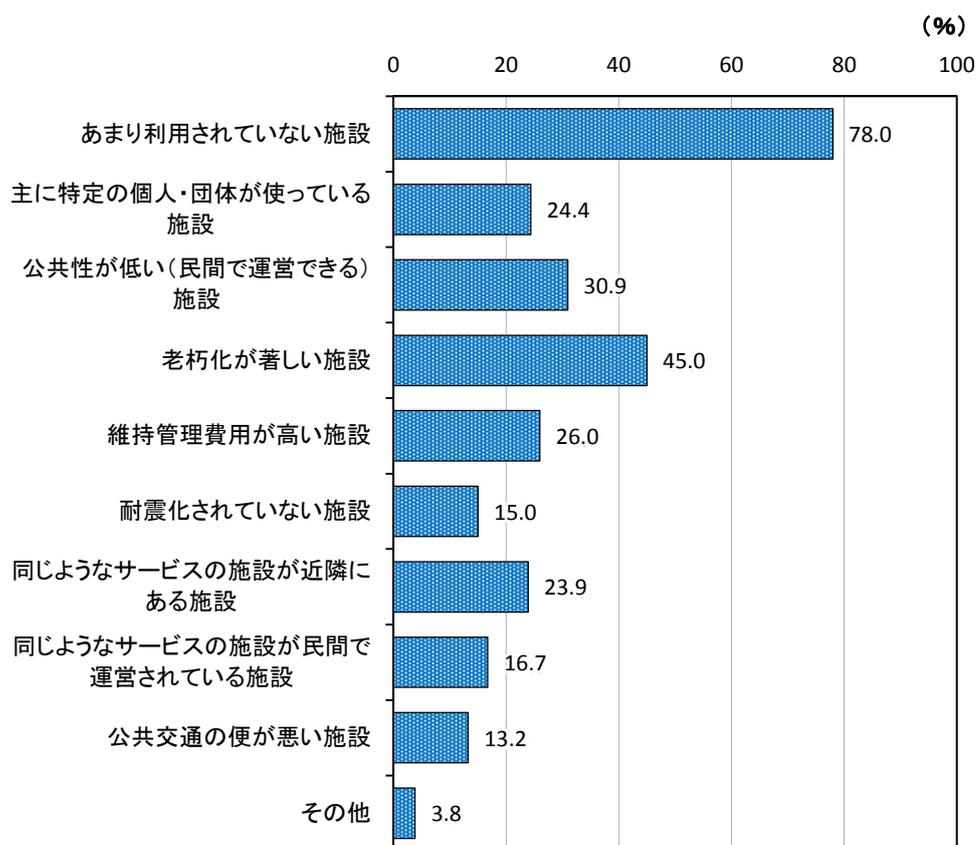
(6) 公共施設の必要性の見直し方針

問：仮に、公共施設の必要性の見直しを行う場合、どのような施設から優先して複合化や統廃合などを行うべきとお考えですか。あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「あまり利用されていない施設」が78.0%と最も高く、次いで、「老朽化が著しい施設」が45.0%、「公共性が低い（民間で運営できる）施設」が30.9%、「維持管理費用が高い施設」が26.0%等となっています。

図表 3.16 公共施設の更新費用の負担を減らす方策

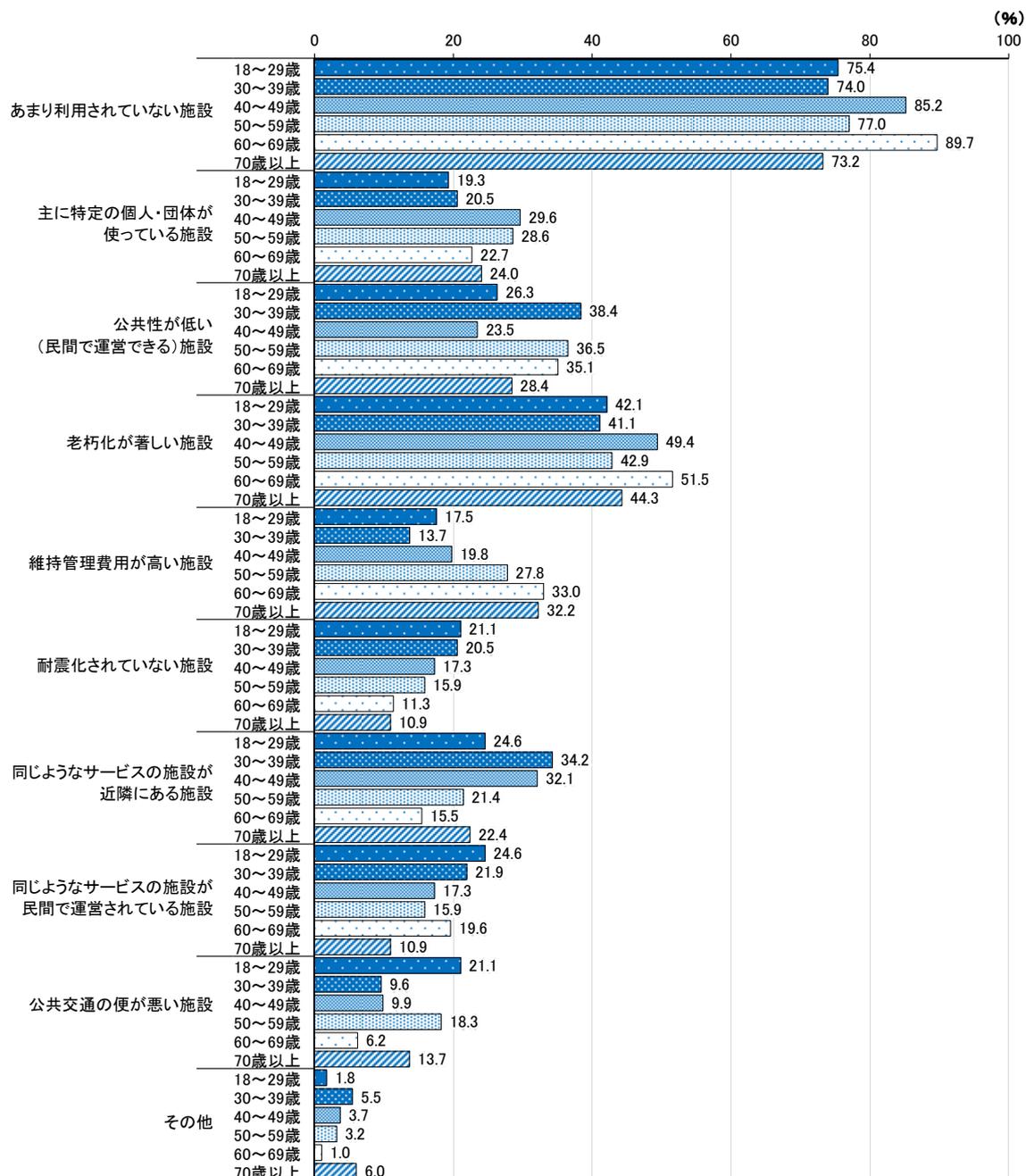


イ 年齢別

年齢別でみると、全ての年齢層で「あまり利用されていない施設」が最も高く74.0～89.7%、次いで、「老朽化が著しい施設」が41.1～51.5%となっています。

また、30～39歳と50～69歳で「公共性が低い（民間で運営できる）施設」が、30～49歳で「同じようなサービスの施設が近隣にある施設」が高くなっています。

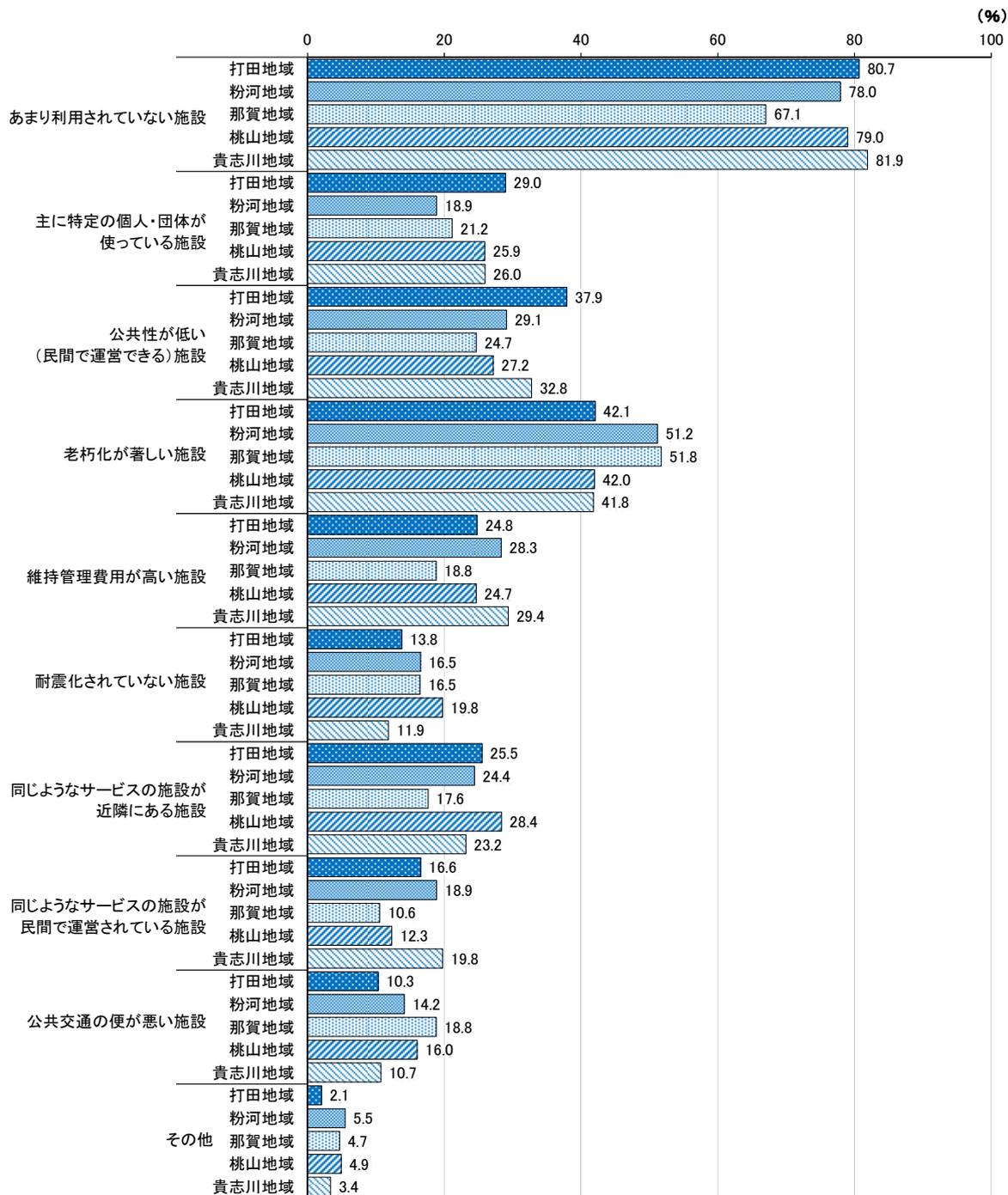
図表 3.17 年齢別にみた公共施設の更新費用の負担を減らす方策



ウ 地域別

地域別でみると、全ての地域で「あまり利用されていない施設」が最も多く、那賀地域を除くと80%前後、那賀地域は67.1%となっています。次いで多いのが、「老朽化が著しい施設」で粉河地域と那賀地域が51.2%と51.8%、残りの地域は42%前後となっています。

図表 3.18 地域別にみた公共施設の更新費用の負担を減らす方策

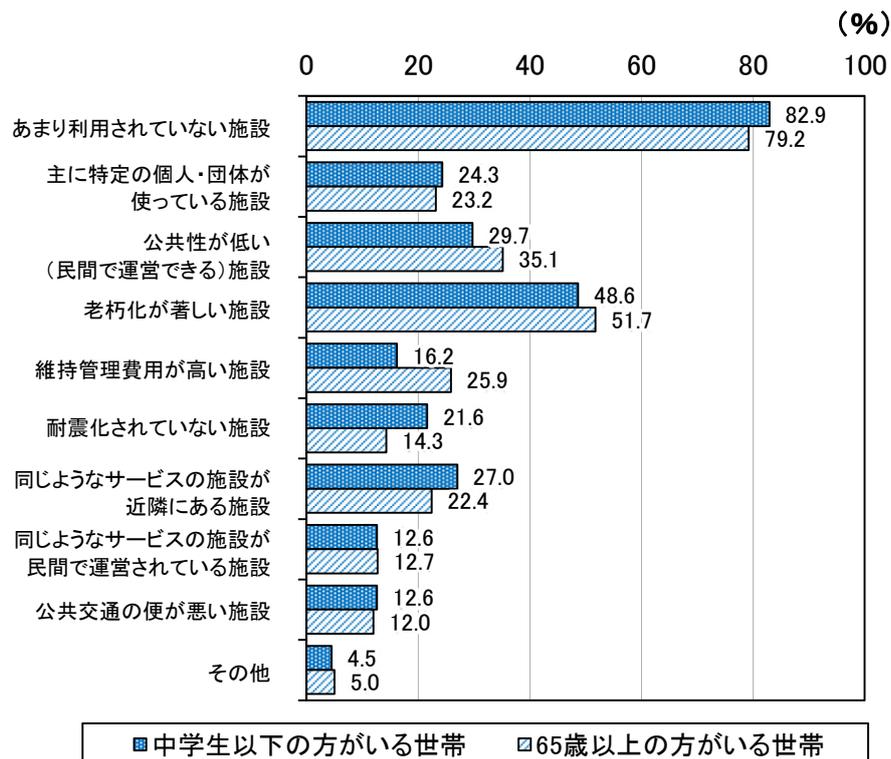


エ 家族構成別

家族構成別でみると、中学生以下の方がいる世帯、65歳以上の方がいる世帯ともに「あまり利用されていない施設」が最も高く80%前後、次いで「老朽化が著しい施設」が50%前後となっています。

また、「耐震化されていない施設」について、中学生以下の方がいる世帯では21.6%に対し、65歳以上の方がいる世帯では14.3%、同様に「維持管理費用が高い施設」については16.2%に対し25.9%と差がみられます。

図表 3.19 家族構成別にみた公共施設の更新費用の負担を減らす方策



(7) 公共施設の更新費用の負担を減らす方策

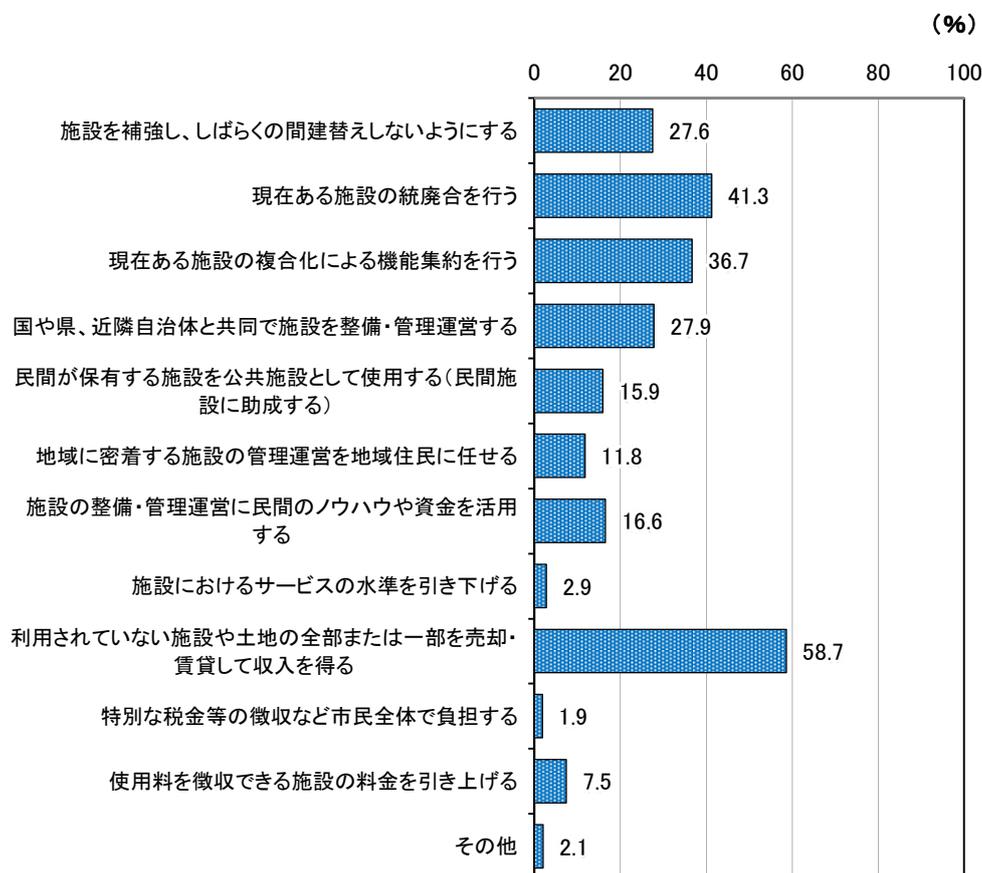
問：公共施設を適切に維持していくためには、公共施設の更新などにかかる費用の負担を減らす必要があります。そのために積極的に実施すべき取組として、あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」が58.7%と最も高く、次いで「現在ある施設の統廃合を行う」が41.3%、「現在ある施設の複合化による機能集約を行う」が36.7%、「国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する」が27.9%等となっています。

一方で、「特別な税金等の徴収など市民全体で負担する」や「施設におけるサービスの水準を引き下げる」は、それぞれ1.9%、2.9%と低くなっています。

図表 3.20 公共施設の更新費用の負担を減らす方策

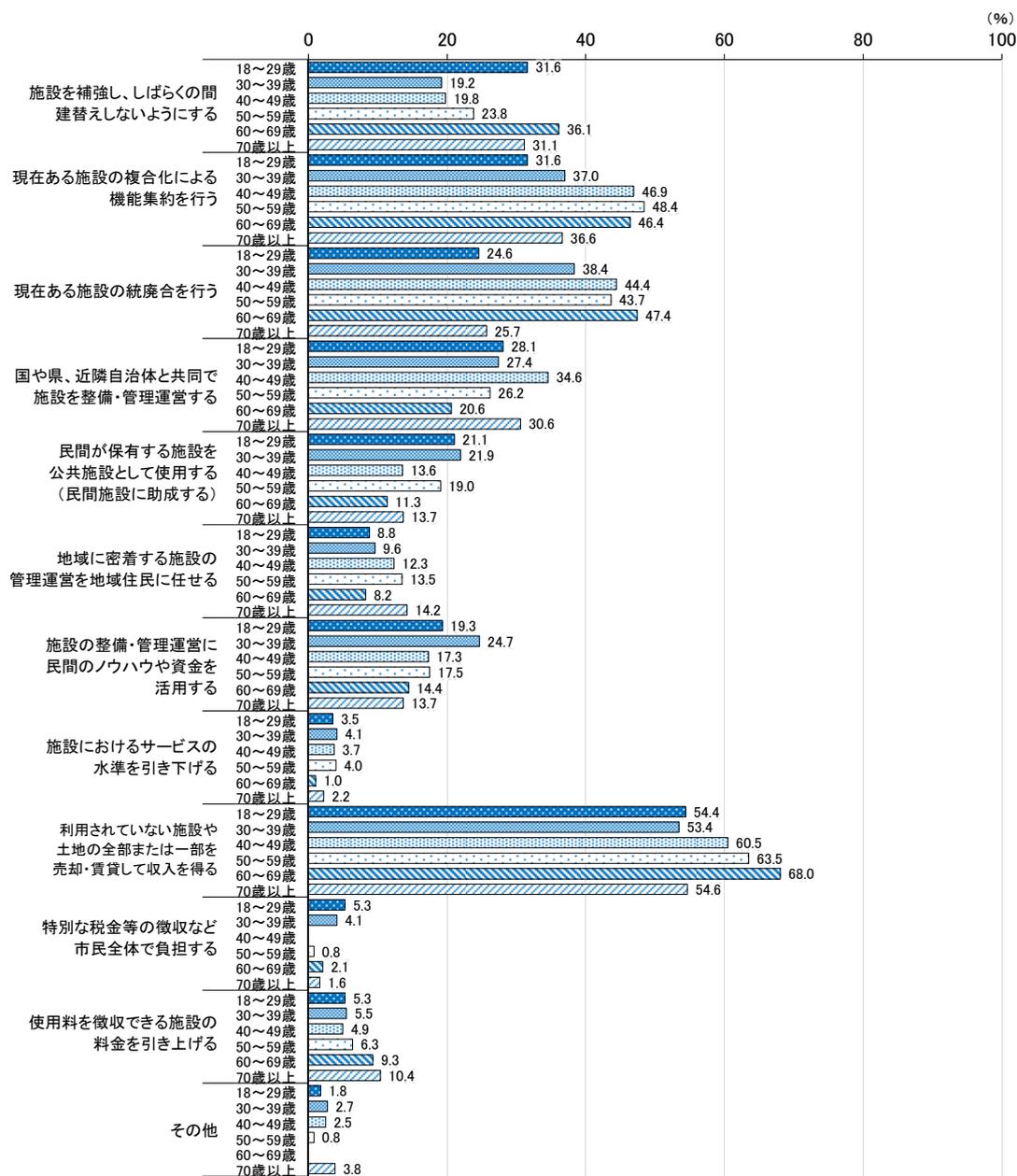


イ 年齢別

年齢別で見ると、「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」が最も多く、18～39歳と70歳以上では55%前後、40～69歳では60～68%となっています。

次いで、40～69歳では「現在ある施設の複合化による機能集約を行う」や「現在ある施設の統廃合を行う」が45%前後と多く、18～29歳と70歳以上では「施設を補強し、しばらくの間建替えしないようにする」が31%前後となっています。

図表 3.21 年齢別公共施設の更新費用の負担を減らす方策

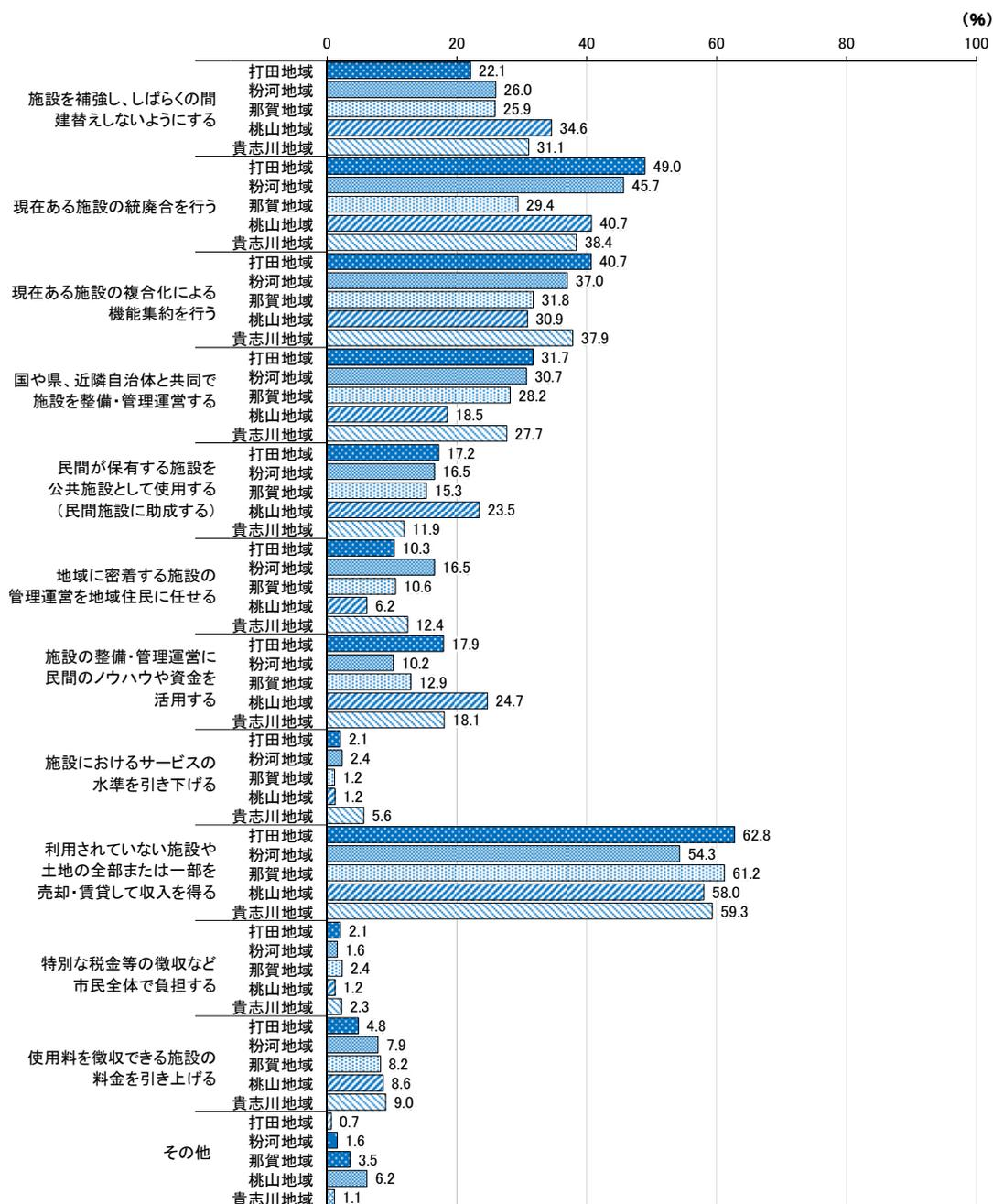


ウ 地域別

地域別で見ると、各地域で傾向に大きな差はありませんが、那賀地区で「現在ある施設の統廃合を行う」が29.4%と他地域（38.4～49.0%）と比べ低くなっています。

また、桃山地域では「国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する」は18.5%と他地域（27.7～31.7%）と比べ低く、「民間が保有する施設を公共施設として使用する（民間施設に助成する）」は23.5%と他地域（11.9～17.2%）と比べ高くなっています。

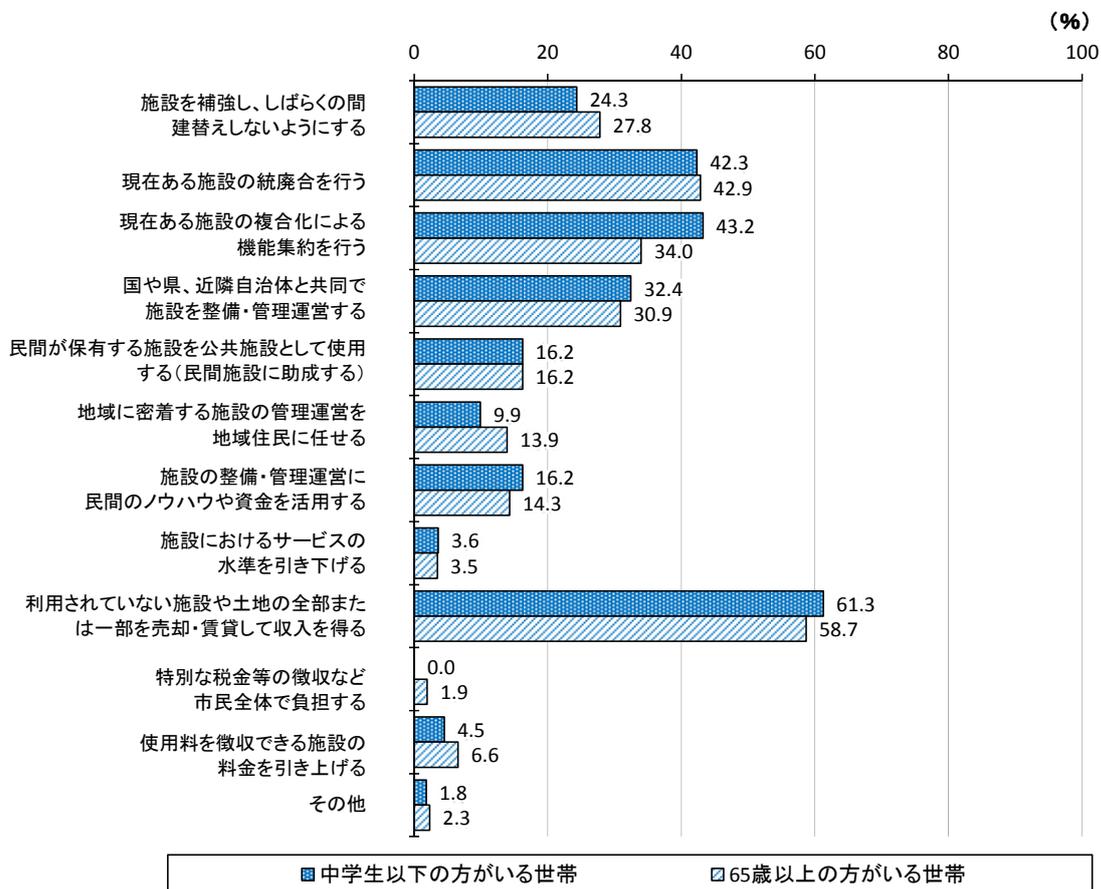
図表 3.22 地域別公共施設の更新費用の負担を減らす方策



エ 家族構成別

家族構成別でみると、中学生以下の方がいる世帯と、65歳以上の方がいる世帯とでは、基本的に大きな違いは見られません。

図表 3.23 家族構成別公共施設の更新費用の負担を減らす方策



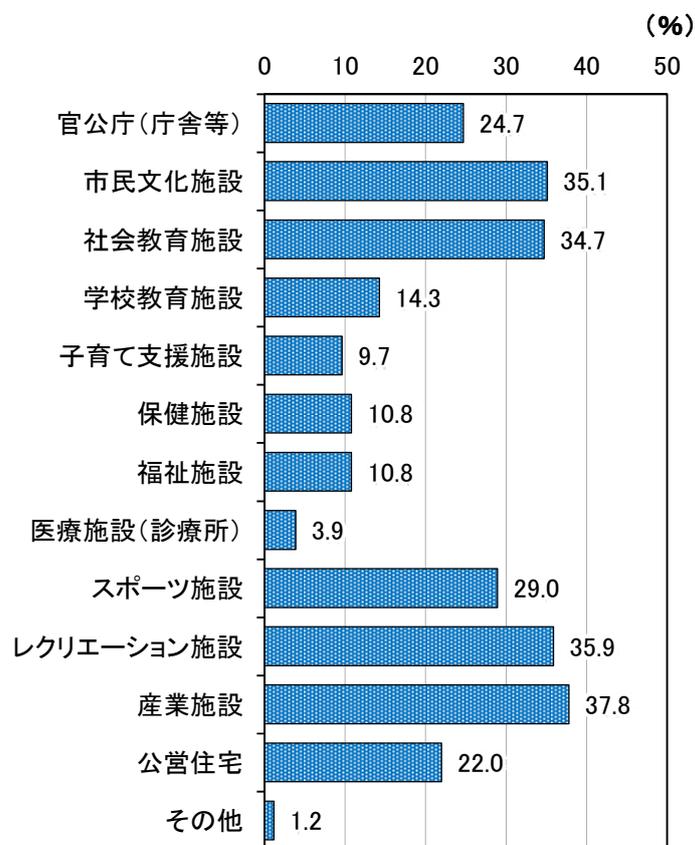
(8) 優先的に見直すべき公共施設

問：前問で「現在ある施設の統廃合を行う」を選んだ方にお尋ねします。施設の統廃合を行う場合、下記のどの施設から統廃合を進めるべきだと思いますか。
あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「産業施設」が37.8%と最も高く、次いで、「レクリエーション施設」が35.9%、「市民文化施設」が35.1%、「社会教育施設」が34.7%、「スポーツ施設」が29.0%等となっています。一方で、「医療施設」は3.9%と低く、見直しには消極的な回答が多くなっています。

図表 3.24 優先的に見直すべき公共施設



イ 年齢別

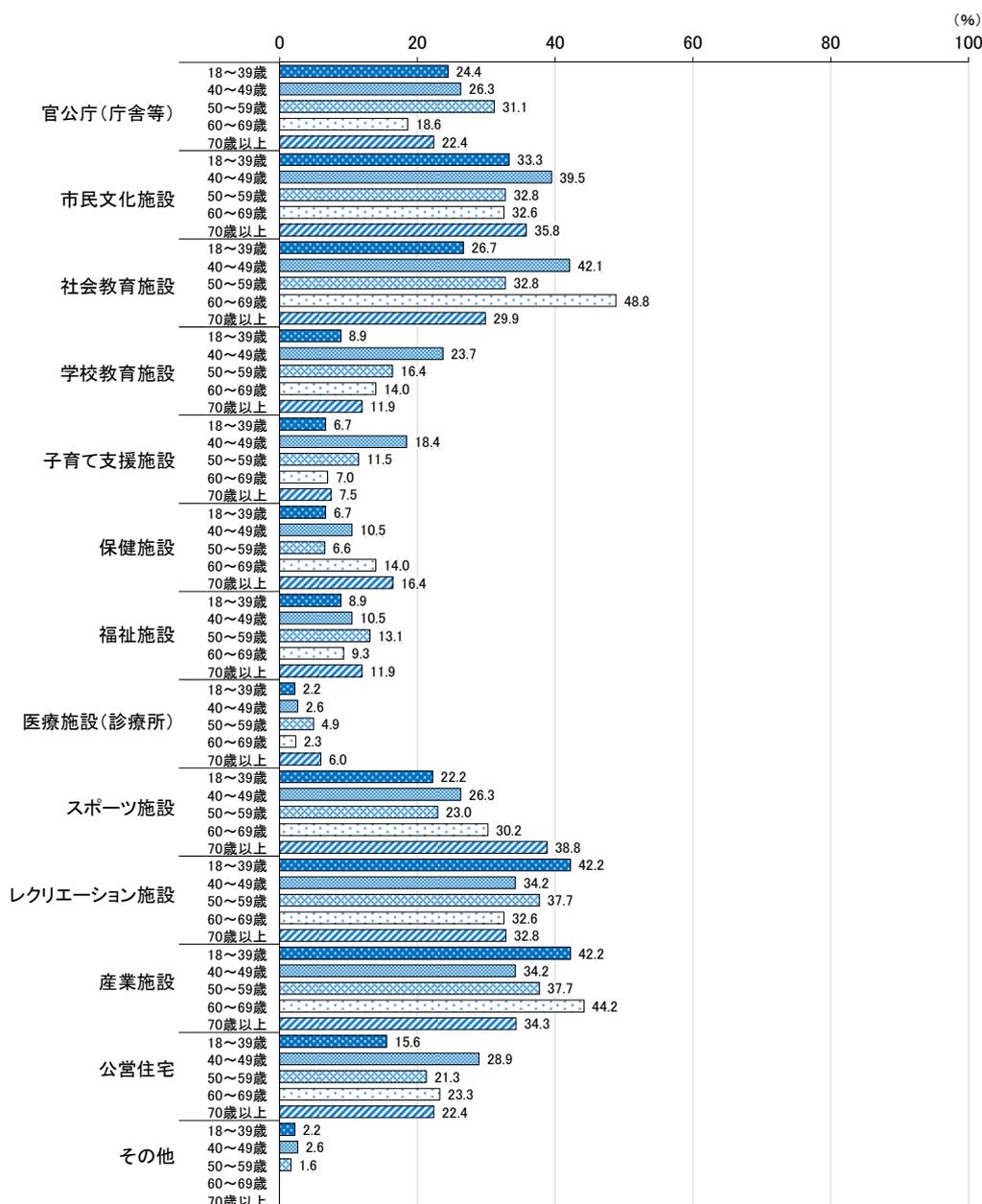
年齢別でみると、各年齢層とも、「市民文化施設」、「レクリエーション施設」、「産業施設」が高くなっています。

「社会教育施設」について、18～39歳では26.7%、40～49歳では42.1%、50～59歳では32.8%、60～69歳では48.8%、70歳以上では29.9%と年齢層によって大きく異なっています。

「学校教育施設」と「子育て支援施設」は、40歳以上では年齢層が上になるに連れて23.7→11.9%、18.4→7.5%と低くなっています。

また、各年齢層とも「医療施設」は2.2～6.0%と低くなっています。

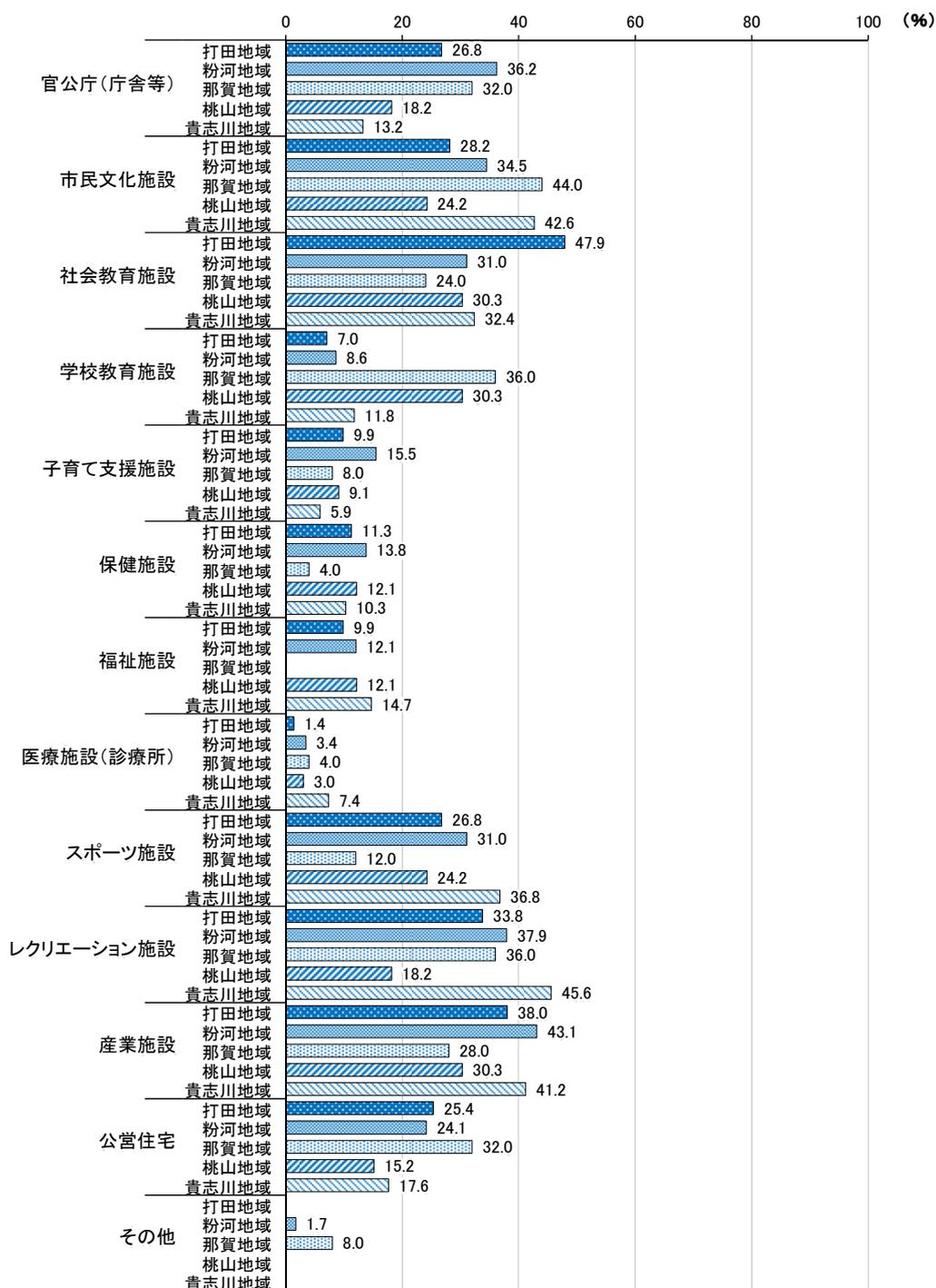
図表 3.25 年齢別優先的に見直すべき公共施設



ウ 地域別

地域別でみると、最も高かったのは、打田地域では「社会教育施設」で47.9%、粉河地域では「産業施設」で43.1%、那賀地域では「市民文化施設」で44.0%、桃山地域は「社会教育施設」と「学校教育施設」、貴志川地域では「レクリエーション施設」が45.6%と、地域によって大きく異なっています。

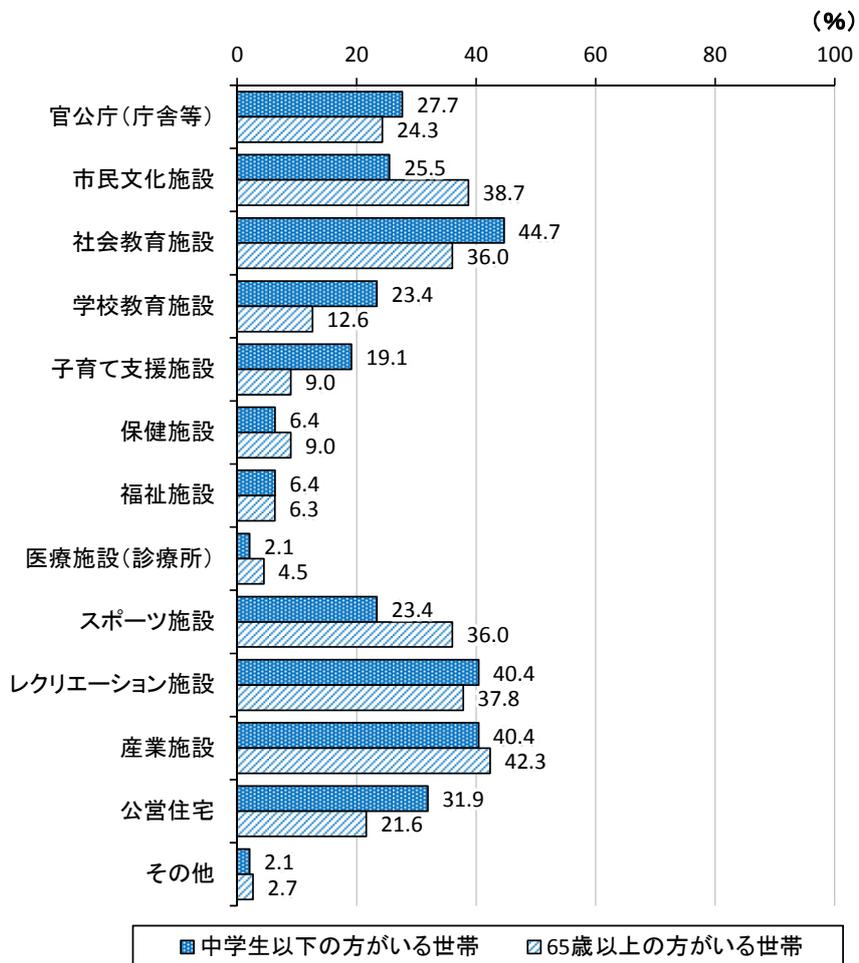
図表 3.26 地域別優先的に見直すべき公共施設



エ 家族構成別

家族構成別でみると、「市民文化施設」、「スポーツ施設」は中学生以下の方がいる世帯が低く、「学校教育施設」、「子育て支援施設」、「公営住宅」では65歳以上の方がいる世帯が低くなっています。

図表 3.27 家族構成別優先的に見直すべき公共施設



(9) 支所の複合化の賛否

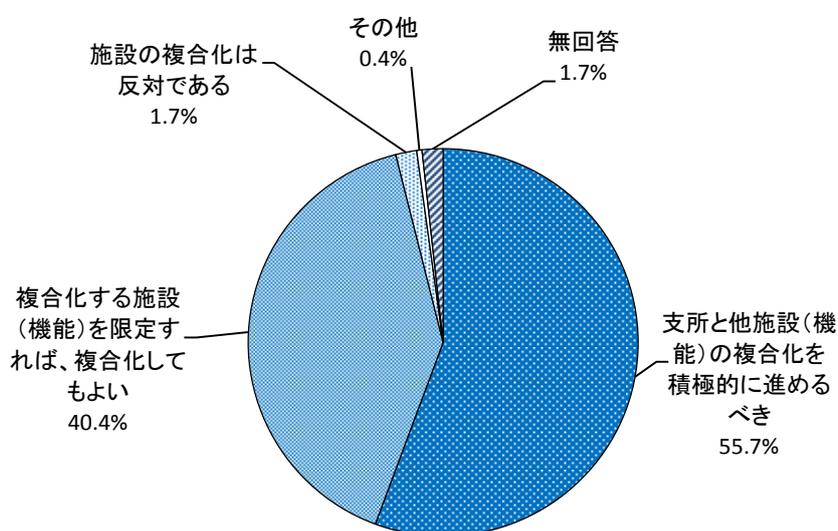
問：「(7) 公共施設の更新費用の負担を減らす方策」で、「施設の複合化」を選んだ方にお尋ねします。支所を他の周辺施設などと複合化することについて、どのようにお考えですか。あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「支所と他施設（機能）の複合化を積極的に進めるべき」が 55.7%と最も高く、「複合化する施設（機能）を限定すれば、複合化してもよい」の 40.4%とあわせると、回答者の殆どが支所の複合化に賛成しています。

なお、「支所の複合化は反対である」は 1.7%となっています。

図表 3.28 支所の複合化

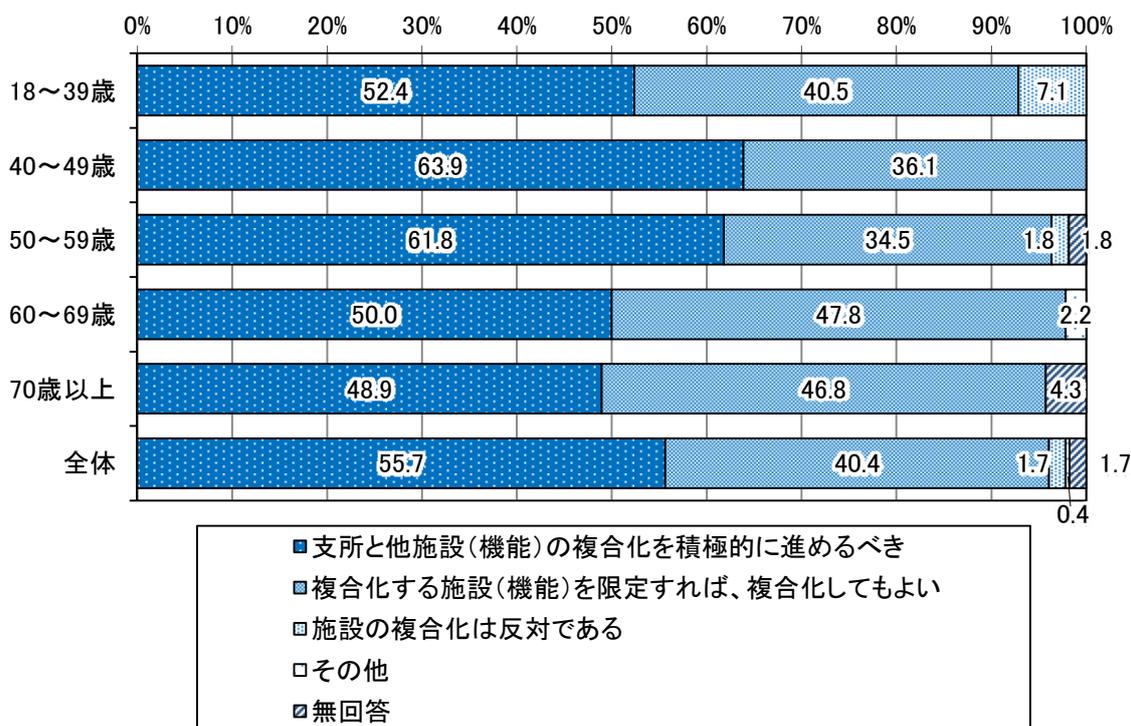


イ 年齢別

年齢別でみると、40～49歳と50～59歳では「支所と他施設（機能）の複合化を積極的に進めるべき」はそれぞれ63.9%、61.8%と他の年齢層に比べ高くなっています。

なお、18～39歳では「支所の複合化は反対である」が7.1%と他の年齢層に比べ高くなっています。

図表 3.29 年齢別支所の複合化

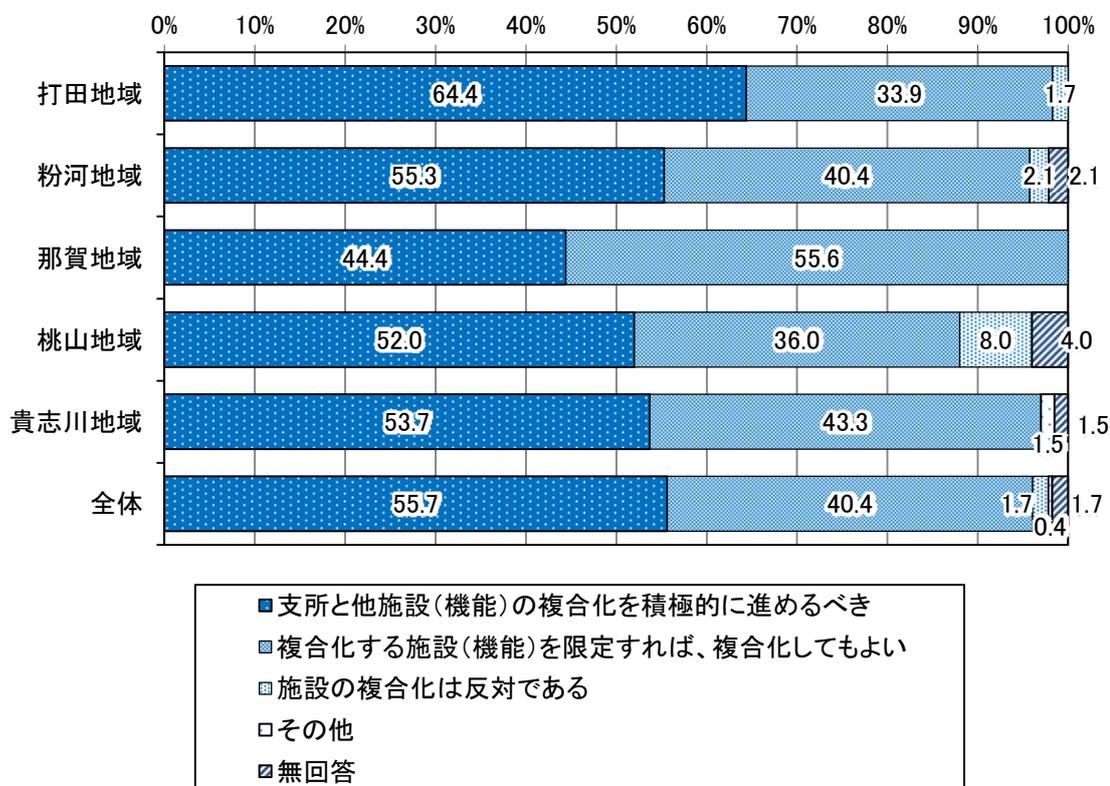


ウ 地域別

地域別でみると、「支所と他施設（機能）の複合化を積極的に進めるべき」と「複合化する施設（機能）を限定すれば、複合化してもよい」と合わせた、支所の複合化に賛成する回答は各地域とも9割以上となっています。

なお、那賀地域では「支所と他施設（機能）の複合化を積極的に進めるべき」が44.4%、「複合化する施設（機能）を限定すれば、複合化してもよい」が55.6%と、他の地域に比べ限定的な考えの方が多く、また、桃山地域では「施設の複合化は反対である」が8.0%と高くなっています。

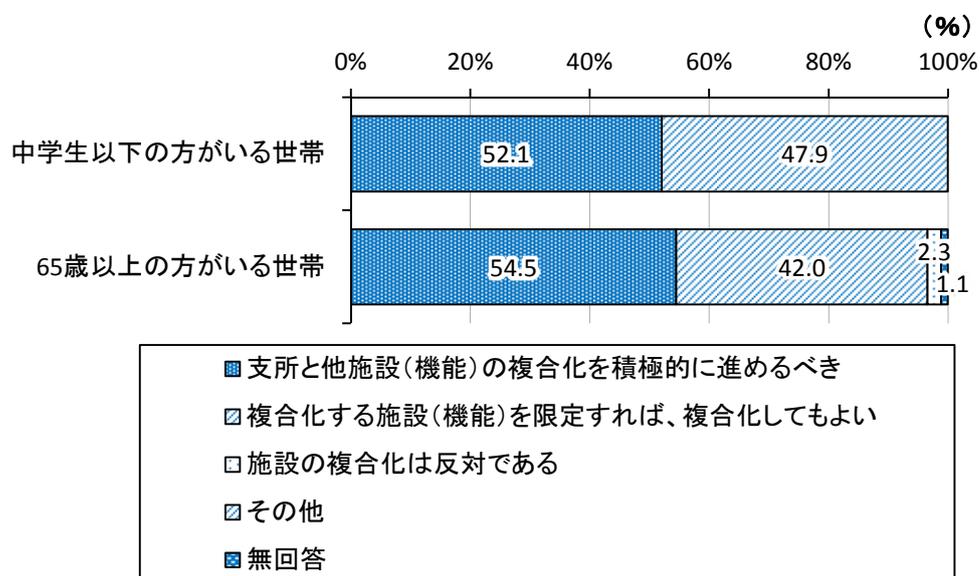
図表 3.30 地域別支所の複合化



エ 家族構成別

家族構成別でみると、「施設の複合化には反対である」は、65歳以上の方がいる世帯で2.3%となっています。

図表 3.31 家族構成別支所の複合化



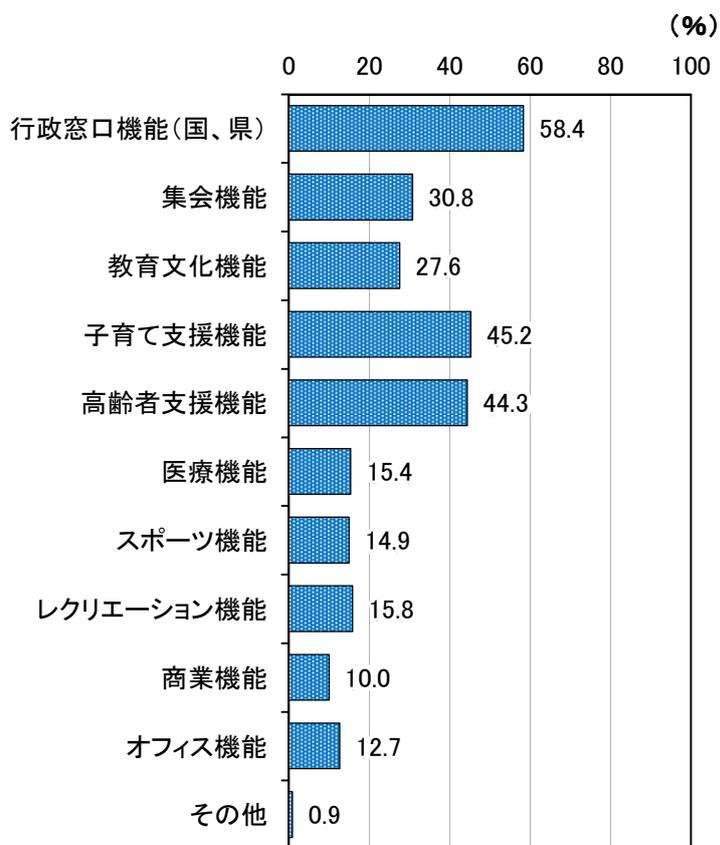
(10) 支所との複合化が望ましい機能

問：前問で1「支所と他施設（機能）の複合化を積極的に進めるべき」または2「複合化する施設（機能）を限定すれば、複合化してもよい」と回答した方にお尋ねします。
支所と複合化してもよいと考える機能について、該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「行政窓口機能（国、県）」が58.4%と最も多く、次いで「子育て支援機能」が45.2%、「高齢者支援機能」が44.3%等となっています。

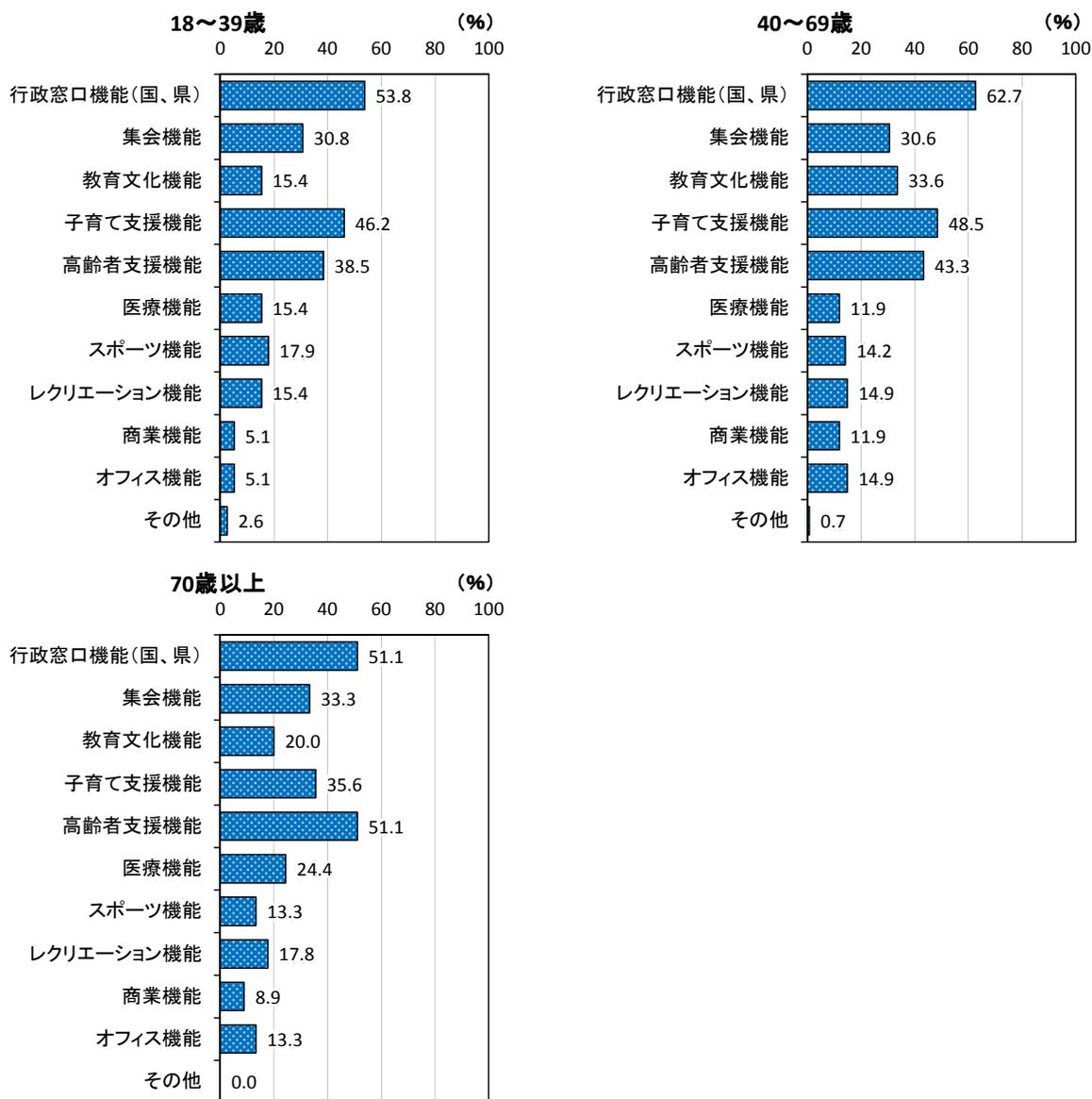
図表 3.32 支所との複合化が望ましい機能



イ 年齢別

年齢別でみると、各年齢層とも「行政窓口機能（国、県）」が最も高く、次いで18～69歳は「子育て支援機能」、70歳以上では「高齢者支援機能」が高くなっています。また、18～39歳と70歳以上では、40～69歳に比べ「教育文化機能」が低くなっています。

図表 3.33 年齢別支所との複合化が望ましい機能

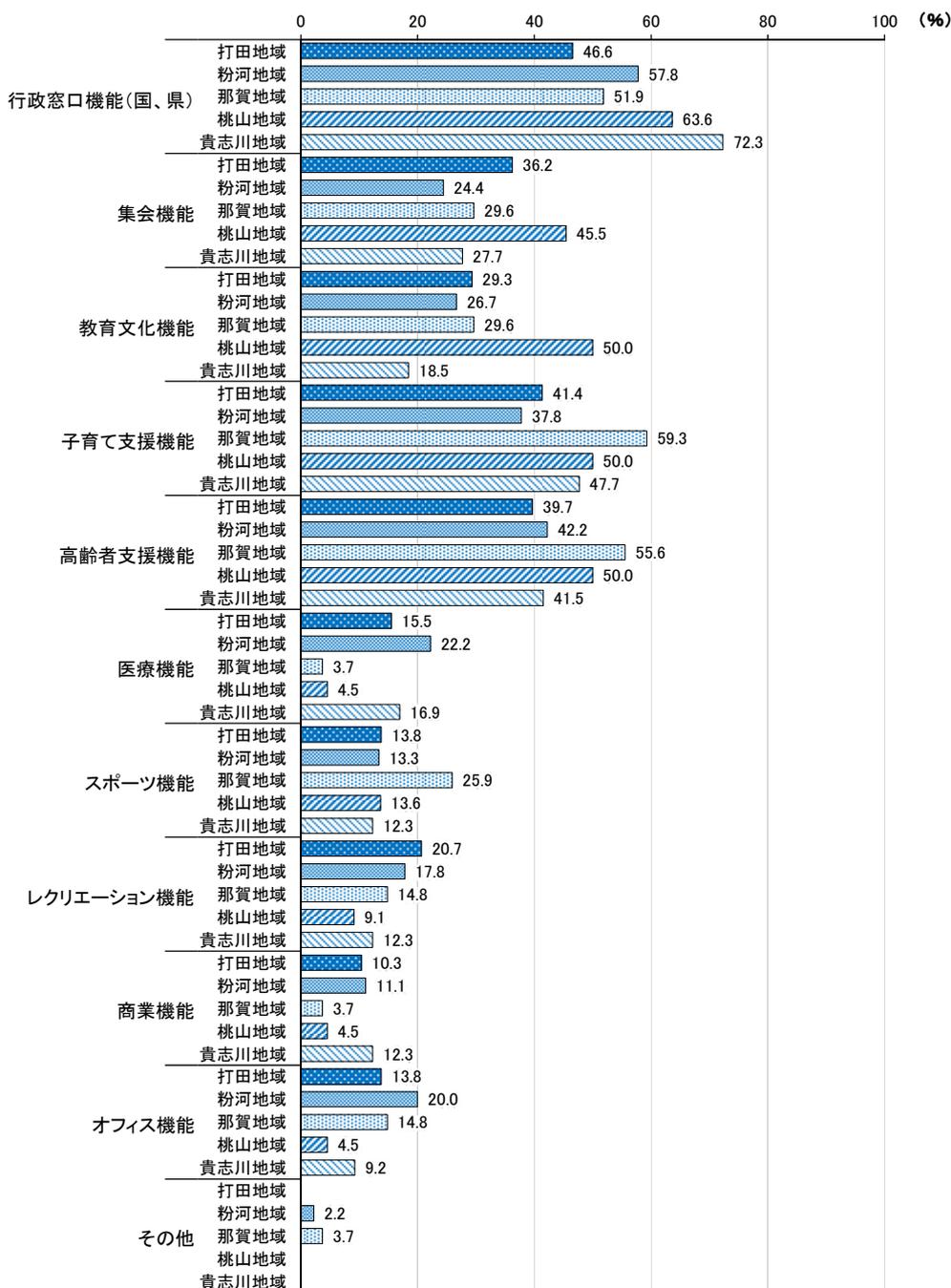


ウ 地域別

地域別でみると、那賀地域では「子育て支援機能」が59.3%、「高齢者支援機能」が55.6%と地域間で最も高く、貴志川地域では「行政窓口機能(国、県)」が72.3%と高くなっています。

また、桃山地域では「集会機能」と「教育文化機能」が他の地域と比べ高くなっています。

図表 3.34 地域別支所との複合化が望ましい機能



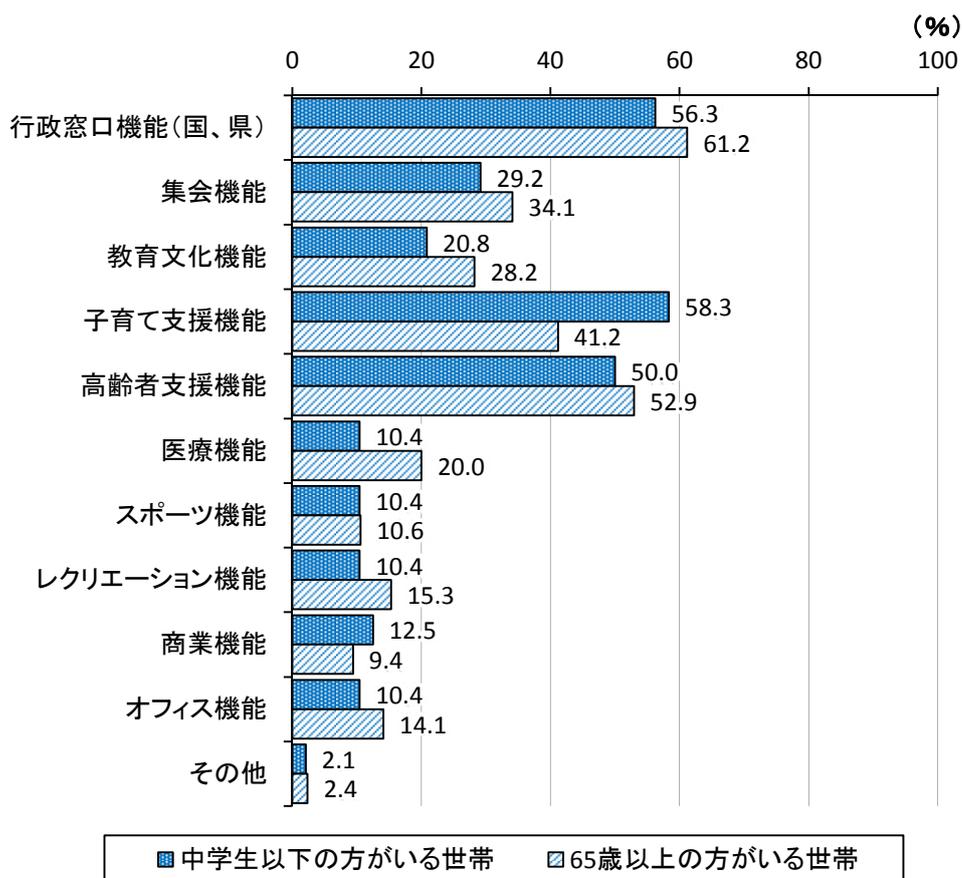
エ 家族構成別

家族構成別でみると、中学生以下の方がいる世帯については、「子育て支援機能」が 58.3% と最も高く、次いで、「行政窓口機能」が 56.3%、「高齢者支援機能」が 50.0% となっています。

65 歳以上の方がいる世帯については、「行政窓口機能」が 61.2% で最も高く、次いで、「高齢者支援機能」が 52.9%、「子育て支援機能」が 41.2% となっています。

また、「医療機能」は、中学生以下の方がいる世帯が 10.4% に対し、65 歳以上の方がいる世帯が 20.0% と差が大きくなっています。

図表 3.35 家族構成別支所との複合化が望ましい機能



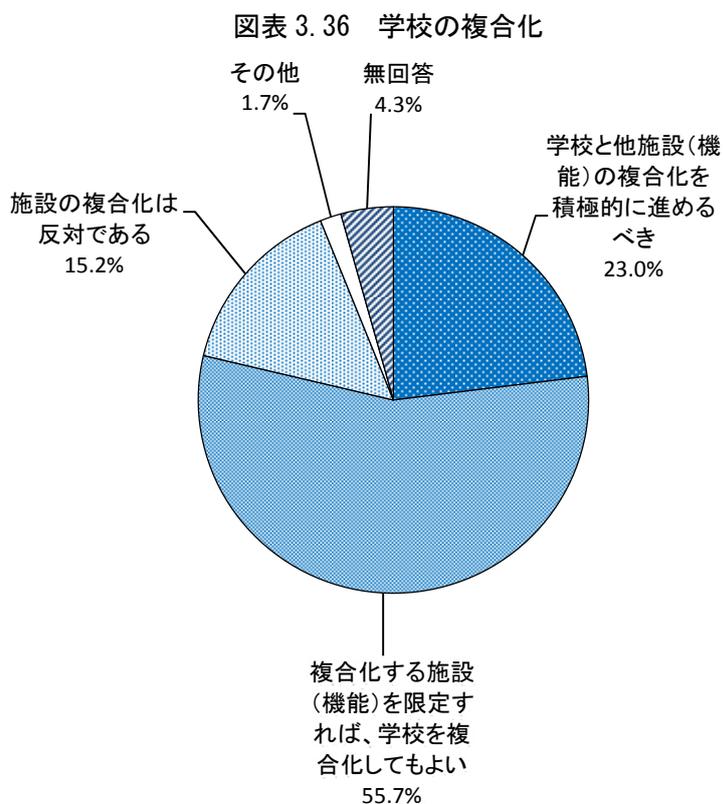
(11) 学校の複合化の賛否

問：教育面や防犯面の問題を考慮した上で、他の周辺施設などと複合化することについて、どのようにお考えですか。あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校を複合化してもよい」が55.7%と最も高くなっており、「学校の複合化を積極的に進めるべき」の23.0%とあわせると、学校の複合化に賛成は8割近くとなっています。

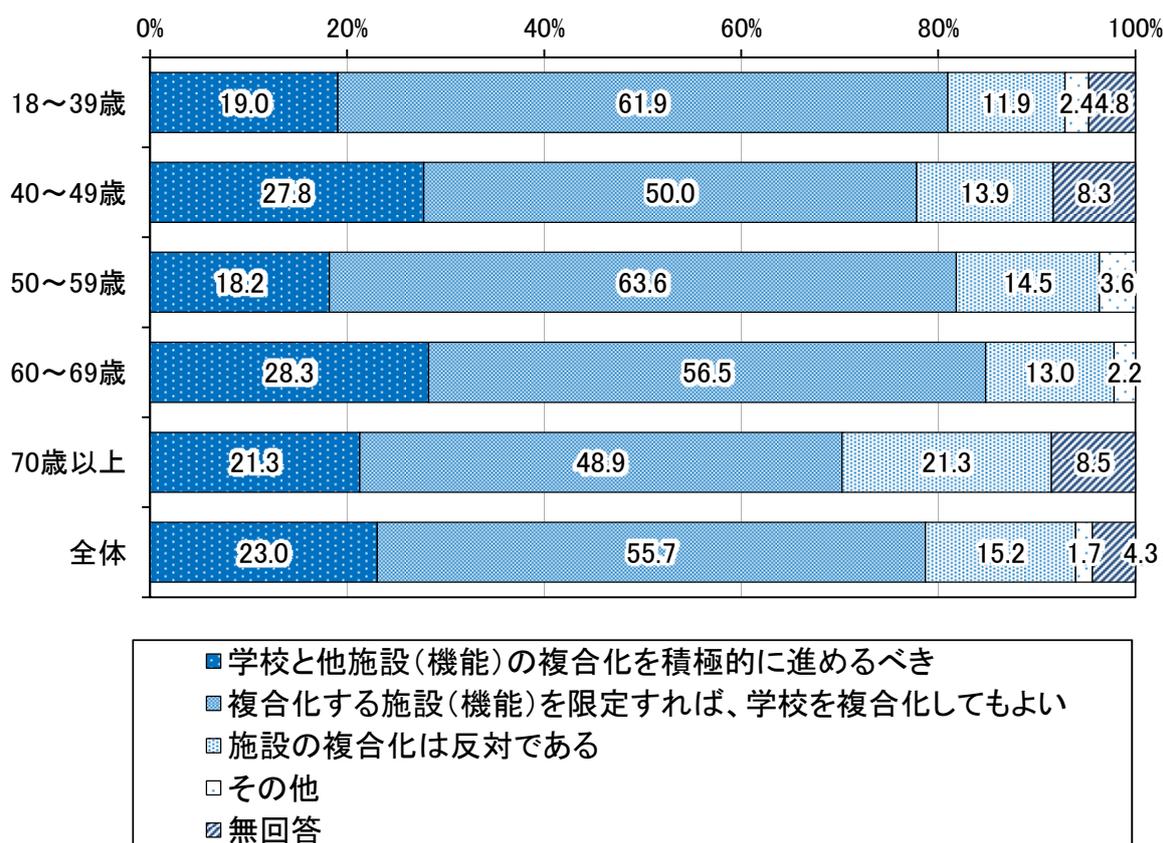
一方、「学校の複合化は反対である」は15.2%となっています。



イ 年齢別

年齢別でみると、「学校の複合化を積極的に進めるべき」と「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校を複合化してもよい」を合わせた学校の複合化への賛成意見は、70歳未満の年齢層では、77.8～84.8%となっていますが、70歳以上では、70.2%と低く、「学校の複合化は反対である」が21.3%と学校の複合化に関しては否定的な回答が多くなっています。

図表 3.37 年齢別にみた学校の複合化

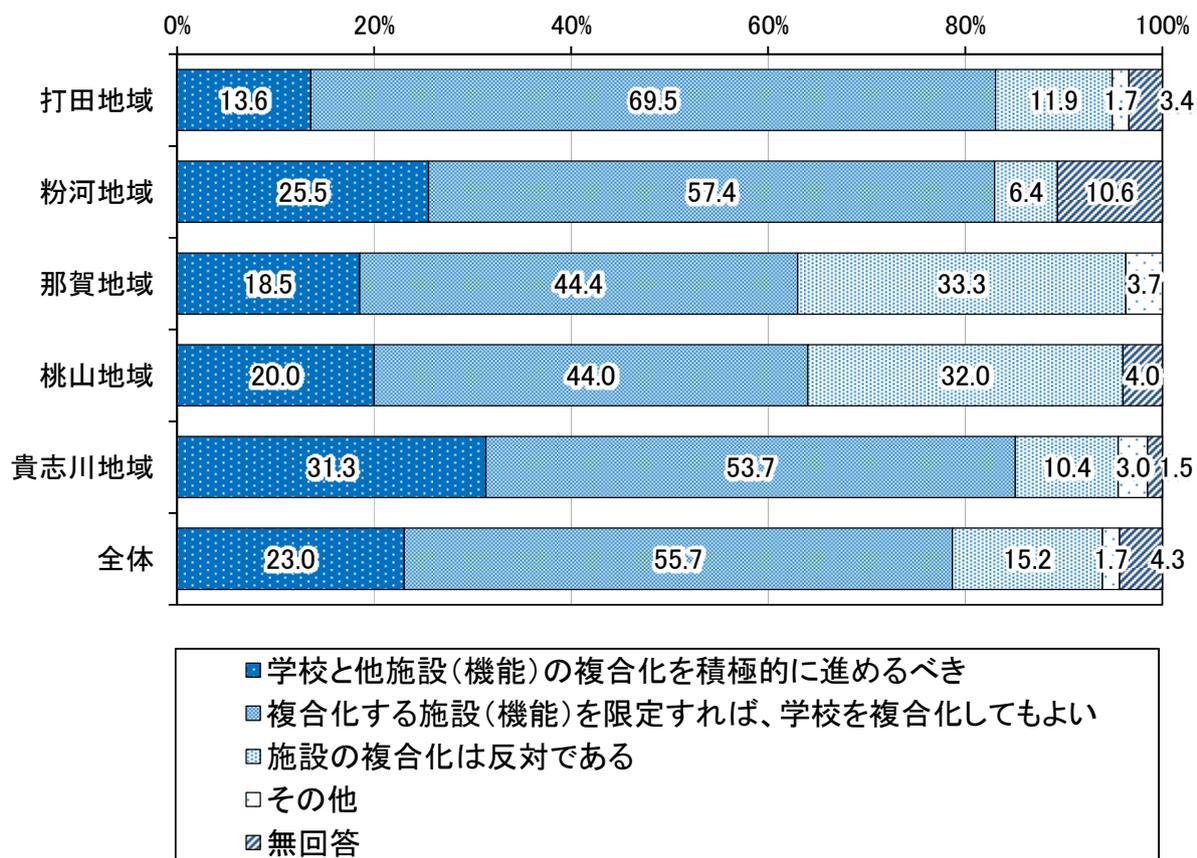


ウ 地域別

地域別でみると、那賀地域、桃山地域では、「学校の複合化は反対である」が3割と、他の地域や市全体を大きく上回っています。

また、貴志川地域では、「学校と他施設（機能）の複合化を積極的に進めるべき」が31.3%と、他の地域と比較して高くなっています。

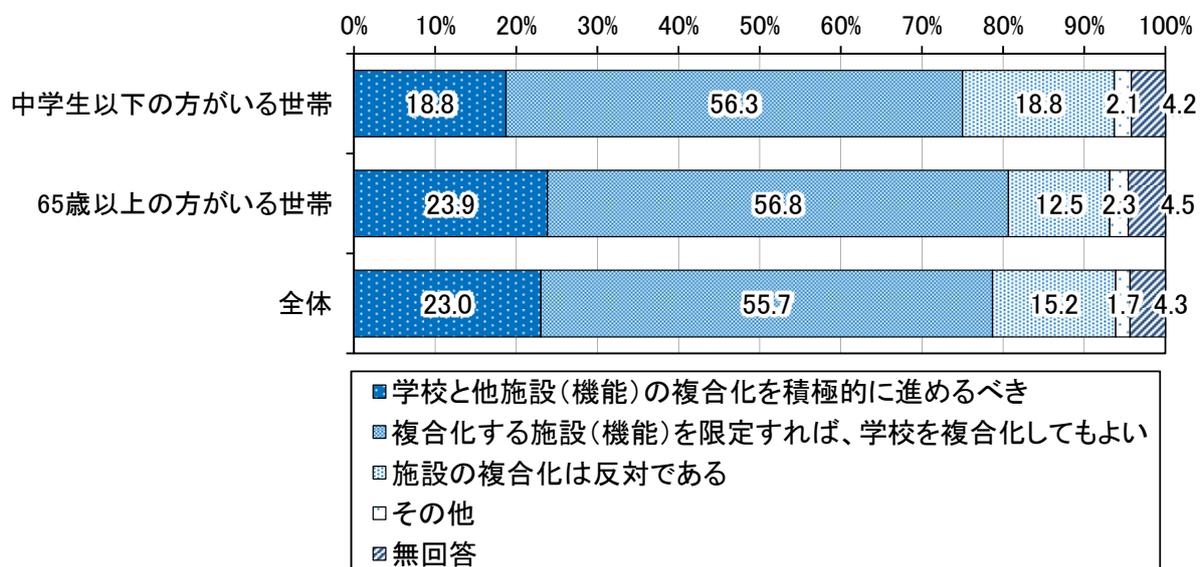
図表 3.38 地域別にみた小中学校の複合化



エ 家族構成別

家族構成別でみると、中学生以下の方がいる世帯では、「施設の複合化は反対である」が18.8%と市全体を上回っています。

図表 3.39 家族構成別にみた小中学校の複合化



(12) 学校との複合化が望ましい機能

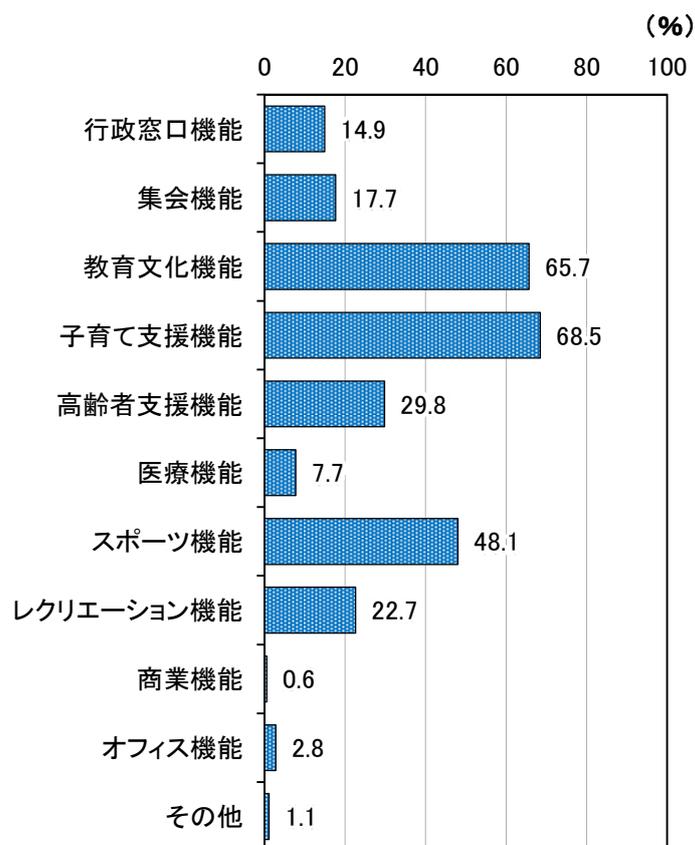
問：前問で「学校の複合化を積極的に進めるべき」または「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校を複合化してもよい」と回答した方にお尋ねします。

学校と複合化してもよいと考える機能について、それぞれの機能ごとに該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「子育て支援機能」が68.5%と最も高く、次いで、「教育文化機能」が65.7%、「スポーツ機能」が48.1%、「高齢者支援機能」が29.8%等となっています。

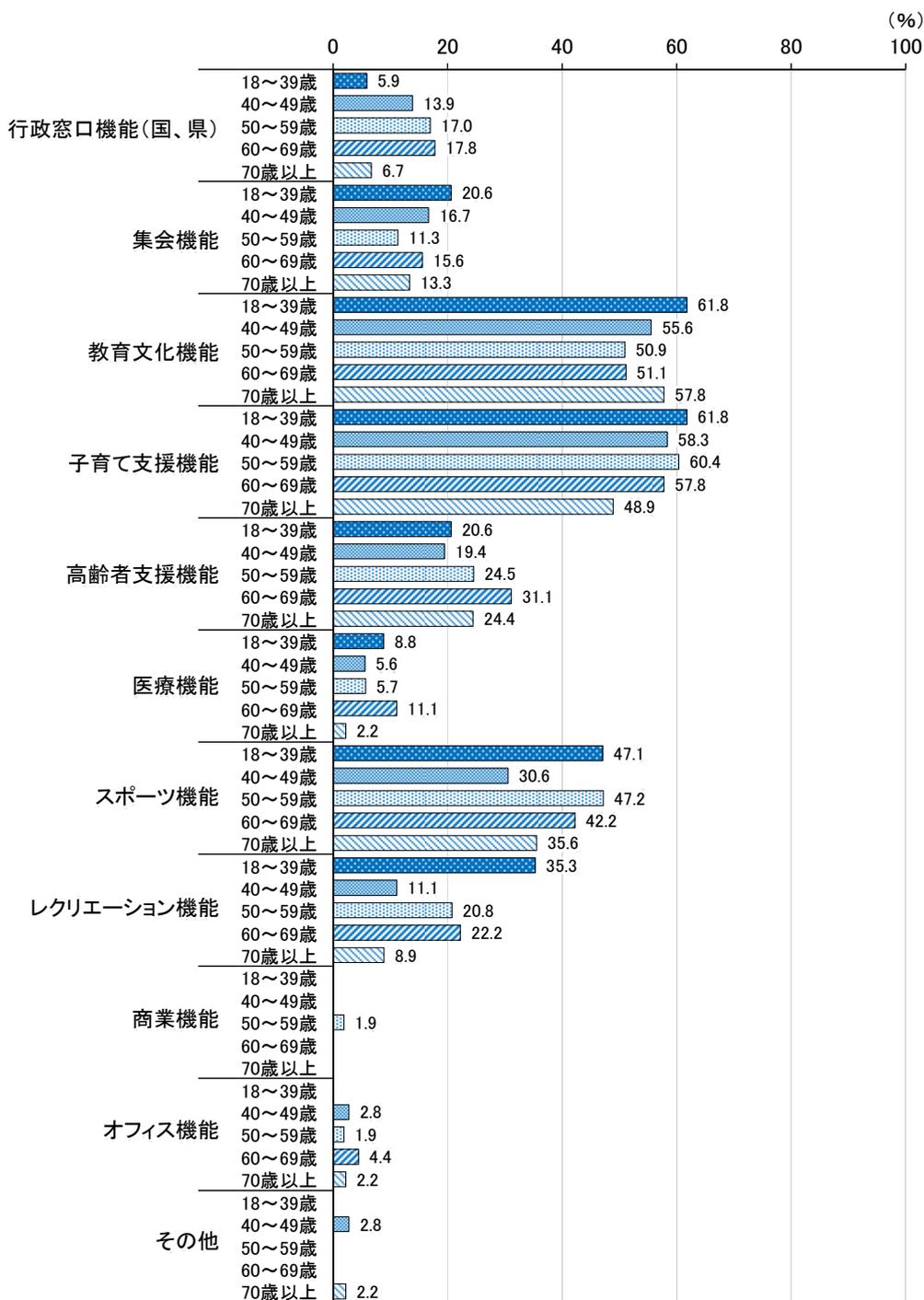
図表 3.40 学校との複合化が望ましい機能



イ 年齢別

年齢別でみると、全ての年齢層で「教育文化機能」が 50.0～61.8%、「子育て支援機能」が 48.9～61.8%と高くなっていますが、それぞれ年齢層が上がるに連れて比率が下がる傾向が見られます。

図表 3.41 年齢別にみた学校との複合化が望ましい機能

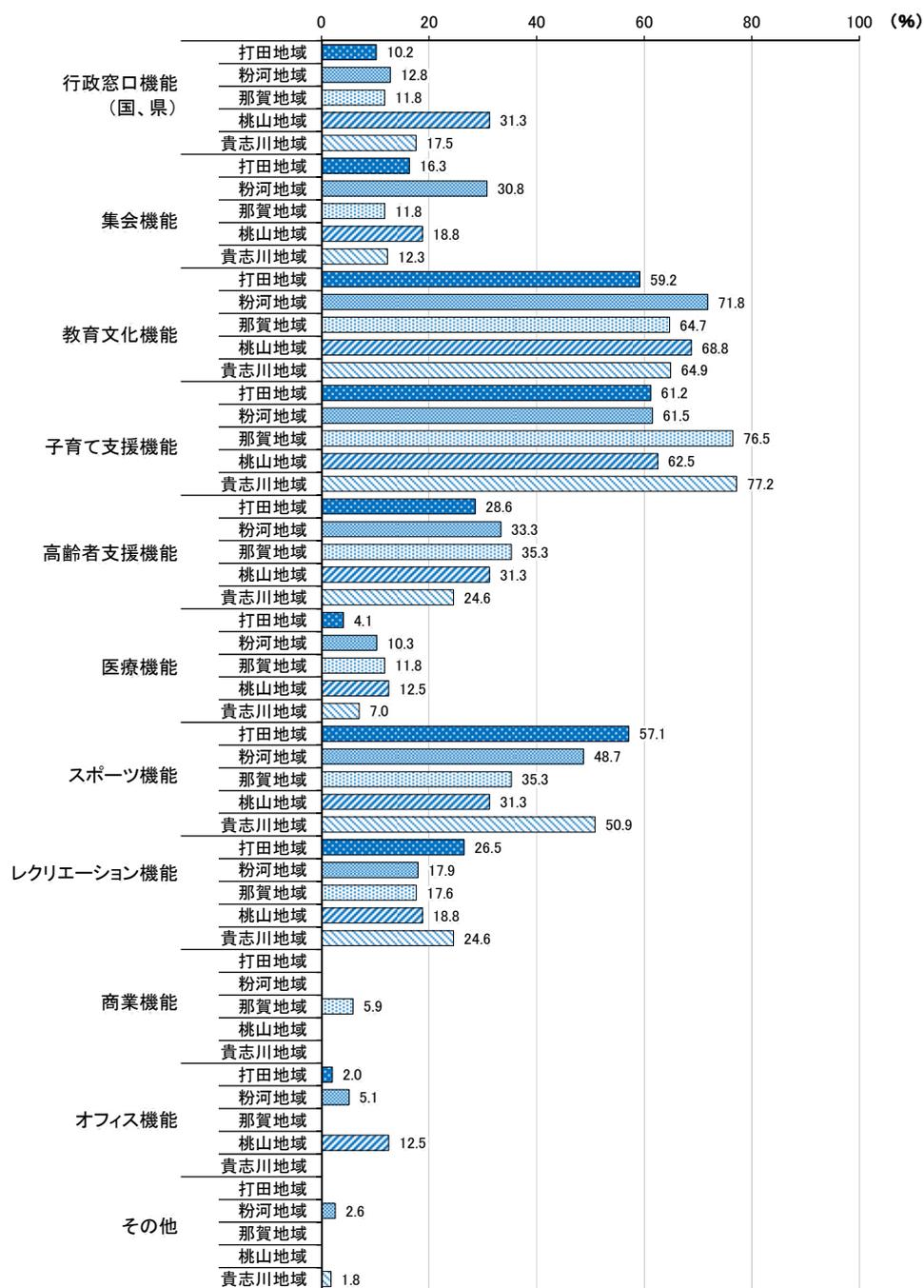


ウ 地域別

地域別でみると、全ての地域で「教育文化機能」と「子育て支援機能」が高く約6割以上を占めています。

また、「スポーツ機能」について、打田地域が57.1%、粉河地域が48.7%、貴志川地域が50.9%と高くなっているほか、「行政窓口機能（国、県）」が桃山地域で31.3%、「集会機能」が粉河地域で30.8%と高くなっています。

図表 3.42 地域別にみた学校との複合化が望ましい機能



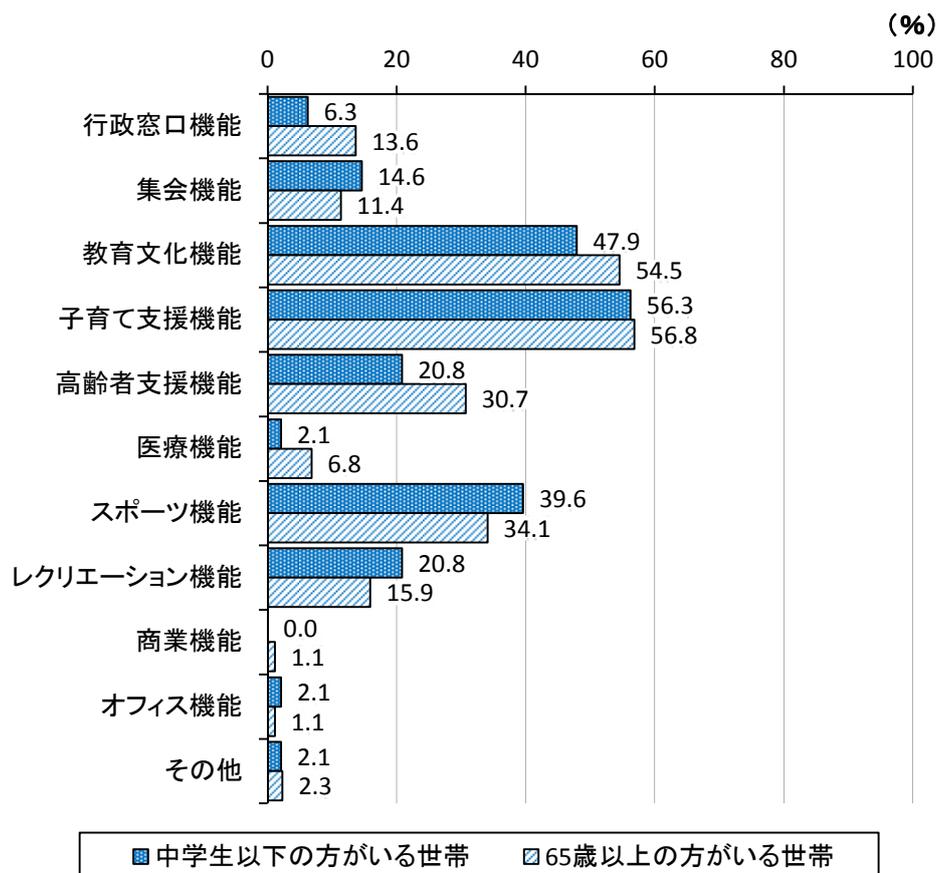
エ 家族構成別

家族構成別でみると、中学生以下の方がいる世帯、65歳以上の方がいる世帯ともに「子育て支援機能」が最も高く、56.3%、56.8%となっています。

次いで「教育文化機能」が高くなっていますが、中学生以下の方がいる世帯と65歳以上の方がいる世帯では、47.9%と54.5%と差が見られます。

また、「高齢者支援機能」は、中学生以下の方がいる世帯と65歳以上の方がいる世帯では、20.8%と30.7%と差が大きくなっています。

図表 3.43 家族構成別にみた学校との複合化が望ましい機能



(13) 情報共有のあり方

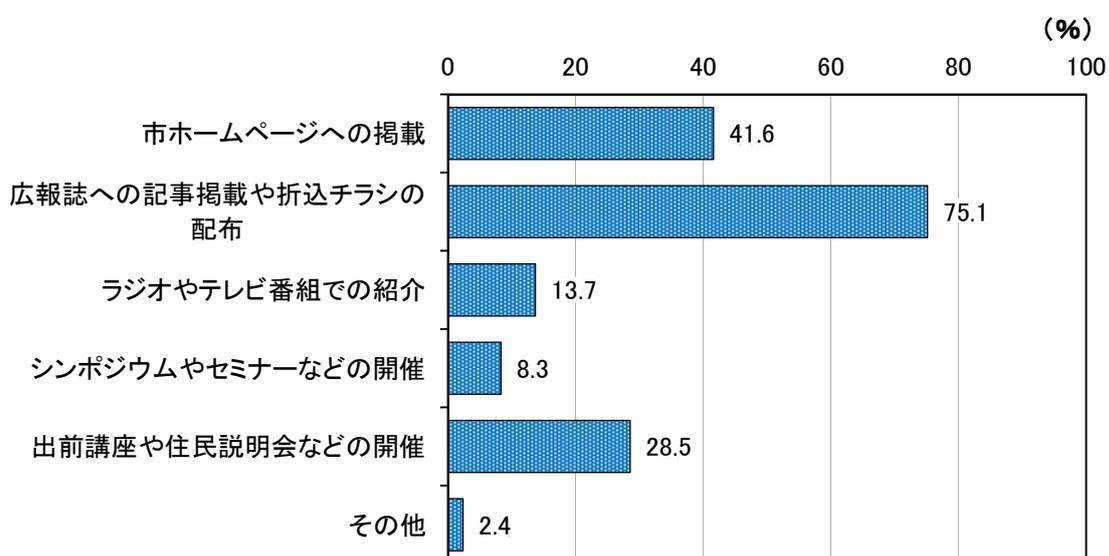
問：今後、本市の公共施設のあり方について検討を進めていくにあたり、市民の皆様との問題意識の共有が重要と考えています。

そのため、公共施設のあり方に関する情報や検討経過など情報提供のあり方について、どのような方法で行うのがよいとお考えですか。あなたの考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

ア 市全体

「市広報紙への掲載や折込チラシの配布」が75.1%と最も多く、次いで、「市ホームページの掲載」が41.6%、「出前講座や住民説明会の開催」が28.5%等となっています。

図表 3.44 情報共有のあり方

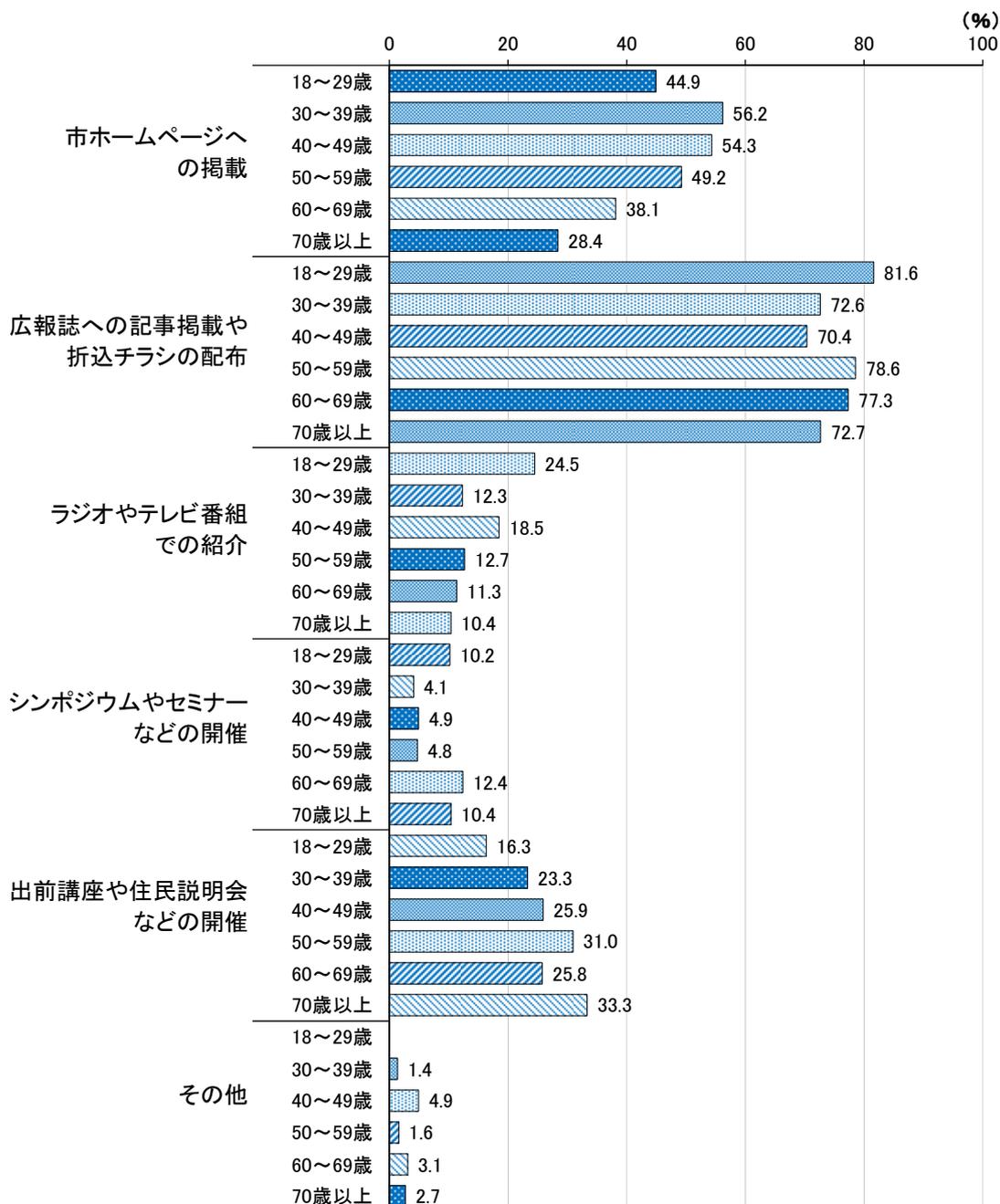


イ 年齢別

年齢別でみると、すべての世代で「広報紙への掲載や折込チラシの配布」が最も高く、30～49歳、70歳以上では70%程度、18～29歳、50～69歳では80%前後となっています。

また、「市ホームページへの掲載」は30～59歳では50%前後なのに対し、70歳以上では28%と差が大きくなっています。

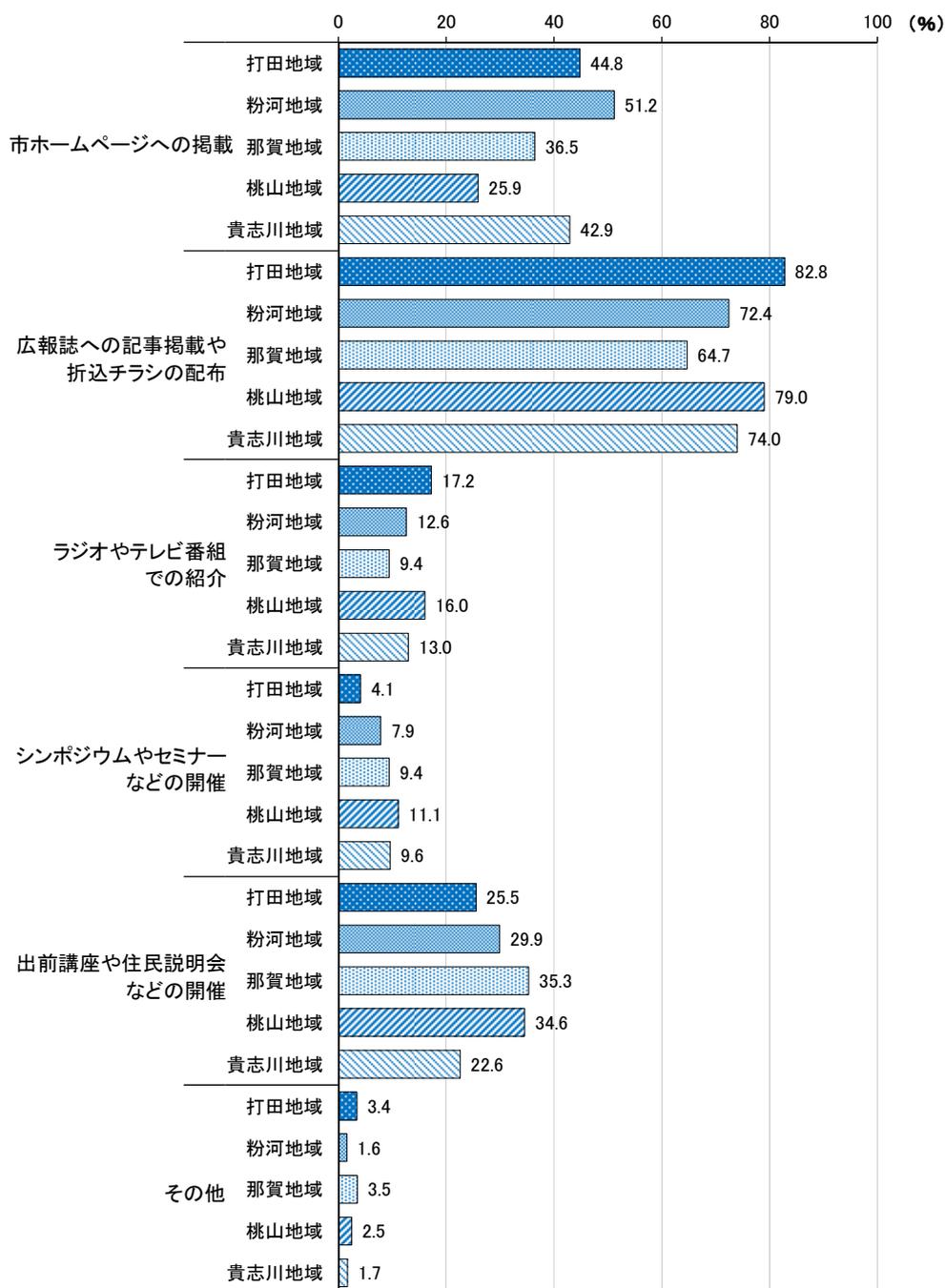
図表 3.45 年齢別にみた情報共有のあり方



ウ 地域別

地域別でみると、すべての地域で「市広報紙への掲載や折込チラシの配布」が最も高く、次いで桃山地域を除くと「市ホームページへの掲載」、桃山地域は「出前講座や住民説明会などの開催」となっています。

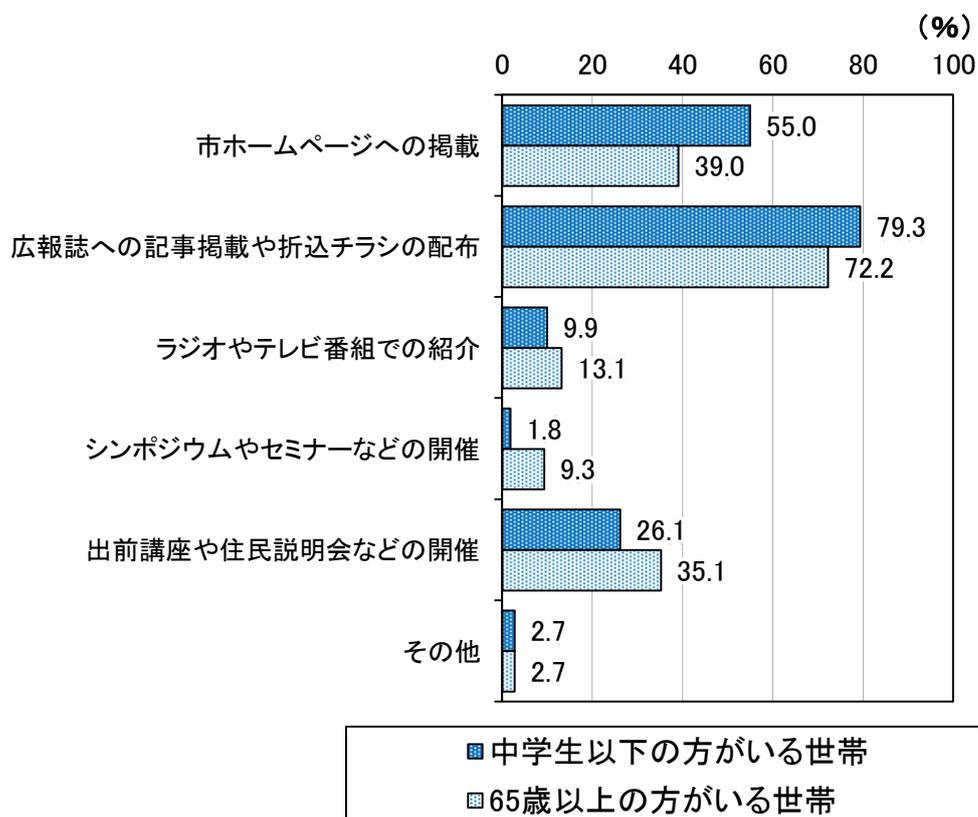
図表 3.46 地域別にみた情報共有のあり方



エ 家族構成別

家族構成別でみると、中学生以下の方がいる世帯、65歳以上の方がいる世帯ともに「市広報紙への掲載や折込チラシの配布」が最も高く、次いで「市ホームページへの掲載」となっています。

図表 3.47 家族構成別にみた情報共有のあり方

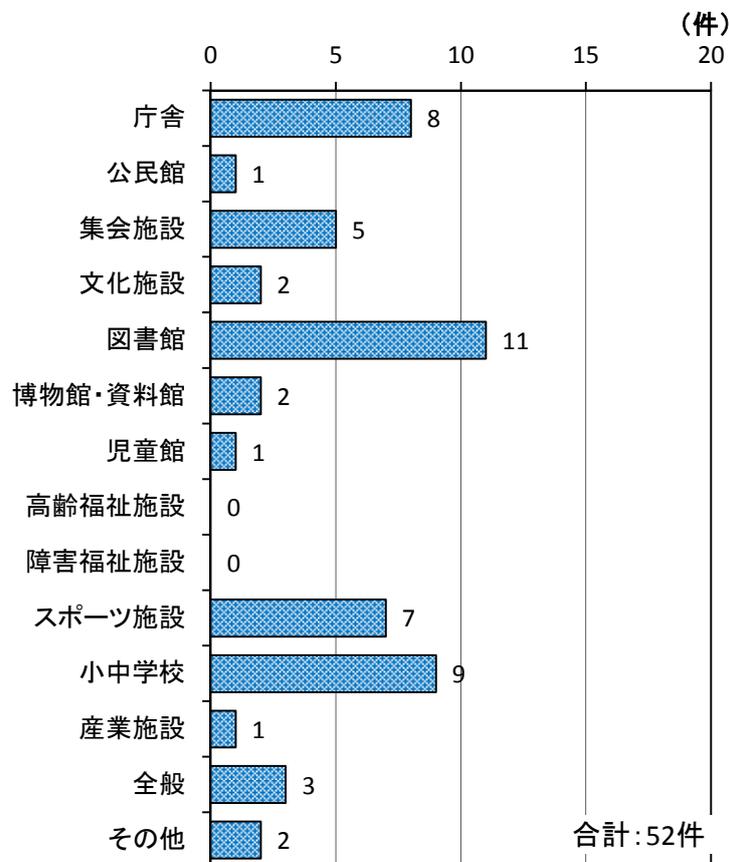


(14) 公共施設の活用のアイデア

問：身近な公共施設を活用して「こんな活動をしてみたい！」といったアイデアがあれば、具体的な施設名とその内容を記入してください。

公共施設の活用のアイデアについて自由記述方式で尋ねたところ、52件の回答（要望事項を含む）がありました。その内訳は、図表 3.48 のとおり「図書館」（11件）、「小中学校」（9件）、「庁舎」（8件）等についての意見であり、活用の対象とする公共施設の分類は様々ですが、活動内容としては、文化的な活動の場や、高齢者の憩いの場や多世代が交流できる場として活用したいといった意見が多くみられます。

図表 3.48 活用の対象とする公共施設の分類



図表 3.49 公共施設の活用アイデア

【庁舎】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
打田		市役所が新しくなり、お金をかなりかけているみたいですが、私はなかなか利用する機会がないので、具体的にはお答えできませんけれど、もっと色々なことをしたら良いのではないかと。
打田	各支所	そもそも各旧町に支所はいらないと思うが、各旧町に支所を設置する場合、現在の施設を閉鎖し、JA等の中に証明書等発行する簡易な支所を設置してはどうか。
打田	市役所内や集会所	土日、夜間にも会合や健康づくりの教室の場所として開放できないか。畳の部屋をフローリング等にして多目的に使えるようにしてはどうか。駐車場の確保。夜間は利用者委員会で管理、運営する様にしてはどうか。
粉河	鞆淵出張所	農作物販売所や宿泊施設、レクリエーション施設にしてはどうか。
那賀	那賀支所	閉館になった図書館を復活してほしい。現実的に打田までは遠すぎる。
那賀	各支所	宅地として利用すべき。人口増加、少子化問題が少しでも解決できるのではないかと。
桃山	旧桃山庁舎	JAが近くにあり利用しやすいので、この建物を土木関係だけでなく、1階は体の不自由な人も利用できるような施設と統合しても良いのではないかと。また、図書館が閉園するので、図書館に利用したらよいのではないかと。
貴志川	各支所	売却希望。

【公民館】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
粉河		旧公民館は階段になっており、入り口を改造してエレベーターにし、会場を使用しやすいようにしてほしい。

【集会施設】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
打田	各集会所	削減(統合)希望。
粉河	打田生涯学習センター	空き時間をホームページなどに掲示し、積極的に利用を促し、収益を上げる。
貴志川	コミュニティセンター	地元住民の使用は無料にすれば利用も多くなると思う。
貴志川	コミュニティセンター	年齢に関係なく地域の人たちをもっと利用し、楽しめる場所にしたい。存在する価値がないと思う。老人会、子育て支援、レクリエーションなど、家で一人での老人、子育てに悩んでいる若い人たちが話し合う場になれば、楽しみも出てくると思う。
-	各コミュニティセンター	活用できる曜日を決め、その日だけ利用する。

【文化施設】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
粉河	粉河ふるさとセンター	民間に管理運営を委託せず、売却して民間に運営させる。ムダの削減を多いにすべきである。
粉河	ふるさとセンター	映画の上映をしてはどうか。

【図書館】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
打田	打田図書館	大人も子供も面白い映画鑑賞ができるような企画はどうか。
打田	打田図書館	交通の便がよければもっと利用したい。
粉河	打田図書館	テスト期間中は、自習する生徒が多くなるので、使用していないセンターの他の部屋を自習室として開放してはどうか。
粉河	粉河図書館	長野の「まちとしよテラソ」の様に、人が集まる施設にしてほしい。
粉河	粉河図書館の再度開設	夏は利用する人が多いので、夏限定で開設するようにしてほしい。
那賀	図書館	学習机をもっと増やし、学べる場を作るべき。図書館に活気がある町は人も文化も集まって栄えている。自由に学習できる場をもっと増やすべきである。
那賀	打田図書館、閉館となった図書館	打田図書館は、図書スペースを減らし、自習室を増やす。閉館となった図書館は、全て自習室として、学生等に開放してほしい。
那賀	打田図書館	試験勉強が出来るように、机をもっと設置してほしい。
那賀	打田図書館	子供のおけいごとなどをもっと増やして、気軽に使用できる施設にしてほしい。
貴志川	図書館	本を借りに行きたくても、図書館まで行けない方はたくさんいると思うので、高齢の方々のためにも宅配サービスをするのはどうか。
-	図書館	現在、統合等の計画が進められているようで、大変良いと思う

【資料館、博物館等】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
那賀	青洲の里、公民館上名手分館	青洲の里の近くに公民館を建設し、地域文化ゾーンとして効率化を図る。
那賀	青洲の里	遊具のある広場が閑散としていて怖い時があるので、広場に管理事務所の設置と、トイレの改築をして欲しい。

【児童施設】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
那賀	名手児童館	地元の野菜などを安く販売できる場所として使ってほしい。

【スポーツ施設】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
打田	打田体育館	スポーツジム機能があれば利用しやすい。
打田	紀の川市民体育館(花野)	休日など、市民の体づくりの場として開放してほしい。
打田	桃源郷運動公園	中途半端な施設だと思うので、廃止するかより充実させるか、はっきりすべき。
粉河	スポーツ施設	その施設に管理人がいるなら、わざわざ庁舎に行かなくても、その場で利用申請ができるようなシステムにしてほしい。
那賀	スポーツ施設・公民館施設・会場他	ホームページで予約・空の状況を確認でき、予約確認・申請が出来るシステムが欲しい。
貴志川	体育館	震災時に対応できるよう、シャワー室の増築、エアコンの増設、炊き出し場所の増築をしてはどうか。
-	スポーツ施設	スポーツする場所はたくさんある方が、選択肢も広がるため減らす必要はないが、市が保有管理する必要はないと思う。

【小中学校】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
打田	学校、保育園、集会施設、公民館、福祉施設等	子供の放課後の見守り、教育(遊び)、食事が高齢者の生きがい。健康・食事と有意義につながる場所、方法を民間手段も利用して総合的に考えてみてはどうか。
打田	長田小の体育館と農村センター	この2つは統合できると思う。
打田	高野分校	地域の人々の交流憩いの場であり、活気のある地域として発展するための人口増、収入増につながる様な、有効活用を望む。
打田	学校の体育館	もっと開放して、自由に使用できるようにしてはどうか。
那賀	小学校	防災講習、救急講習を開催してはどうか。
粉河	旧粉河中学校跡地	子供たちが集まって遊べる大きい公園にしてほしい。休日しか利用しない、特定の人しか利用しない様な施設は要らない。
桃山	桃山小学校や中学校(現在休校)	土日に地元の農産物販売をしてはどうか。
桃山	学校	学生時代に戻りたいと思うことがある人も多いと思うので、定員を決め、同窓会のようなことをする。
桃山	小学校と学童保育・公共施設全般	小学校と学童保育は、学校の空き教室を利用してはどうか。公共施設全般についても、民間の資金を活用(PFIなど)はどうか。

【産業施設】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
打田	産業施設の全て	わけのわからない施設(一部の人のみ利用)は、廃止すべきである。廃止できない施設は民間委託せよ(施設よりも、職員の数を減らすべきである)。

【施設全般】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
那賀	全部	分かりやすく。
貴志川	災害時等に避難する公共施設	一度見ておけば避難しやすいので、適当なイベントを開催して、住民に避難場所を確認してもらおう。
貴志川	全ての施設において	民間へ割安にレンタルし商業誘致を行い、税収入につながる様活用してはどうか。

【その他】

回答者 居住地	具体の施設等の名称	内容
貴志川	Big・U	現在使用していない庁舎等を使用して、田辺市にある「Big・U」の様な、会議や休日の家族連れが弁当持参で遊べるような場所・食堂、カフェと言った施設がほしい。
粉河	紀の川お仕事支援	岩出の「紀の川お仕事支援」の様な、ハローワーク的なお仕事紹介施設が欲しい。

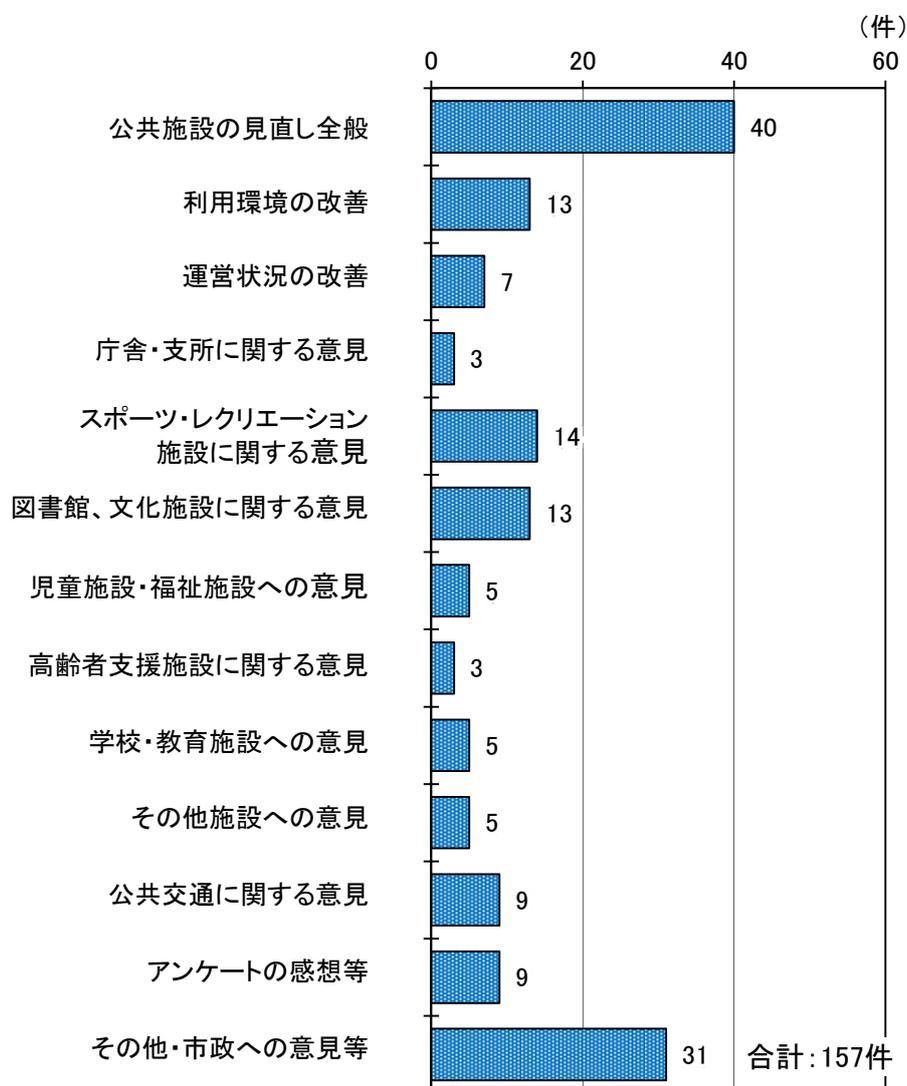
(15) 公共施設の現状や将来のあり方についての自由意見

問：本市の公共施設の現状や将来のあり方について、ご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

公共施設の現状や将来のあり方について自由記述方式で尋ねたところ、157件の回答がありました。その内訳は、公共施設の見直しに関する意見として、公共施設の見直し全般に関する内容（40件）が最も多く、次いで、スポーツ・レクリエーション施設に関する内容（14件）、利用環境の改善に関する内容（13件）、図書館、文化施設に関する内容（13件）等となっています。

また、公共施設以外に関すること以外として、市政への意見（31件）も多く見られました。

図表 3.50 公共施設の現状や将来のあり方についての意見



参考 1. 公共施設の現状や将来のあり方についての意見詳細

【公共施設の見直し全般】

回答者 居住地	内 容
打田	古いというだけで統合を進めると、今高齢化が進む中で、交通が不便であったり遠すぎたりとの理由で利用を控えたり、利用できなくなることも困ります。
打田	正直、市になっても各地域の人口増減関係なく公共施設は大切にしてほしいものです。職員の人数も変わっていない中、公共施設を減らすことは、その地域の繁栄なくますます過疎化になっていく気がする。旧町村の方が良かったです。職員が決めるのではなく、2000名のアンケートじゃなくて、地域で集合し、協議をして地域市民の声を優先してもらいたい。
打田	【問3】について、庁舎(支所)以外は利用する必要がない。
打田	年間を通して、利用の少ない施設を早急に民間に売却するか、見直しをする。なるべく市民に負担をかけない方法を、市で考えよ！施設もそうであるが、もっと市の職員削減をすること。
打田	公共施設の年間運用回数、参加人数、その名目等をまとめて、年に1回でも検討会(有意義に使われているか?)をチェックしてみても？また、本来の公共事業、学校、子供、老人支援、保健、図書等、今日あまり関係ないですが、密接に関わっている人たちもいるので、めりはりのある運営をお願いします。
打田	各支所を取りやめるから本庁舎を建設したのに、まだまだ二重行政で支所を残したり、無駄が多い上に粉河に立派な学校費用ですか？貴志川に施設が多すぎませんか？住民の税金を無駄遣いしないでいただきたい。箱物の建築物が多すぎる。あと、公共放送、何を言っているのか一部の所でしか聞こえません。もっと改善すべきです。
打田	利用頻度が低い施設の削減(統合)。維持費を減らす。
打田	例えば長田小学校の近くに農村センターがあり、体育館として利用できる施設があるにも関わらず、新たに体育館を整備したことについて、全く説明がなく意味不明である。これこそ無駄使いです。政治家の都合で、整備を行っているように見受けられます。また、国体に向けた打田の体育館も同様。まずは新たな整備をやめるべきでは。問6の7の回答について、旧町単位のこだわることなく、市全体を見渡して判断すべき。【問8】について、先の事を考えず施設整備したのか、と言いたい。【問10-1】の3の回答について、今あるものの使い方を考えるべき、その上で検討。1と2は、またお金がかかる。
打田	統廃合や複合化を実施するのであれば、市内無料バスを走らせてほしい。診療所は那賀病院を統合するべきと思う。他の地域と比較して不公平だと思う。駐車場を拡大してほしい。
打田	財政の運営合わせた統廃合かもしれないが、福祉や教育の向上を大事にした上で公共施設の整備をすすめてほしいです。
打田	職員を減らして元気で意欲的なボランティアに変える。貴志川に分不相応なコミセンが集中している。不便な所なので、皆が行きたがらない。維持費を考えると順次整理をして下さい。
打田	紀の川市は合併団体であるため、ほかの類似団体と比べて、公共施設の数が多すぎる。新庁舎、新体育館等建設したのであれば、その際にほかの施設について廃止も含め考えるべきでは？人口また市の財政力に見合った公共施設数にすべきであると考え。合併し10年を迎えるが、いまだ旧町ごとという考えがどこに残っている感じがします。スーパー等の毎日利用しているような施設であれば、自宅からの距離も重要であるが、それ以外の施設については現在の車社会を考えた場合、車で20~30分程度であれば何も問題なく移動等も行えると思います。今回の検討の際には、現状の紀の川市の「身の丈」に合った公共施設に変えてくれるよう望みます。大変だとは思いますが、頑張ってください。
粉河	施設の統廃合を行い減らす事。
粉河	公共施設の状況があまり知られていないのでは？利用状況や施設の老朽化等をもっと分かればいいのではないかな。
粉河	市町村合併後、多くの庁舎・公共施設が整備されましたが、合併特例債の期限が終了し、返済が迫られることで財政が逼迫し、今後厳しい財政運営を強いられる状況にあると考えるため、身の丈に合った整備や運営を進めてほしい。
粉河	旧町制の施設が多いので、すべて減らすべきです。交通の便が良い施設を残すべきだと思います。
粉河	積極的に統廃合と財産処分をして、健全な紀の川市にしてほしい。
粉河	あまり使用されていないものはこの先どうするか考えて、税金の無駄遣いにならない様を考えて下さい。数人しか使わないのにエアコンをかけていたり、この施設本当必要なの？と思うことも多々あります。
粉河	地域によりばらつきがあると思う。同じ紀の川市民なのに不公平だと思う。(たまに利用する施設は仕方ないかもしれないですが・・・利用頻度が高い施設等)市民の負担になる統廃合だけは止めて欲しい。
粉河	観光に結びつくような選択をしてほしい。その施設に市内外から人を呼べるかという視点で将来につなげていってほしい。
那賀	子供会館など使っている、知らない。いらなと思う。総合センターにも職員はいらな。
那賀	【問8】では2、3に○を付けようと思いましたが、公共施設は近隣住民が利用していくうえで近くの地域に必ず必要であるため、○は付けられませんでした。
那賀	施設の統廃合を徹底して、やっていくべきだと思います。各施設を運営していくための経費、それに携わる方の人件費は、年間相当な金額になっていると思います。市の財政に合わせて、近々にスリム化を図るべきだと思います。
那賀	老人ばかり増加する町内会で公共施設の管理などは、不可能に近いと思います。選挙の時だけとか、町内会総会の時だけとか、本当に役場の会議室でもできることなので、無くしてかまわないと思います。
那賀	人口が少ないといつて公共施設がなくなっていくと、ますますその土地の魅力がなくなっていく。市民が平等に行政の恩恵を受けられるよう願っています。
那賀	市民にとって集まりやすい利用しやすい事はありがたい事ではありますが、費用がかさむ事は良く理解出来ます。むずかしい事かと思いますが、ちょうど良い位の施設の数、又複合施設をそれぞれ旧町単位へ整備してはと思います。財政面で大変かと思いますが住民のコミュニケーションも段々うすれて来てるから。
那賀	このアンケートの質問内容を読むと、公共施設の統廃合ありきの内容に感じられます。そのことは良くわかるのですが、公共施設とはその地域の住人にとって必要なもので無くなると困るものなはず。それを統廃合する(できる)という事は旧5町時代に無駄な施設、そこを運営する不必要な人員を雇用していたととられかねないのでいねいな説明が必要になると思います。

回答者 居住地	内 容
桃山	桃山は交通の便が悪いので、なるべく残してほしいものがたくさんある。コミュニティバスを増やして、ほかの地域に行きやすいようにしてほしい。建て替えなどでムダな費用は抑えてほしいが、ある程度利便性も必要である。
桃山	合併した関係で人口で比べると、他市より公共施設が多いと思います。統廃合や複合化を積極的に推進し、施設の数減らし、アクセスはコミュニティバスなどを増便すれば良いと思います。
桃山	今ある施設をなくさず、現状維持が一番よいと思います。
桃山	最低限必要な施設以外なくても良いのではないかと。税金が上がるという事は一番困る。行き届いたサービスもあまり期待していない。根本的に国の制度から変えてほしい(老後の不安がなくなるのなら、税金が高くても文句はない)。
貴志川	統廃合・複合化を積極的に進める。
貴志川	住民の生活に直結する施設ばかりですが、統廃合の必要性も今後出てくるのは仕方ないことだと考えます。そうすると、文化的な施設などから統廃合になるのですね。(図書館がその具体例?)元々5つあった町を1つにしているのだから、無理が出てきているわけでは?合併のメリットってあったんでしょうか?役所が遠くなり、水道料金が高くなり...旧町には愛着があっても、打田が中心の今の市には未だなじめないですね。支所(窓口)は絶対に閉鎖しないでください。
貴志川	市にお金がないからと、何もかも一般市民の負担大(税金、介護保健等)になるのなら、全て閉鎖してしまえばよい。
貴志川	高齢のため遠くへは行けませんので、近くでこのまま維持してほしいと思います。
貴志川	地震、台風等の災害が増えている中、ある程度の難場所として機能は必要であると思います。医療費の抑制のため、市民に健康を考える為のセミナー開催など、体操を広めたり等も必要かも。
貴志川	「税金は血税!」①財源を確保したら、使わな損の様に使うのはやめてほしい。②まずは重複した施設の統廃合は必須(例コミュニティセンター)。③公務員の所得を、紀の川市の民間企業の平均所得と同レベルにすること。④行政機関をうるわず前に、民間(市民)をうるわせることを考えてください。
貴志川	高コスト物件はスクラップ。余っている物は低価格でも売却して赤字を埋める事。
貴志川	必要なものと必要でないものを見分けるには、時間とセンスが必要だと感じます。ただ必要だから建てたんだという意見はもちろんあると思う。その後の使い方が今後重要になるのでしょうか。言われなくてもそんなことは分かっているのでしょうか。市民に必要なものとは何なのか?他人事ではなく考えなければいけないのでしょうか。
-	どこへ行くにも車やバスなどの移動手段が必要な地域であるので、統合されることで極端に負担が増える様には感じられないが、子育て支援や学校など、地域住民と共に支えていくべき場所については、現状維持が良いのではないかと思う。高齢化が進む中、車の運転が出来なくなった等、高齢者の日中の過ごせる場所が徒歩範囲にあれば(介護サービス以外で)健康維持と楽しさにもつながると思います。

【利用環境の改善】

回答者 居住地	内 容
打田	市役所の行政窓口機能を土・日曜日にも業務してほしい。平日は仕事で来られない人のために、土・日も対応できるようにしてほしい。
打田	各施設がどのような人が(料金等も含めて)どのような時に利用できるのか、紀の川市になったので旧の他の町のことも知りたい。紀の川市の5地域について、集会所・小学校・保育所・産業施設・公営住宅など多い所と少ない所がありますが、紀の川市全体でのバランスも考えてみてはいかがでしょう。
打田	利用料を分かりやすく。
打田	各支所の文化祭も、学校の児童・生徒の作品に頼り切っている感がある。公共施設は夜間の利用もあるので、附近の進入路の照明など、整備してもらいたい。公共利用などで防犯もしっかりやってほしい。高齢化していくので、地域の集会所の維持管理は難しくなる。
打田	どこにどのような施設がありどんな方法で申込みすれば利用できる等の情報が知られていない。無駄になっている施設があると思われるが実際にはあまり知らない。地域住民であれば学校などはよく知っているのその方に災害の場合に充実できるものを近くに設置できるのがよいのでは?
打田	問11に関してどの方法で行うにしても、何をみれば情報を得られるのか、いつどこでセミナーや説明会が行われるのかを回覧板で周知してほしい。
粉河	利用できる時間の幅ですが、あまり制限されてしまうと行きづらいため、広げてほしい。
粉河	自家用車がないと利用できない施設が多いので、高齢になったらますます利用できなくなる。インターネットや郵送でも簡単に利用できるように、利便性を良くしてほしい。
那賀	施設を効率的かつ、有効に利用できるシステム等、市ホームページの利用増大利用各施設のネット申し込み、複合的管理や、ボランティアの利用各旧町の特色を生かした統合や複合化をしてほしい。
那賀	高齢者の人々も利用しやすい施設づくりが必要だと思います。
桃山	学童で桃館を利用しているのだが、クーラーがきかず部屋が暑い。夜も涼しくなっておらず、これから夏休みになり子供達が一日部屋で過ごすことが多くなるので心配です。熱中症になった場合、市は責任をとってくれるのですか?早急に対応をお願いします。
桃山	桃館の学童で使用している部屋があつい。夜にクーラーをつけていても、きいてる感じがしない。これから夏休みに入り、子供達が部屋で過ごすのが多いので、熱中症になってしまう。熱中症になった場合、市が責任をとってくれるのですか?早急に対応をお願いします。
貴志川	働いている20代~50代は仕事優先のため、施設を利用する機会が少ない。学生・65歳以上の方が利用できる施設を増やし、広報誌などで利用しやすいように分かりやすく伝えてほしい。

【運営状況の改善】

回答者 居住地	内 容
打田	公共施設は有効利用度を図る。利用でき易い内容の施設を望む
粉河	ふるさとセンターを利用していますが、どの文化教室セミナーがあっても同じ顔の人達のように思います。もっと広く人達に利用してもらえそうな広報のあり方を考えて下さい。玄関を入ると暗い感じを与えるのはどうしてなのか？
那賀	施設の存在をアピールすることが大切。皆に知ってもらうことが一番。その上で、人が集まり活気を持たせることが必要だと思えます。しかし、市が主体になって活気づけるのではなく、住人の自主性によって楽しんだり利用できるようにする事が重要です。その為に、手続きを分かりやすくして、住民が使える空間(図書館の学習部屋のようなもの)が必要ではないでしょうか。
那賀	公共施設の名称(施設一覧表)に住所を今日まで付記してほしい。「サービスを提供している」という意識が強く感じている様に思う。もっと受動態の mind を保持して対応を！
那賀	那賀海洋センター、アメニティセンター、那賀体育館周辺の道路、歩道、駐車場の雑草、ごみ等の清掃は誰がするのでしょうか？体育館の駐車場の周りや場内の溝の雑草は…。他県、他市から試合等に来られていますが、どう思われているか。市の職員さんや市議員さんをお願いしたこともありましたが、実行されていません。担当課があれば計画性をもって行って頂きたいと思えます。
貴志川	以前不在者投票に行った時、床にごみやほこりが散乱していた。座っている人も大勢いたのに掃除くらいされてもいのではないですか。携帯電話の電源は家の電源を使うように心がけて下さい。
貴志川	地域住民による地域住民のための公共施設の利用促進(地域のことは地域にまかせる)地域リーダーの育成

【庁舎・支所に関する意見】

回答者 居住地	内 容
打田	市役所本庁で業務全般を行っている今、支所の必要はどうか、各支所の利用状況はどうかと思っています。住民の為に必要なものということになったとしても、現状の土地建物のままではなく、規模を縮小していく方法もあるのでは。また、社会教育施設内の職員を置いている施設については、職員配置の必要はないのではないかと思います。
那賀	打田本所に全てを終結すると不便なので、出来るだけ各支所で今まで通り色々な手続きができるように。各支所や学校(耐震化されている)で少ない人口に手厚く対応できるように複合化をどんどん進めていってください。市民の大切な税金を、できるだけ使わなくて済むよう合理化して考えていってください。
貴志川	これからますます高齢化が進みますが、市役所支所は継続されるように願います。

【スポーツ・レクリエーション施設に関する意見】

回答者 居住地	内 容
打田	新しくできた体育館を見学し、スポーツ大会を観させて頂きました。きれいで心地よい席ですが、そのきれいさを保つよう、管理を任された方々の努力を望みます。いつまでもトイレがきれいであったり、床にシミが残らないよう飲食を控える等、考えてください。
打田	スポーツ公園にしても、定期的に草引き・整備・トイレなど汚れていくばかりで、前はよく利用していたが、桜はいら虫が。孫が刺されました。打田駅も無人化になり、トイレは使用したくないほどです。国体もあり、人の利用が多くなるのに市民として恥ずかしいです。
打田	高齢化に伴い現役時には利用していない公共施設も今後はスポーツ施設(ジムなど)保健施設など、低価格(無料か?)で利用する人達が増えるのではないかと思います。民間のスポーツジムなどは高額なのに比べると、公共施設は利用価値が高いと思います。このような施設は住民の健康維持のためにも残してほしい
打田	紀の川を軸に、北に1、南に1 例えば南にかがやきホール、川の北はホール田園でふるさとセンター廃止。貴志川のスポーツ公園を廃止、トレーニングプラザを打田スポーツ公園へ、等南北のバランスを各施設でバランスを図るべきではないか。
打田	スポーツジムが打田にも欲しい。これから子供を育てていくにあたり、子育て広場のようなコミュニティが充実するとうれしい。貴志川支所のように使っていない建物を作りかえるのもいいが、個人が勉強会(フラワーアレンジメントや琴などの習い事、パソコンや絵はがきなどの趣味)で使うための部屋の貸し出しに比べて収益をあげられるといいと思う。(今ある建物の活用)→企業への部屋の貸し出し(賃貸で収益)。よりよい紀の川市になるよう、願っています。よろしく願います。
打田	旧町時代の名残の施設が大小含めると色々たくさんあるように思いますが、施設により利用率が低い所もあり、建替えの必要のある場合は廃止もやむを得ないが、住民の意見をしっかりと受け止める必要があると思います。名称も統一する(教育集会所、児童館、等バラバラ)。生涯学習、生涯健康づくりの観点からすると、住民の手近な場所に高層(5階建)駐車スペースの十分ある施設が今後望まれる。紀の川市体育館を単なる体育館でなく、市民の健康づくりに役立つ場所にすべきです。競技場では市民の健康づくりに役立つトレーニングルーム、トレーナーなどの検討を。
粉河	自然の豊かさを前面に出し、キャンプ場等の施設の充実を図る(観光客等の集客に力を入れるべき)。スポーツ施設を周知し、利用回転率を上げる。
粉河	旧粉河中学校跡地に龍門山温泉の施設を造って、街中で活性化させてほしい。
粉河	公園の管理をもっとすれば、利用したいと思う人が増えると思う。
粉河	那賀・粉河・打田地区に新しい公園が欲しいです。高野口にあるきのご公園の様に、駐車場が併設された子供連れで行きやすい公園を希望します。粉河ふるさとセンターの一角に古い公園がありますが、子供たちが遊ぶ遊具がありません。おトイレも遠く、近くに日陰になる場所もないので使いにくいです。

回答者 居住地	内 容
那賀	本庁舎の東側駐車場にスポーツ施設を建設してほしい。仕事で本庁舎に毎日行くので、利用しやすい。本庁舎の入り口周辺も駐車場にしてください。まれに車がいついだった時に、東の駐車場へ停めに行くのが面倒です。本庁舎の中にコンビニを誘致してください。
貴志川	近年、パークゴルフをする人が増えてきて、主に野上のパークゴルフ場を利用させてもらっていますが、打田にあるコースは狭くてあまり楽しくないです。【問 3-9】スポーツ施設について、利用している一部の人たちのおしゃべりが多く、少しは気を付けてほしい。
貴志川	貴志川町内に温泉施設が欲しい。
貴志川	紀の川の警察署というものがあるのでしょうか。目につかないのですが、消防署が新しく出来てますがもし岩出と共同でしたらぜひ作ってほしいと思いますが。

【図書館、文化施設に関する意見】

回答者 居住地	内 容
打田	集会所や公民館等であまり利用されていない所がある。子育て支援や高齢者支援にもっと使われてもいいのではないかな。(未就学児と高齢者が共に過ごせるような)。図書館が閉館になるのは反対。白紙に戻してほしい。図書館は子供たちがせめて自転車で行ける範囲にあるべきだ。皆困っています。
粉河	粉河図書館閉館で不便。
粉河	図書館数を減らしたことについて、非常に愚かだと思います。教育の場として、市民の未来を作る、学ぶ場をなくしたことと同じです。未来への投資のために、数を元に戻して人が集まる仕組み作りからやり直すべきだ！収益がないからやめるのですかね。日本中、世界中で維持できている。地域の図書館を勉強してやるべきことをやってから減らさない！
粉河	改装してまでも残す貴志川図書館の必要性がわかりません。打田図書館を改装して紀の川市内に1つあればよいのではありませんか閉館した分打田図書館の学習する席が足りません。空いている教室を自習室に使用できるようにするなり考えて頂かないと今のままでは狭いです。
那賀	那賀図書館がしまったのはとても残念であります。小～高校生がよく利用していたので。再度検討してほしい。
那賀	旧那賀町に住所がある者ですが、図書館の統合により、大変不便になりました。子供たちの学力は、小さい頃の読書量と比例するように言われるようになって久しく、和歌山の子供たちの学力の低さも定着しつつある今、近くの図書館を無くしてしまうという行政に憤りを感じるとともに、子供たちの学力のさらなる低下につながるのではと心配でなりません。近くにあるからちょっと行こうと足を運び、色々な本に出会い、世界を広げていけるのです。効率ばかり考える行政に失望しています。移動図書館や、公民館への移設など、何かないのでしょうか。
那賀	粉河、那賀、桃山の図書館が次々の閉館していますが、学校に図書館がある学生はともかく、年配の利用者には交通が不便なのに近くに図書館がなくなり、とても不便です。高齢化が進んでいる中でさらに楽しみや家から出る機会がなくなり、その代わりに施設やサービスなどがあると思います
那賀	元那賀町の住民です。図書館を閉館したのが残念です。学校を終えた子供達が、自習をしに来ておりました。夏休みには大勢の子供が勉強しに来てましたのに、行く場所が無くなってしまいました。何とか、子供達が学習する場所を作って頂けたらと思います。
那賀	問 10-3 について、当事者の考えはどのようなのですか？問 11 について、公共施設の廃止、統合する場合、その地域の人々に声をかけて下さい。意見を聞いて下さい。図書館の廃止について、那賀、粉河がなくなり、貴志川を新しくするというのは納得いきません。新しくするお金があるならば、残すべきです。図書館は地域の文化の発信場所です。高齢化社会において、新しく立派なものを造るのではなく、各地域にある図書館の維持にお金を使うべきです。
桃山	図書館が減ってしましますが、すごくマイナスのイメージです。私がいつも利用させて頂いていた桃山図書館は、近くに保育園や小学校があるため、子供たちの元気な声が聴けてほほえましかったです。貴志川と打田になってしまったら、交通手段のない人が利用できなくなります。不要な建物が結構あるのに、必要とされるものがなくなるのは納得できません！
桃山	アンケートの内容が難しく、回答しにくかった(知識がない為)。公共施設を複合化しても、移住地より遠かったりすると利用しにくい。桃山の図書館も8月で終わるが、今後打田、貴志川へと行くことになるが、遠くなるとうまます利用しなくなると思われる(車を運転しない方は特にそう思う)。
貴志川	文化施設は小さくないで下さい
貴志川	図書館の閉館は利用がないからか？

【児童施設・福祉施設への意見】

回答者 居住地	内 容
打田	子育て支援というか、もっと赤ちゃん広場的なものを増やしてもらいたいです。広場月1回、絵本読み聞かせ1回だと少なく、お母さん同士の交流も少ないし、子供もあまり遊ぶ場が少ないので。紀の川市としては、“なて”や貴志川、桃山など園の開放しているが、打田に住んでいると全て中途半端に遠くて、地区的にも行っても意味ないので行きづらい。
打田	公共施設を使って行ったことが結果、社会にどう影響しているのか。全く伝わってこない。保育園などの民営化は、将来の和歌山にどう影響するのか？(学力、体力共に他県に劣っている現状)。とても不安である。
那賀	保育園の民営化に反対です。民営ですと、利益優先となり、保育が望ましい保育でなくなると思います。次の時代を背負っていく子供たちを育てていくためには、公営の保育園の方が良いと思います。
貴志川	将来を考えて、少子化対策に関する施設の充実に、特に力を入れて頂きたい。
貴志川	住んでる地域の保育園に入れるようにしてほしい。離れている所だと送り迎えが大変！！

【高齢者支援施設に関する意見】

回答者 居住地	内 容
桃山	施設のあり方は高齢者が利用しやすいように、また子供たちの(幼い子供の保護者と共に)利用しやすいように考えてほしい。利害で決して考える事のないようにして、新しい箱物を建てる前にしっかり検討してほしい。保育所など悪い例で、桃山の子供が民間委託になってから保育内容が低下しているようで、立派な設備がありながら子供たちに還元されないようでは意味がないです。
貴志川	高齢者の方の施設利用について、移動の手段(送迎等)に力を入れてほしい。
貴志川	もっとお年寄りが楽しめる場を作ってあげてほしい。車の送迎などもして、格安で何でもできる場、生きがいを見つける様な場を作るべき。幼い子も交えないといがみ合い等が出ると思うし。紀の川市で、どこも真似のできない場を検討して下さい。

【学校・教育施設への意見】

回答者 居住地	内 容
那賀	小学校も生徒数が少ない校区は統廃合すべきです。しいたけ栽培施設は何か意味がある施設ですか？福祉施設も保健センターと統廃合すべきです。
那賀	人数の少ない小学校は廃校にし、教職員も人数の多い学校に移動して、生徒の質の向上に力を入れてほしいと思います。老朽化している施設は、維持費用も掛かるので複合し、施設数を減らすべきだと思います。
貴志川	とにかく西貴志小学校が古い。建て替えて下さい。給食センターを作る前に、なぜ小学校舎の建て替えをしなかったのか。優先順位がおかしい。クーラー設置するなら校舎を建て替えて下さい。地震で崩れる。
貴志川	竜門小が新築されたが、児童が減少している中で本当に将来を見てのことか。「もったいない」と思う。旧6町の”我”が強くて、紀の川市全体を考えていないように思うところがあると思います。
貴志川	各施設の老朽化でどうしても建替えが必要な施設に限り、またその施設が複合化が可能なら、これを進めていくべきだと思います。また、学校と複合化に適しているのではないかとと思うのが、子育て支援機能、教育支援文化機能であり、さらにそこに高齢者支援機能を加えることで、地域全体で子育てができ、また高齢者を労わる社会づくりが自然とでき、街全体が人に優しい住みやすい地域につながるのではないかと考えます。

【その他施設への意見】

回答者 居住地	内 容
打田	産業施設について。昭和の時代に建設されたものが多いと思います。農業、林業等、時代と共に高齢化が進み、施設の利用頻度、利用スタイルも変わってきていると思います。農協にも同じような活動があると思います。一度、原点に戻って考えてはどうですか。
打田	医療施設の整備を要望致します。紀の川市東大井に休日診療所がありますが、夜間は診療を行っておらず緊急の場合は和歌山市内の病院へ行く事を余儀なくされます。紀の川市内に夜間、休日に医師の常駐する医療施設の整備を要望いたします。
粉河	紀の川市は果物などで有名なので、もっと農業に対して支援するべきだ。もっと子供と高齢者と、大人との協力で地域をよくしていけるために親睦を深める機会を作っていくべきだと思う。華岡青州さんのことをもっと全国にPRして、全国または外国からも観光客が来るようにするべきだと思う。
貴志川	どこの自治体でも住民にとっていらぬもの、税金の無駄遣いの物はあります。これからは役所仕事の前例踏襲を排除し、危機管理という観点で、ほとんど利用価値のない公共施設への財政を減らし、震災時に多くの住民が利用できる施設を作るべきです。要は、万一の時に災害対応できる様変わり可能な構造等、特にトイレの不足に対応するなど、工夫を凝らしてください。
貴志川	田辺市の Big・U のような場所が欲しいです。パソコン等も初級ばかりでなく、専門的なものを学べる場所が欲しいです。

【公共交通に関する意見】

回答者 居住地	内 容
打田	交通の便について。年をとるとバスが少ないので、行くときはいつもタクシーで行くことになるので、その点を考えてほしい。
粉河	人口の分布状況や交通の利便性の観点から、残存すべき公共施設を考え、市民の費用負担も軽減する方向での行政を希望します。
粉河	子供を安心して育てられる環境・福祉・子育て支援を希望します。子供たちが学校から帰宅して、友達と交流できる大きな遊具などがある公園・施設を作って頂きたい。子供たちは市の宝物なのでから！ほとんどの人が利用しない施設等の存続は必要ないと考えます。コミュニティバスの運行時間の見直し、通勤・通学に利用できる、また、JRと接続できるダイヤ等。
粉河	本庁へのアクセス(道路が狭い)。
粉河	行きたい気持ちはあるがアクセスがないので出かけにくい人が多いのではないかと思います
桃山	交通機関(バス)巡回頻度の増便を！
貴志川	紀の川市は大きい割に公共交通機関が使いにくい。施設数を減らしても便数を増やす等の方法が必要になるかもしれないので、あまり経費の削減にならないかもしれないが、維持費等で削減できた分であらうなら必要かもしれない。難しい問題ですね。
貴志川	高齢化が進む中、広域に点在する施設への利用が難しくなりつつあります。出前講座等、地元での開催を望みます。

回答者 居住地	内 容
貴志川	施設の統廃合は積極的に行いその分を市民の移動の手段を考える。巡回バスの無料化等、ここでは関係がないかと思いますが今でも免許保持者の高齢化が進んでいますがこれからはしばらくは更に進むように思いますので高齢者の交通事故が全国でもかなり増えている様ですので少しでも早く免許の返納を考える様一つの提案としてほしい。

【アンケートの感想等】

回答者 居住地	内 容
打田	人口減少、少子高齢化及び施設の老朽化は紀の川市の問題だけではなく、日本全国の問題である。他の市町村の取り組みを参考にして今後の施策を考えたら良いと思う。市民にアンケートを取ることは良い事だと思う。ただし、「公共施設」と一言でまとめてしまうのは少し乱暴に感じる。例えば、「学校教育施設」や「スポーツ施設」など、狭い範囲で深くアンケートすることで、具体的なアイデアが生まれやすいのではと思う。
粉河	このアンケート用紙が来て、改めて公共施設の多さに驚きました。普段あまり利用していない施設がたくさんありました。やはり少し統廃合する必要に迫られているように思います。それに、サービスの質の向上にも力を入れて頂きたいと思います。人件費なども財政の圧迫にもなっており、公共施設と共に人件費の削減及び減給なども検討の対象になるのではと考えます。若い人の未来のために。
粉河	施設利用中でアンケートの内容を理解できません(代筆、施設職員)。
那賀	安全性は分かりますが、休日学校の門は閉まっています。万が一の際、避難場所のルート、入門、地域に密着していない。※アンケートを取った人への粗品。アンケートを取って何か変わります？お役所仕事ですね。
貴志川	私自身、公共施設を利用する機会がございません。よって、今回のアンケートには回答させて頂けておりません。市民の税金を有効に利用して頂くことを希望いたします。
貴志川	ネットやチラシといった工法の力不足が現状だと考える。このような2000人対象のアンケートだけではなく、ネット上でのアンケートなど、若者たちも気軽に意見を投票できるような工夫をし、もっと多くの市民の意見を取り入れ、慎重に市民のニーズに応じるべきである。維持管理費用の高い施設から積極的に廃合や、複合化していくとよいと思う。
貴志川	本アンケートに十分な人員も確保できていないと思いますが悪しからず宜しく御願いたします。6町が1市に合併した公共に対しての私的なアンケートは勇気が必要です悪しからずお許し下さい。
-	このようなアンケートに税金を使わない様にしてください。税金の無駄使い。
-	アンケートで市民の声を聞くことは大事であるが、選択肢の中に整理・廃止しかない事に、政策の貧困さを感じる。市民の高齢化、全てが便利良い所に住んでいるわけではない。合理化ばかり追求するのではなく、もっと市民サービスを向上させる方向での検討を望む。狭い選択肢、誘導尋問には答える気がしない。

【その他・市政への要望等】

回答者 居住地	内 容
打田	建て売り住宅が増え、地元の人たち、近所の人たちともなかなか交流が少ない為、難しい時代だと思えます。子育ても終わり、参加する場所も遠くになってきます。地域の活性化もして、皆が元気に暮らしていけることを願っています。
打田	少子高齢化・財政状況などをマイナス思考でとらえるのではなく、これをチャンスとして他県・他市町・世界の成功前例を研究するなど出てきたアイデアをよく練って、私たちの地域に合った素敵な試みを実践してもらいたい。公共に限らず、民間事業にも提案できるようなソフトで人間味ある考えと、広い対応で取り組んで下さい。
打田	公共施設の統廃合うんぬんより、各施設の職員数を半減せよ。(確実に赤字団体になるであろう)。本庁以外の職員はほとんど遊んでいる。(証拠あり)。施設の維持費より、ぐうたら職員数を半減すれば施設の統廃合等の議論は少なくなる。町村合併により生じた余剰人員をなぜ半減できないのか？公務員法？それはまじめに働いている者への恩恵である。
打田	蛇が増えているようです。家の中に入ってくると困っています。ハビがいると言っています。市の方から、何か対策をして頂けませんか。いなくなる方法とかありましたら、広報に載せて下さい。
粉河	紀の川市には箱物が多くあり、ムダな管理が多い。経費(人件費、運営費)を削減すべきだと思います。
粉河	高齢化が進んでいる状況です。介護サービスに費やす施策も必要とは思いますが、分相応の使い道もあるかと思えます。他市に比べ、審査基準が甘いのでは？と感じます。ちなみに私は介護の現場で働いています。
粉河	公務員の数が多すぎる。
粉河	税金が高いので、何とかせよ。市を出て行かれる人が増えています。
粉河	町から市に代わってから、市民生活でのきめ細かいサービスがおおざっぱになっているような気がします。色々な場面で利便性も悪くなってきている。お金(税金)の使い方も雑になっているのではないかと？例えば新しい市役所なども、もっと小規模なものにしても良かったのではないかと？市民の生活を中心に様々な施策を進めていただけたらと思います。
粉河	このようなアンケートを取る前に、中学校の移転などを考えるべきではなかったでしょうか。粉河支所なども建替えると聞いていますが、高齢者でも行ける様な所をお考えに入れて下さい。
粉河	広報誌はもっと簡単に。金のかけすぎ。
粉河	まずはふるさと納税の返礼品を設け、全国に紀の川市の魅力を発信し、原資の確保に注力すべきだと思います。めつけもん広場の成功例からも、魅力のある農産品は桃や柿をはじめ、たくさんあると思います。全国各地に紀の川市のファンを作り、興味を持ってもらい、来てもらって、良い循環が生まれることを期待します。
粉河	現状維持できるよう、市の職員採用の年齢上限を引き上げていいのでは？経験者枠を作って、新しいアイデアを得る。また、即戦力となるので経費削減できるのでは？ロスジェネレーションには、かなり有能な人材が余っていると思うので。
那賀	定年になると外へ出ようと思う。例えば、北九州など。まだ決めていないが、住みよい所へ行く！
那賀	庁舎に行くと職員の人たちがたくさんいますが、その中でべらべら話して遊んでいる人を見かけたりします。人員を見直すのも良いのでは？

回答者 居住地	内 容
桃山	農業振興地域であっても、国道周辺であれば企業(会社)等が寄ってきますので、市役所が早く許可してくれますように。申請しても遅れるばかりです。
桃山	厳しい現状が続く中、官公庁、役所だけがのんびりしていないか？もっとしっかりせい。
桃山	本市には、山間部が多数あります。公平なサービスができますよう。
貴志川	私はまだまだ知らない施設がたくさんあり、行きたいと思いました。現在、紀の川市も少子高齢化が進んでいます。ですがそんな時だからこそ公共施設のサービスを充実させることにより、全国から人が来てくださり人口が増え、財政も豊かになる1つのきっかけになると思います。私たち若者は、まだまだ知らない施設ばかりですので、できれば集会を開いて頂いて、説明や意見交換をしたと思います。一緒に紀の川市の公共施設の将来について考えていきたいです。よろしくお願いします。
貴志川	前ページにも書かせてもらいましたが、公共施設の老朽のことや他色々の進み具合も、若者が先頭に立ち進めるためにも、役の付いた職員を切る。若い世代の職員を育てていくことで、今までと違う市づくり、市のこと全てが前進していくと思います。今こそ古い考え、頭の固い人より、若い者が市を支えていくべきです。前年度同様は捨て、新しい考えをスタートすべきです。スタートさせることで、今までにない考えが出てくる。輝く未来が見えてくるという事です。私の意見はこのように書かせていただきましたが、ほかの人の意見がどのようなものだったか、後日お知らせください。よろしくお願いします。
貴志川	働く場所の確保。大学を出ても戻ってこれない状況です。このままでは紀の川市の存続も将来的に難しいと思います。もっと若者を大事にしてほしい。
貴志川	市町村合併により、市民に何の利益もない。豪華な市長室や議会、環境の良い職員の職場を大金で作っただけ。市長は、特例債で金は要らないというが、借金が減っただけ。もっと議員と職員を減らす事。また、違法な職員互助会の支出をやめる事。まず、足元を見ろ。
貴志川	ムダをなくす。常に改善に取り組む。
貴志川	主人が亡くなって、年金をくれない事。生活保護をもらっているが、少ないのでとても苦勞しています。家賃を払ったら残りが少ない為、食べる事が大変です。家賃を安くしてほしいです。
貴志川	今までやってきた、前例がないなど過去を捨てよ！課が違う、部署が違う、担当が違う、これが一番の原因、なくせ！縦割り行政、横の繋がり、民間の知恵、県や国に頼らず紀の川市独自を出せ！※貴志川町神戸、中貴志コミュニティセンター、保健センター、支所、商工会議所があるのに、今図書館を造っている。駐車場もないのに何で？こういうところから見直したらどうですか？負の遺産を作るな！我々の税金です。
貴志川	子供が安心して暮らせる町づくりの協力は致します。使用している土地などで、野菜作りなどのイベント。
貴志川	税金は有効に使って頂きたいです。広報等、配らなくなって便利だなど思う反面、それを配る人件費等余っているのではないですか？そういう細かいところをもっと突き詰めて考えて頂きたいです。
貴志川	特にありません。頑張ってください。頑張ってくれていると思います、これから。
貴志川	職場が紀の川市以外で、市内の事はほとんど関わらず知らないのが実情です。2025年、2040年問題に優先した方が良いのでは。市内の産業の活性。若者の流出を防止する。
貴志川	ちょっと無駄な建物多い。給食も(小学校)センターになり、おいしくなくなり、残してしまう、なのに値上がり。子供も今日の給食まずかったと言う話が多きかれます。住民のために考えているのか？箱物たてるのに市長がお得な事がある様に思えます。市役所もむだ！！保育所も予算削られ、何でも予算ないのでカットされます。運動会も、たいこの修理できずに鼓笛もカット、市民税、保育料、きちんと払っています。公共施設はいらないものはカット土地を売ってむだ使いをやめて！！子供のための楽しみを取らないで。
-	公共施設も必要だが、税金使用を減らす事。住民の生活に対しての協力が第一である。

参考2. 紀の川市「公共施設」に関する市民アンケート調査票

紀の川市「公共施設」に関する市民アンケート みなさんのご意見をお聞かせください！

市民の皆様には、日頃から市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

本市では、これまで人口増加や多様化する市民ニーズに対応するため、特に昭和40年代後半から50年代にかけて多くの公共施設を整備してきました。

しかし、公共施設の老朽化が進み、大規模な改修や建替えが必要となるなか、人口減少、少子高齢化の進行による人口構成の変化や厳しい財政状況により、全ての施設を建替えすることは困難であり、今後の公共施設の適正な管理運営に向けたあり方の検討に取り組む必要があると考えております。

そこで、本市の保有する公共施設について市民の皆様のご利用状況や、これからの公共施設のあり方についての考え等を把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年7月 紀の川市

◆ 記入にあたってのお願い

- ・このアンケートは、あて名のご本人様がお答えください。ご本人様の記入が難しい場合は、ご家族様や介助者様の代筆で回答をお願いします。

◆ アンケートの回収について

- ・勝手ながら集計の都合上、回答後のアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、**7月31日（金）までにポストに投かん**してください。切手は不要です。
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前を記入する必要はありません。

◆ 調査対象

- ・無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に実施しています。

◆ 問い合わせ先

紀の川市 企画調整課 担当：瀧本、西端

電話：0736-77-2511（代表）（内線3506）

※次のページから質問です。

紀の川市「公共施設」に関する市民アンケート

1. あなたご自身についてお尋ねします

問1 次の各項目について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

(ア) 性別	1 男性	2 女性	
(イ) 年齢	1 18～19歳	2 20～29歳	
	3 30～39歳	4 40～49歳	
	5 50～59歳	6 60～64歳	
	7 65～69歳	8 70歳以上	
	(ウ) 家族構成		1 ひとり世帯
		3 二世帯世帯(親と子)	4 三世帯世帯(親と子と孫)
		5 その他()	
a.中学生以下の方の有無	1 いる	2 いない	
b.65歳以上の方の有無	1 いる	2 いない	
(エ) お住まいの地域	1 打田地域	2 粉河地域	
	3 那賀地域	4 桃山地域	
	5 貴志川地域		
(オ) 居住年数	1 5年未満	2 5年以上10年未満	
	3 10年以上20年未満		
	4 20年以上		

問2 日常生活を支える移動手段について、徒歩以外で主なものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

1 自家用車(自分が運転)	2 自家用車(家族などが運転)
3 鉄道	4 バス
5 タクシー	6 原付・バイク
7 自転車	8 その他()

2. 公共施設の利用状況についてお尋ねします

問3 本市には、別紙1「紀の川市 公共施設一覧」で示す公共施設があり、様々な行政サービスを提供しています。

過去1年間に市内の公共施設をどのくらい利用しましたか。以下に示す公共施設の種類ごとに「①利用頻度」から該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

またあわせて、「①利用頻度」で「3年に数回程度」または「4. 利用していない」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から該当するものを全て選び、番号に○印をつけてください。

公共施設の種類 1～11について、それぞれ お答えください	①利用頻度				②利用していない理由						
	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
記入例) ○○施設	1	2	③	4	1	②	3	4	⑤	6	7
1 庁舎（支所）等	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
2 文化施設	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
3 図書館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
4 集会施設（市民文化施設） 集会所、公民館等 （社会教育施設）	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
5 資料館、博物館等	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
6 保健施設	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
7 福祉施設	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
8 診療所	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
9 スポーツ施設	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
10 レクリエーション施設	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
11 産業施設	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7

※それぞれの種類に該当する具体的な公共施設は、別紙1「紀の川市 公共施設一覧」を参照してください。

3. 今後の公共施設のあり方についてお尋ねします

別紙2「紀の川市における公共施設の現状と課題」を読んだ上でお答えください。

問4 全国的に公共施設の多くが昭和の時代に建設されており、その老朽化対策が問題となっています。

本市の公共施設も同様に老朽化が進んでおり、今後、これら施設の更新（建替え）に多くの財政負担を伴うことが予測されています。このような公共施設の更新問題を知っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 よく知っている | 2 少しは知っている |
| 3 聞いたことがあるが、ほとんど知らない | 4 まったく知らない |

問5 合併前の旧町時代を含め、本市では様々な公共施設を整備してきましたが、少子高齢化の進展等により人口の減少や財源の不足が見込まれる中、すべての公共施設を適切に維持していくことが難しくなると考えられます。

今後の公共施設の整備の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 今ある公共施設の必要性を見直し、人口や財源に見合った数まで減らす |
| 2 今ある公共施設は必要なものなので、費用がかかっても現状維持とする |
| 3 公共施設は不足しているので、費用がかかっても今後とも増やす |
| 4 わからない |
| 5 その他 () |

問6 仮に、公共施設の必要性の見直しを行う場合、どのような施設から優先して複合化や統廃合などを行うべきとお考えですか。あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1 あまり利用されていない施設 | 2 主に特定の個人・団体が使っている施設 |
| 3 公共性が低い(民間で運営できる)施設 | 4 老朽化が著しい施設 |
| 5 維持管理費用が高い施設 | 6 耐震化されていない施設 |
| 7 同じようなサービスの施設が近隣にある施設 | 8 同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設 |
| 9 公共交通の便が悪い施設 | 10 その他 () |

問7 公共施設は暮らしを支える様々な行政サービスを提供しています。

仮に、今ある公共施設のすべてを維持することが困難になった場合においても、現在あなたがお住いの地域において、将来にわたって優先的に維持するべきと考える機能は、どのような機能ですか。あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- 1 行政相談や各種手続の窓口機能（行政窓口機能）
- 2 災害時における避難所や防災活動に活用する機能（防災機能）
- 3 会議の場やコミュニティ活動等の交流の場に利用できる機能（集会機能）
- 4 図書の貸出や講演会、芸術鑑賞等を通じて教育・文化を学べる機能（教育文化機能）
- 5 乳児・幼児・児童の保育や子育て家庭に対する育児相談などの機能（子育て支援機能）
- 6 介護・生活支援、住まいの相談など高齢者の暮らしを支える機能（高齢者支援機能）
- 7 病院・診療所、薬局など病気等の回復・改善を図る機能（医療機能）
- 8 チームや個人でスポーツができる機能（スポーツ機能）
- 9 余暇を利用して行う遊びや楽しみを提供する機能（レクリエーション機能）
- 10 農業などの地域産業の振興を支援する機能（産業機能）
- 11 その他（)

問8 公共施設を適切に維持していくためには、公共施設の更新などにかかる費用の負担を減らす必要があります。そのために積極的に実施すべき取組として、あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- 1 施設を補強し、しばらくの間建替えしないようにする
- 2 現在ある施設の統廃合（※1）を行う → 問9へ
- 3 現在ある施設の複合化（※2）による機能集約を行う → 問10へ
- 4 国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する
- 5 民間が保有する施設を公共施設として使用する（民間施設に助成する）
- 6 地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる
- 7 施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する
- 8 施設におけるサービスの水準を引き下げる
- 9 利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る
- 10 特別な税金等の徴収など市民全体で負担する
- 11 使用料を徴収できる施設の料金を引き上げる
- 12 その他（)

※1 統廃合：同じ用途の施設を一つに統合し、施設数を削減すること。

※2 複合化：異なる用途の施設を一つにまとめて複合的に利用すること。

一つの施設で様々なサービスが受けられるなどのメリットがある。

問9 問8で2（施設の統廃合）を選んだ方にお尋ねします。

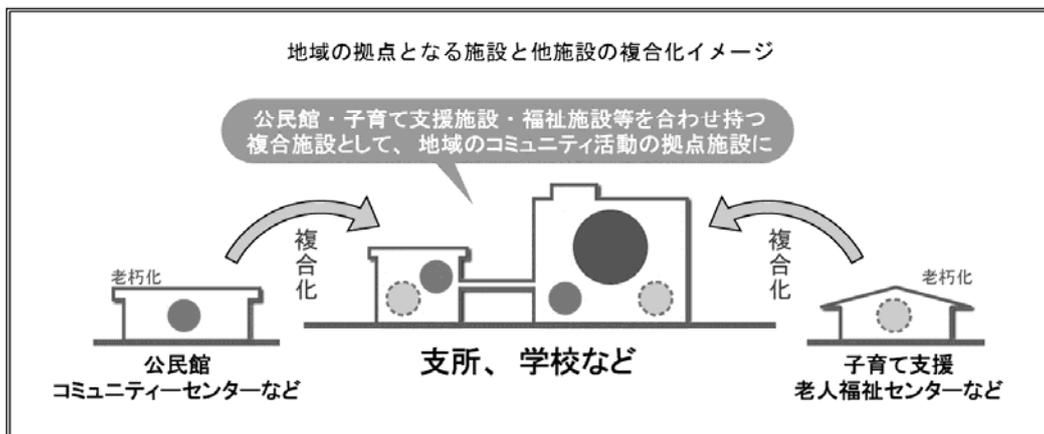
施設の統廃合を行う場合、下記のどの施設から統廃合を進めるべきだと考えますか。
あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|----------|
| 1 官公署（庁舎等） | 2 市民文化施設 | 3 社会教育施設 |
| 4 学校教育施設 | 5 子育て支援施設 | 6 保健施設 |
| 7 福祉施設 | 8 医療施設（診療所） | 9 スポーツ施設 |
| 10 レクリエーション施設 | 11 産業施設 | 12 公営住宅 |
| 13 その他（ | | ） |

※公共施設の分類について、別紙1「紀の川市 公共施設一覧」を参照してください。

問10 問8で3（施設の複合化）を選んだ方にお尋ねします。

市の支所や小中学校などは、各地域にバランスよく立地しており、防災機能なども備えた地域の拠点施設であり、複合化に適した施設です。
下図をふまえ、施設の複合化について設問にお答えください。



■支所の複合化について

問10-1 支所を他の周辺施設などと複合化することについて、どのようにお考えですか。
あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1 支所と他施設（機能）の複合化を積極的に進めるべき | } 問10-2へ |
| 2 複合化する施設（機能）を限定すれば、複合化してもよい | |
| 3 施設の複合化は反対である | |
| 4 その他（ | ） |

問10-2 問10-1で1または2と回答した方にお尋ねします。

支所と複合化してもよいと考える機能について、該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

支所と複合化してもよい機能

1 行政窓口機能（国、県）	2 集会機能	3 教育文化機能
4 子育て支援機能	5 高齢者支援機能	6 医療機能
7 スポーツ機能	8 レクリエーション機能	9 商業機能（※1）
10 オフィス機能（※2）	11 その他（	）

※1 商業機能 : 日常的な買い物や金融などのサービス機能

※2 オフィス機能 : 社会企業家やその他ベンチャー企業などを育成する共同オフィスなどを提供する機能

■学校の複合化について

問10-3 教育面や防犯面の問題を考慮した上で、他の周辺施設などと複合化することについて、どのようにお考えですか。あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 学校と他施設（機能）の複合化を積極的に進めるべき	} 問10-4へ
2 複合化する施設（機能）を限定すれば、学校を複合化してもよい	
3 施設の複合化は反対である	
4 その他（	

問10-4 問10-3で1または2と回答した方にお尋ねします。

学校と複合化してもよいと考える機能について、それぞれの機能ごとに該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

学校と複合化してもよい機能

1 行政窓口機能	2 集会機能	3 教育文化機能
4 子育て支援機能	5 高齢者支援機能	6 医療機能
7 スポーツ機能	8 レクリエーション機能	9 商業機能（※1）
10 オフィス機能（※2）	11 その他（	）

※1 商業機能 : 日常的な買い物や金融などのサービス機能

※2 オフィス機能 : 社会企業家やその他ベンチャー企業などを育成する共同オフィスなどを提供する機能

問11 今後、本市の公共施設のあり方について検討を進めていくにあたり、市民の皆様との問題意識の共有が重要と考えています。

そのため、公共施設のあり方に関する情報や検討経過など情報提供のあり方について、どのような方法で行うのがよいとお考えですか。あなたの考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1 市ホームページへの掲載 |
| 2 広報誌への記事掲載や折込チラシの配布 |
| 3 ラジオやテレビ番組での紹介 |
| 4 シンポジウムやセミナーなどの開催 |
| 5 出前講座や住民説明会などの開催 |
| 6 その他 () |

問12 今ある公共施設をさらに有効活用していくためのアイデアがありましたら、具体的な施設名とその内容等を記入してください。

施設名	有効活用のアイデアなど

問13 本市の公共施設の現状や将来のあり方について、ご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご回答いただきました本アンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、7月31日（金）までに、切手を貼らずにポストに投かんしてください。

(別紙1) 紀の川市 公共施設※一覧

施設分類		打田地域	粉河地域	那賀地域	桃山地域	貴志川地域
官公署	庁舎(支所)等	本庁舎 本庁舎(南館)	粉河支所 鞆淵出張所	旧那賀分庁舎 那賀支所	旧桃山分庁舎 桃山支所(IT親子ホール) 細野生活改善センター	旧貴志川分庁舎 貴志川支所
市民文化・社会教育施設	文化施設	—	粉河ふるさとセンター	—	—	貴志川生涯学習センター
	図書館	打田図書館(打田生涯学習センター内)	粉河図書館(粉河ふるさとセンター内) ※平成27年6月閉館	那賀図書館(那賀支所内) ※平成27年7月閉館	桃山図書館(IT親子ホール内) ※平成27年8月閉館予定	貴志川図書館(貴志川生涯学習センター内)
	集会施設	—	上鞆淵集会所 下鞆淵集会所 下鞆淵へき地集会所	—	ふれあいコミュニティセンター	長山団地自治会館
	集会所 公民館等	古和田教育集会所 東国分教育集会所 東大井教育集会所 西井阪教育集会所(井阪文化会館内) 打田生涯学習センター	粉河地区公民館(粉河ふるさとセンター内) 粉河地区公民館川原分館	那賀地区公民館麻生津分館 那賀地区公民館名手分館 西元町教育集会所 那賀地区公民館上名分館 那賀地区公民館壬子分館 子ども会館 那賀総合センター	桃山会館	貴志川地区公民館(貴志川生涯学習センター内) 西貴志コミュニティセンター 丸栖コミュニティセンター 中貴志コミュニティセンター 東貴志コミュニティセンター
	資料館 博物館等	歴史民俗資料館 史跡紀伊国分寺跡歴史公園	旧南丘家住宅	青洲の里春林軒 旧名手本陣妹背家住宅・旧名手宿本陣	—	貴志川ほたるの館 青少年センター
学校教育施設	小学校	池田小学校 田中小学校 田中小学校高野分校	長田小学校 粉河小学校 竜門小学校 川原小学校 鞆淵小学校	名手小学校 上名手小学校 麻生津小学校	安楽川小学校 調月小学校 細野小学校 桃山小学校	丸栖小学校 西貴志小学校 中貴志小学校 東貴志小学校
	中学校	打田中学校	粉河中学校 鞆淵中学校	那賀中学校	荒川中学校 桃山中学校	貴志川中学校
	その他教育施設	—	粉河学校給食センター	那賀学校給食センター	河南学校給食センター	—
子育て支援施設	保育所	こばと保育所 なるき保育所 八王子保育所	川原保育所 鞆淵へき地保育所 長田保育所 竜門保育所	—	旧調月保育所	丸栖保育所 西貴志保育所 中貴志保育所 東貴志保育所
	学童保育施設	学童保育「てのひら」 学童保育「太陽の子」	学童保育「粉河アットホームクラブ」	学童保育「チャレンジ児童クラブ」	—	学童保育「丸栖っ子クラブ」 学童保育「こどもくらぶ」 学童保育「ほたるっこ」
	児童館	西井阪児童館	粉河児童館 竜門児童館	名手児童館	—	—
保健福祉・医療施設	保健施設	打田保健福祉センター(本庁舎南館内)	粉河保健センター	那賀保健福祉センター(那賀支所内)	桃山保健福祉センター	貴志川保健福祉センター(貴志川支所内)
	福祉施設	井阪文化会館 古和田会館	旧レスパイト粉河	—	介護予防拠点施設(螢の里)	貴志川町老人憩の家(貴志川生涯学習センター内)
	診療所	—	国民健康保険直営鞆淵診療所	—	—	—
スポーツレクリエーション施設	スポーツ施設	打田スポーツ公園	粉河体育館 粉河武道館	B&G財団那賀海洋センター 那賀体育館 愛宕池公園	桃山勤労者体育センター 桃源郷運動公園陸上競技場	貴志川体育館 貴志川トレーニングプラザ 貴志川スポーツ公園 長山ふれあい公園
	レクリエーション施設	—	粉河ハイランドパーク	葛城高原休憩施設	細野溪流キャンプ場	—
産業施設	産業施設	養液栽培施設 野菜共同栽培施設 古和田共同作業所 西井阪第1共同作業所 西井阪第2共同作業所 東国分共同作業所 寺山テイクオフ管理棟	農村婦人の家 井田地域農業総合管理施設 遠方構造改善センター 風市構造改善センター 農村改善センター 東川原構造改善センター 藤井地域資源総合管理施設	しいたけ不時栽培施設 青洲の里	桃源郷運動公園学習体験館 衣美川南館地域「プラト」定着施設 善田地区総合営農指導センター 段地区総合営農指導センター 調月北部地区農林業共同利用施設 就業改善センター 転作促進研修指導施設 桃山産業振興館 石材加工共同作業場	ふるさと産品展示場(貴志川観光物産センター)
公営住宅	公営住宅	3施設	3施設	22施設	1施設	—

※平成26年10月現在。市が保有する一般建築物(庁舎、小中学校、公民館、保育所等。ただし倉庫や公衆トイレ等の小規模な施設及び地元移管が行われている施設等を除きます)

(別紙2) 紀の川市における公共施設の現状と課題

公共施設の保有状況

本市が保有する庁舎や集会所、小学校・中学校などの公共施設は、平成26年10月時点で184施設（延床面積265,803.1㎡）で、市民1人あたりの公共施設延床面積は平均4.03㎡となります。（平成26年10月31日時点の紀の川市人口66,027人をもとに算出）

紀の川市公共施設（平成26年10月現在）

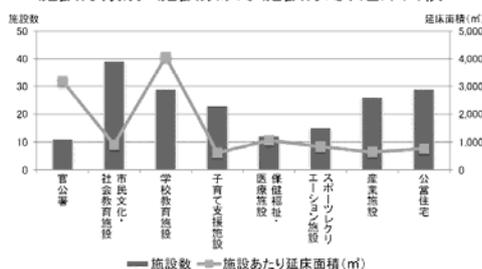
施設数	延床面積（㎡）	市民1人あたり延床面積※1
184施設	265,803.1㎡	4.03㎡/人

※1 紀の川市人口66,027人（H26.10.31現在）

施設の規模

施設数と延床面積の関係をみると、官公署及び学校教育施設は、施設数は少ないものの、施設あたりの延床面積が大きく、大規模な施設が多いことが分かります。一方で市民文化・社会教育施設、子育て支援施設、産業施設、公営住宅などは、施設数が多いものの施設あたりの延床面積は小さく、比較的小規模な施設が数多く立地していることが分かります。

施設分類別 施設数及び施設あたり延床面積

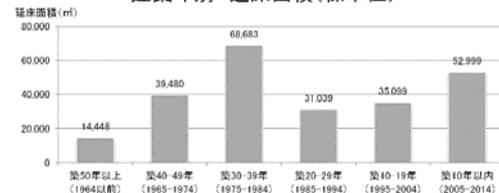


老朽化の状況

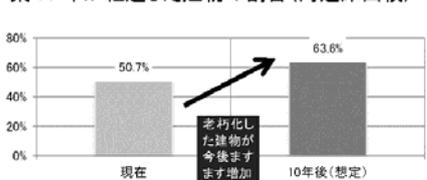
保有する公共施設は、昭和40年代後半から積極的に整備され、築30～39年（1975～1984年築）の建物が最も多く、次いで築10年以内（2005～2014年築）の建物となります。

大規模改修等の実施時期の目安とされる築30年が経過した建物は50.7%と過半に達し、このまま全建物を維持した場合、10年後にはさらに63.6%に上昇すると見込まれます。

建築年別 延床面積(棟単位)



築30年が経過した建物の割合(対延床面積)



公共施設と市民の暮らしをとりまく課題

- 市の人口は年々減少傾向にあり、少子高齢化が進展していく中、年齢構成等の変化に伴い、必要とされる公共サービスの質と量が変化していくことが考えられます。
- 老朽化した公共施設の増加は、施設の安全面に係る維持管理費用の増大とともに、将来の大規模改修や建替え時期の集中を招くことが懸念されます。
- 生産年齢人口の減少や社会保障費の増加など、厳しい財政状況のもと、施設の維持保全に向けた財政面の一層の効率化が求められます。
- 地域の実情やニーズに応じた、適切な公共施設の配置が必要となります。
- 効率的な施設運営を行い、より効果的なサービス提供が求められます。